



目次

- 1. 改訂情報
- 2. はじめに
 - 2.1. 本書の目的
 - 2.2. 対象読者
- 3. IM-Repositoryについて
 - 3.1. IM-Repositoryとは
 - 3.2. IM-Repositoryの提供する機能と画面一覧
- 4. 型テンプレート
 - 4.1. 型テンプレート一覧画面
 - 4.1.1. 「型テンプレート一覧」画面を表示する
 - 4.1.2. 型テンプレート一覧の詳細
 - 4.2. カテゴリ
 - 4.2.1. カテゴリを新規登録する
 - 4.2.2. カテゴリを確認する
 - 4.2.3. カテゴリを編集する
 - 4.3. テンプレート
 - 4.3.1. テンプレートを新規登録する
 - 4.3.2. テンプレートを確認する
 - 4.3.3. テンプレートを編集する
- 5. 辞書項目
 - 5.1. 辞書項目一覧画面
 - 5.1.1. ツリー形式で表示する
 - 5.1.2. リスト形式で表示する
 - 5.2. カテゴリ
 - 5.2.1. カテゴリを新規登録する
 - 5.2.2. カテゴリを確認する
 - 5.2.3. カテゴリを編集する
 - 5.3. 辞書項目
 - 5.3.1. 辞書項目を新規登録する
 - 5.3.2. 辞書項目を確認する
 - 5.3.3. 辞書項目を編集する
 - 5.4. エイリアス
 - 5.4.1. エイリアスを新規登録する
 - 5.4.2. エイリアスを確認する
 - 5.4.3. エイリアスを編集する
 - 5.5. 辞書項目の制約
- 6. 列挙
 - 6.1. 列挙型一覧画面
 - 6.1.1. 「列挙型一覧」画面を表示する
 - 6.1.2. 列挙型一覧の詳細
 - 6.2. カテゴリ
 - 6.2.1. カテゴリを新規登録する
 - 6.2.2. カテゴリを確認する
 - 6.2.3. カテゴリを編集する
 - 6.3. 列挙

- 6.3.1. 列举を新規登録する
- 6.3.2. 列举を確認する
- 6.3.3. 列举を編集する
- 7. 影響範囲
 - 7.1. 影響範囲一覧の確認
 - 7.2. 影響範囲の適用
- 8. タスク
 - 8.1. タスクを確認する
 - 8.1.1. タスク一覧を確認する
 - 8.1.2. タスクを検索する
 - 8.2. タスクを新規追加する
 - 8.3. タスクを処理する
 - 8.3.1. タスクを適用する
 - 8.3.2. タスクを無視する
 - 8.3.3. タスクを削除する
- 9. 履歴
 - 9.1. 履歴一覧
 - 9.1.1. 履歴詳細をツリー形式で表示する
 - 9.1.2. 履歴詳細をリスト形式で表示する
 - 9.2. 差分
 - 9.2.1. 最新の履歴との差分を表示する
 - 9.2.2. 選択した履歴と一つ前の履歴との差分を表示する
 - 9.2.3. 選択した履歴と一つ後の履歴との差分を表示する
 - 9.2.4. 特定の履歴の差分を表示する
- 10. インポート/エクスポート
 - 10.1. インポートを行う
 - 10.2. エクスポートを行う
 - 10.2.1. 現バージョンの全項目をエクスポートする
 - 10.2.2. 履歴番号を指定してエクスポートする

変更年月日	変更内容
2017-12-01	初版
2018-04-01	第2版 下記を追加・変更しました。 ■ 「カテゴリを新規登録する」にコラムを追加。 ■ 「カテゴリを編集する」にコラムを追加。 ■ 「辞書項目を新規登録する」にコラムを追加。 ■ 「辞書項目を編集する」にコラムを追加。 ■ 「エイリアスを新規登録する」にコラムを追加。 ■ 「エイリアスを編集する」にコラムを追加。 ■ 「インポートを行う」にコラムを追加。 ■ 「列挙」を追加

本書の目的

本書は、IM-Repositoryを利用する皆様の支援を目的としたガイドです。

対象読者

本書では次のユーザを対象としています。

- IM-Repositoryの操作方法を知りたい。
- IM-Repositoryの詳細な画面仕様を知りたい。

- IM-Repositoryとは
- IM-Repositoryの提供する機能と画面一覧

IM-Repositoryとは

IM-Repositoryは、intra-mart Accel Platform上で利用される様々な用語およびそのメタデータを管理することができるアプリケーションです。

IM-Repositoryの特徴は以下の通りです。

- アプリケーションが利用する用語の管理
- 用語に対する属性情報（メタデータ）の管理
- 拡張可能な属性情報
- 用語と、その用語を利用しているアプリケーションとの間の依存関係の管理
- 属性情報（メタデータ）の変更に対する影響範囲の算出
- 影響範囲を元としたアプリケーションの修正を行うためのタスク管理

例えば、「ユーザコード」や、「取引先コード」といった用語と共に、論理名、物理名、桁数、データ型、制約といった属性情報（メタデータ）を統合的に管理することが可能です。

また、取引先コードの桁数を変更した場合、影響の出るアプリケーションを列挙する、といった事が可能です。

この用語の情報はAPIを通じて様々なアプリケーションから参照可能です、例えば入力チェック等のバリデーション機構に組み込んだり、用語を利用した画面項目の自動生成といった用途に利用することが可能です。



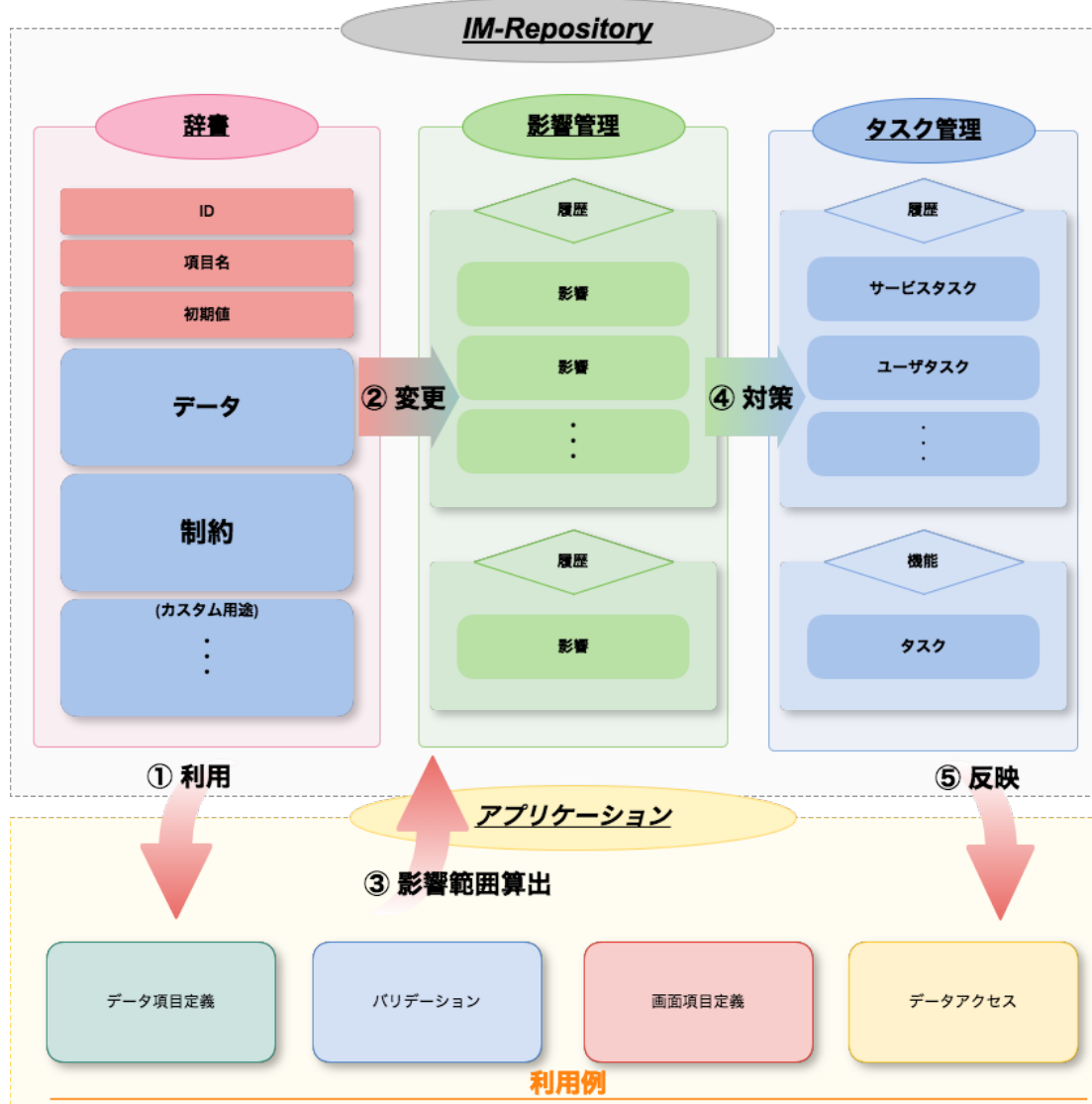
コラム

intra-mart Accel Platformが利用している様々な用語（辞書データ）は、プロダクトファイルダウンロードサイトから入手し、取り込むことが可能です。

<https://www.intra-mart.jp/download/library/>

IM-Repositoryの提供する機能と画面一覧

IM-Repositoryの提供する各機能と画面一覧は以下の通りです。



<機能と画面>

機能	対応画面
型テンプレート	「型テンプレート」 - 「型テンプレート一覧画面」 「型テンプレート」 - 「カテゴリ」 「型テンプレート」 - 「テンプレート」
辞書	「辞書項目」 - 「辞書項目一覧画面」 「辞書項目」 - 「カテゴリ」 「辞書項目」 - 「辞書項目」 「辞書項目」 - 「エイリアス」
列挙	「列挙」 - 「列挙型一覧画面」 「列挙」 - 「列挙」 「列挙」 - 「カテゴリ」
影響範囲	「影響範囲」
タスク	「タスク」

機能	対応画面
履歴	■ 「履歴」 - 「履歴一覧」 ■ 「履歴」 - 「差分」
その他（IM-Repository全般）	■ 「インポート/エクスポート」

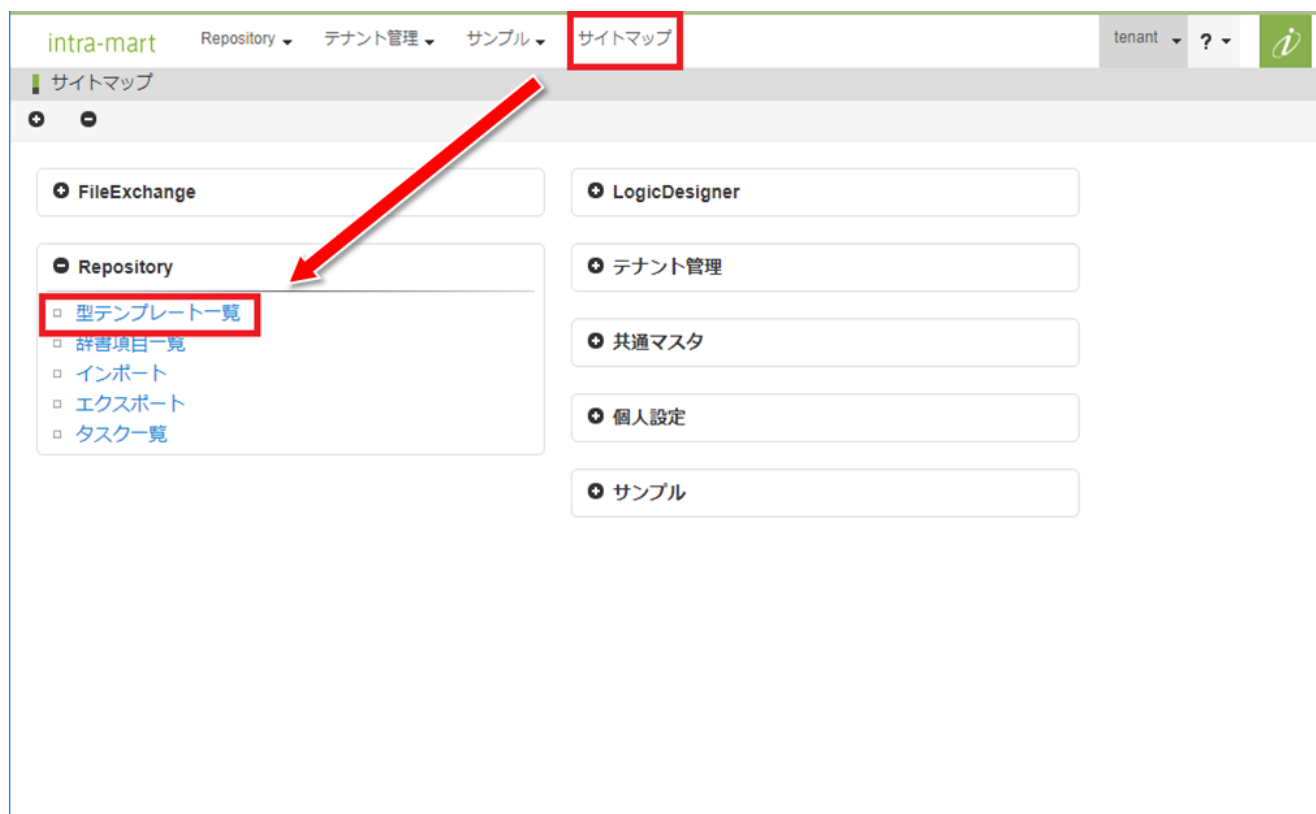
ここではIM-Repositoryで型テンプレートを扱う画面の機能について説明します。

型テンプレート一覧画面

- 「型テンプレート一覧」画面を表示する
- 型テンプレート一覧の詳細

「型テンプレート一覧」画面を表示する

1. 「サイトマップ」 - 「Repository」 - 「型テンプレート一覧」をクリックします。



2. 「型テンプレート一覧」画面が表示されます。



型テンプレート一覧の詳細

「型テンプレート一覧」画面は、用途に応じて複数のペイン（区画）に分かれています。各ペインの詳細は以下の通りです。



<画面項目>

項目	説明
----	----

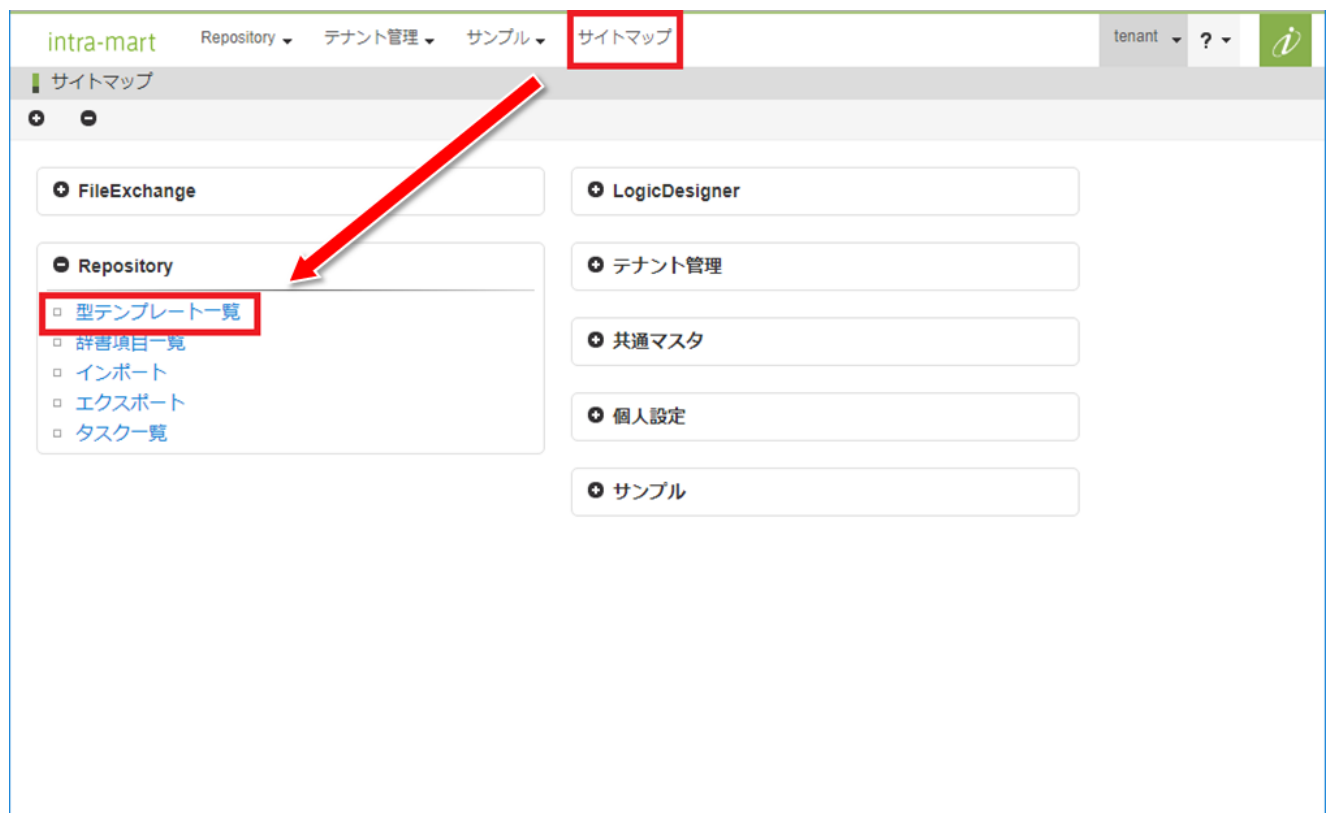
項目	説明
ツールバー	テンプレート一覧ツリーの操作を提供するツールバーです。 ■ カテゴリ追加 テンプレート一覧ツリーにカテゴリを追加します。 ■ テンプレート追加 テンプレート一覧ツリーにテンプレートを追加します。 ■ 「更新」アイコン このページを再読み込みします。
テンプレート一覧ツリー	登録されているテンプレート一覧をツリー形式で表示します。 テンプレート一覧のカテゴリ、または、テンプレートをクリックすると選択した項目の詳細情報を表示します。 カテゴリ、または、テンプレートの移動が行えます。
テンプレート情報	選択されたカテゴリ、または、テンプレートの情報を表示します。

カテゴリ

型テンプレートのカテゴリを扱う画面の機能について説明します。

カテゴリを新規登録する

1. 「サイトマップ」 - 「Repository」 - 「型テンプレート一覧」をクリックし、「型テンプレート一覧」画面を表示します。



2. テンプレート一覧ツリーのカテゴリを追加したい1つ上の項目をクリックします。



3. ツールバーの「カテゴリ追加」をクリックします。



4. カテゴリの基本情報が表示されます。

型テンプレート

カテゴリ追加 テンプレート追加

テンプレート一覧

- システム定義
 - TEXT
 - INTEGER
 - LONG
 - BIGINTEGER
 - FLOAT
 - DOUBLE
 - BIGDECIMAL
 - DATE
 - TIME
 - DATETIME
 - BINARY
 - LONGTEXT
 - BOOLEAN
- ユーザ定義
 - 新規カテゴリ

基本情報

型テンプレートID *

型テンプレート名

標準 *	
日本語	
英語	
中国語 (中華人民共和国)	

説明

標準	
日本語	
英語	
中国語 (中華人民共和国)	

＜画面項目＞

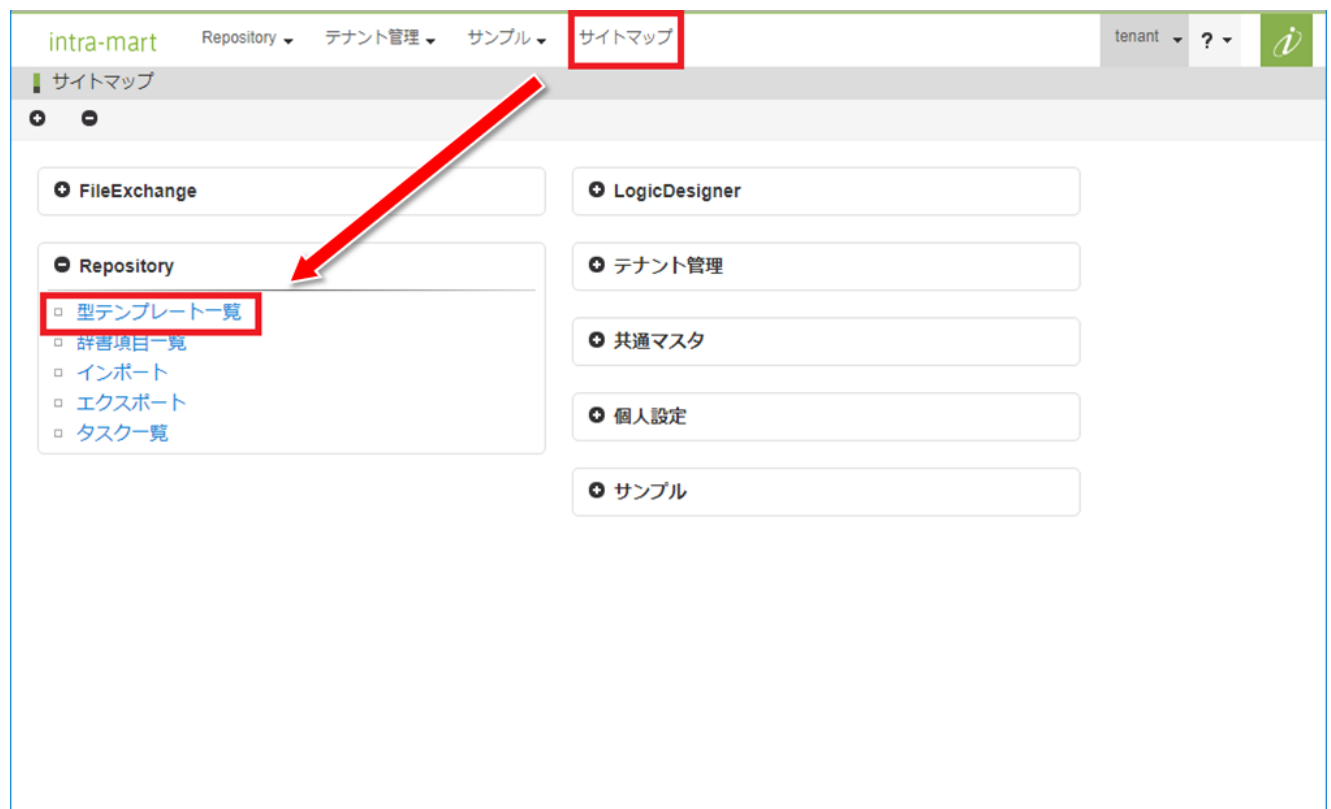
項目	説明
型テンプレートID	型テンプレートを一意に表す文字列を入力します。 この項目は必須項目です。
型テンプレート名	型テンプレートを表す名称を入力します。 名称には各言語で利用するものと、言語情報が指定されていない場合に標準で利用するものを指定します。 この項目は標準のみ必須項目です。
説明	型テンプレートの説明を入力します。 説明には各言語で利用するものと、言語情報が指定されていない場合に標準で利用するものを指定します。
「登録」ボタン	カテゴリを登録します。

5. 必要項目を入力し、「登録」ボタンをクリックします。

6. 確認ダイアログの「決定」をクリックします。

カテゴリを確認する

1. 「サイトマップ」 - 「Repository」 - 「型テンプレート一覧」をクリックし、「型テンプレート一覧」画面を表示します。



2. テンプレート一覧ツリーから確認を行うカテゴリをクリックします。



3. カテゴリの基本情報が表示されます。



カテゴリを編集する

- [カテゴリを更新する](#)
- [カテゴリを削除する](#)

カテゴリを更新する

1. 「[カテゴリを確認する](#)」の手順をもとに、「型テンプレート一覧」画面を表示します。
2. テンプレート一覧ツリーから更新を行うカテゴリをクリックします。



3. カテゴリの基本情報が表示されます。



<画面項目>

項目	説明
型テンプレートID	型テンプレートを一意に表す文字列を入力します。 更新時にはこの項目は編集不可です。
型テンプレート名	型テンプレートを表す名称を入力します。 名称には各言語で利用するものと、言語情報が指定されていない場合に標準で利用するものを指定します。 この項目は標準のみ必須項目です。

項目	説明
説明	型テンプレートの説明を入力します。 説明には各言語で利用するものと、言語情報が指定されていない場合に標準で利用するものを指定します。

4. 更新内容を入力し、「更新」ボタンをクリックします。

The screenshot shows the '型テンプレート' (Type Template) management interface. On the left, a sidebar titled 'テンプレート一覧' (Template List) shows a tree structure with 'システム定義' (System Definition) and 'ユーザ定義' (User Definition). Under 'ユーザ定義', 'new_category' is expanded, showing a list of templates. The main area is titled '基本情報' (Basic Information) and contains three fields: '型テンプレートID' (new_category), '型テンプレート名' (update_category), and '説明'. The '更新' (Update) button is highlighted with a red rectangle.

5. 確認ダイアログの「決定」をクリックします。

カテゴリを削除する

1. 「[カテゴリを確認する](#)」の手順をもとに、「型テンプレート一覧」画面を表示します。
2. テンプレート一覧ツリーから削除を行うカテゴリをクリックします。

The screenshot shows the '型テンプレート' (Type Template) management interface. On the left, a sidebar titled 'テンプレート一覧' (Template List) shows a tree structure with 'システム定義' (System Definition) and 'ユーザ定義' (User Definition). Under 'ユーザ定義', 'update_category' is expanded, showing a list of templates. The main area displays the text 'アイテムを選択してください' (Please select an item).

3. カテゴリの基本情報が表示されます。

4. 「削除」 ボタンをクリックします。

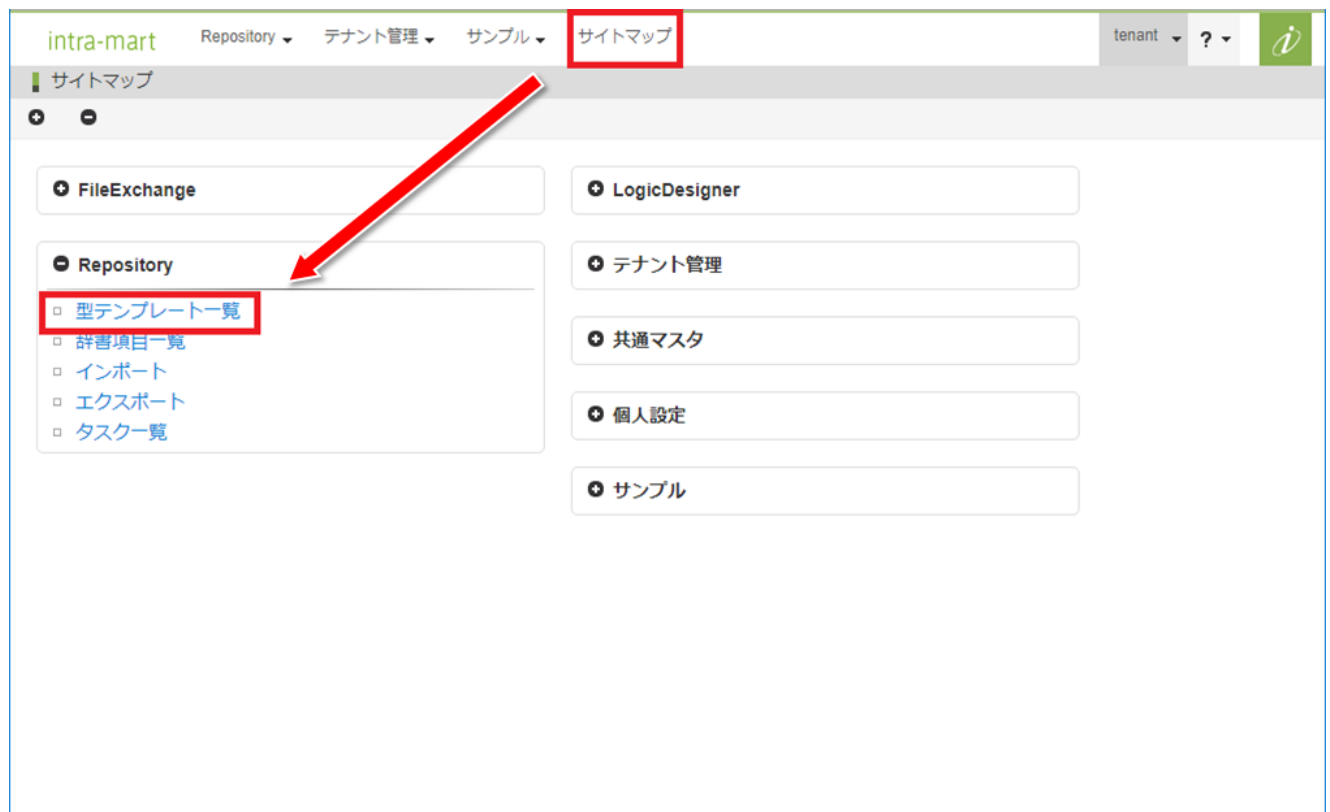
5. 確認ダイアログの「決定」をクリックします。

テンプレート

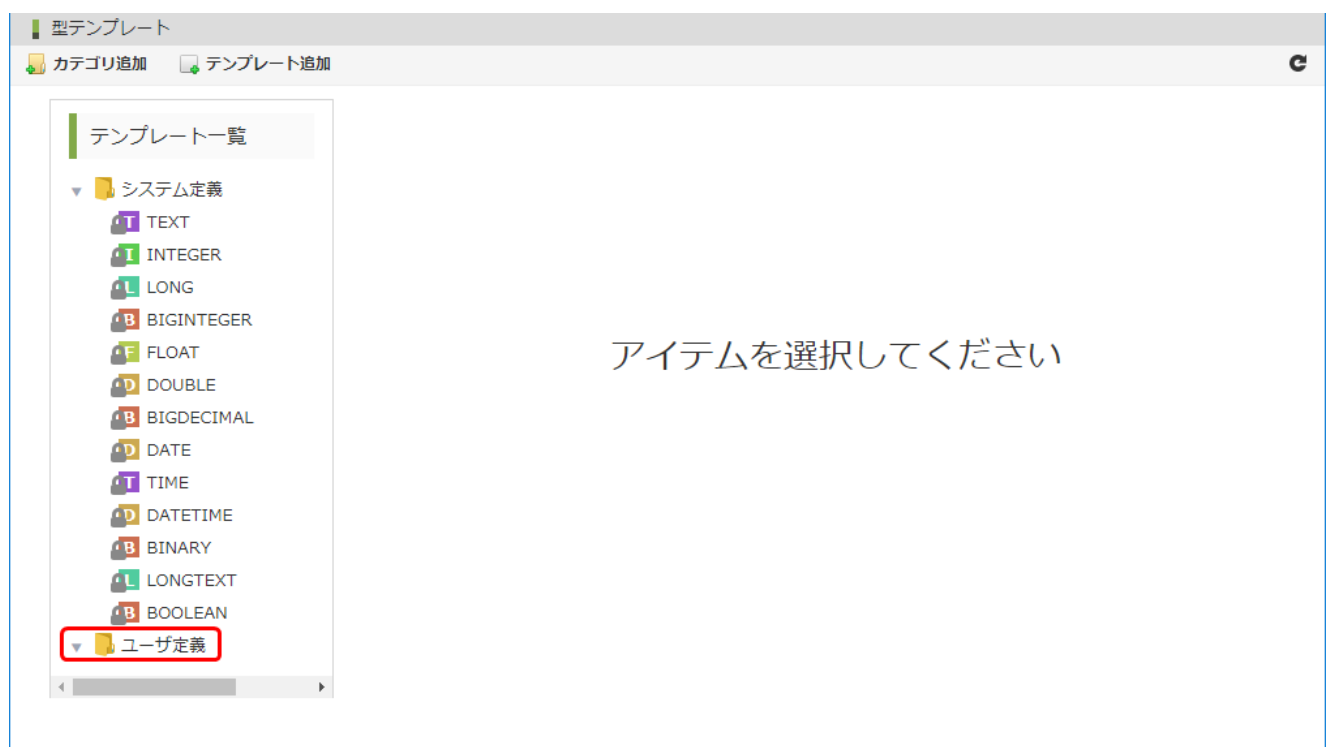
テンプレートを扱う画面の機能について説明します。

テンプレートを新規登録する

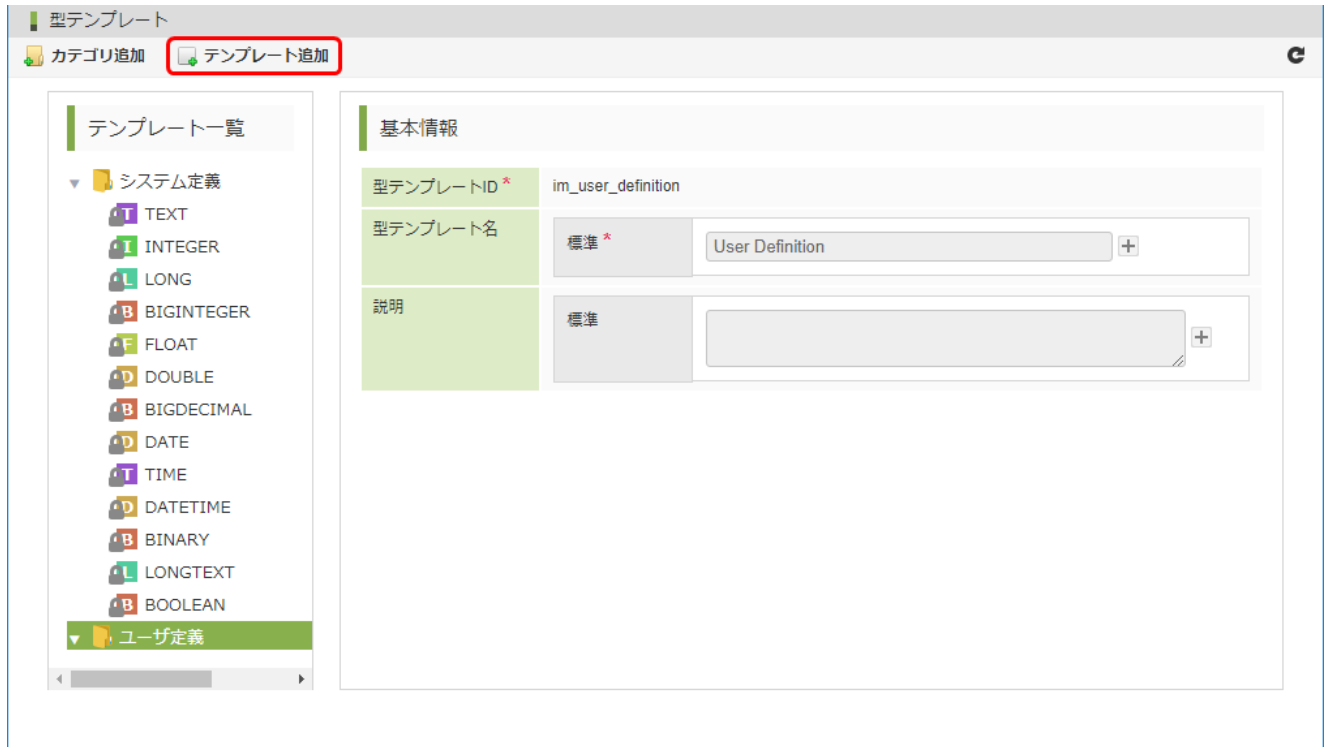
1. 「サイトマップ」 - 「Repository」 - 「型テンプレート一覧」をクリックし、「型テンプレート一覧」画面を表示します。



2. テンプレート一覧ツリーのテンプレートを追加したい1つ上の項目をクリックします。



3. ツールバーの「テンプレート追加」をクリックします。



型テンプレート

カテゴリ追加 テンプレート追加

テンプレート一覧

- システム定義
 - TEXT
 - INTEGER
 - LONG
 - BIGINTEGER
 - FLOAT
 - DOUBLE
 - BIGDECIMAL
 - DATE
 - TIME
 - DATETIME
 - BINARY
 - LONGTEXT
 - BOOLEAN
- ユーザ定義

基本情報

型テンプレートID * im_user_definition

型テンプレート名 標準 * User Definition +

説明 標準 +

4. テンプレートの基本情報、データ情報が表示されます。

型テンプレート

カテゴリ追加

テンプレート追加

テンプレート一覧

システム定義

TEXT

INTEGER

LONG

BIGINTEGER

FLOAT

DOUBLE

BIGDECIMAL

DATE

TIME

DATETIME

BINARY

LONGTEXT

BOOLEAN

ユーザ定義

新規テンプレート

基本情報

型テンプレートID *

型テンプレート名

標準 *

日本語

英語

中国語 (中華人民共和國)

説明

標準

日本語

英語

中国語 (中華人民共和國)

データ情報

Java

データ型 *

JavaScript

データ型 *

IM-LogicDesigner

データ型 *

Database

データ型 *

最大桁数

小数桁数

登録

<画面項目>

項目	説明
型テンプレートID	型テンプレートを一意に表す文字列を入力します。 この項目は必須項目です。
型テンプレート名	型テンプレートを表す名称を入力します。 名称には各言語で利用するものと、言語情報が指定されていない場合に標準で利用するものを指定します。 この項目は標準のみ必須項目です。
説明	型テンプレートの説明を入力します。 説明には各言語で利用するものと、言語情報が指定されていない場合に標準で利用するものを指定します。

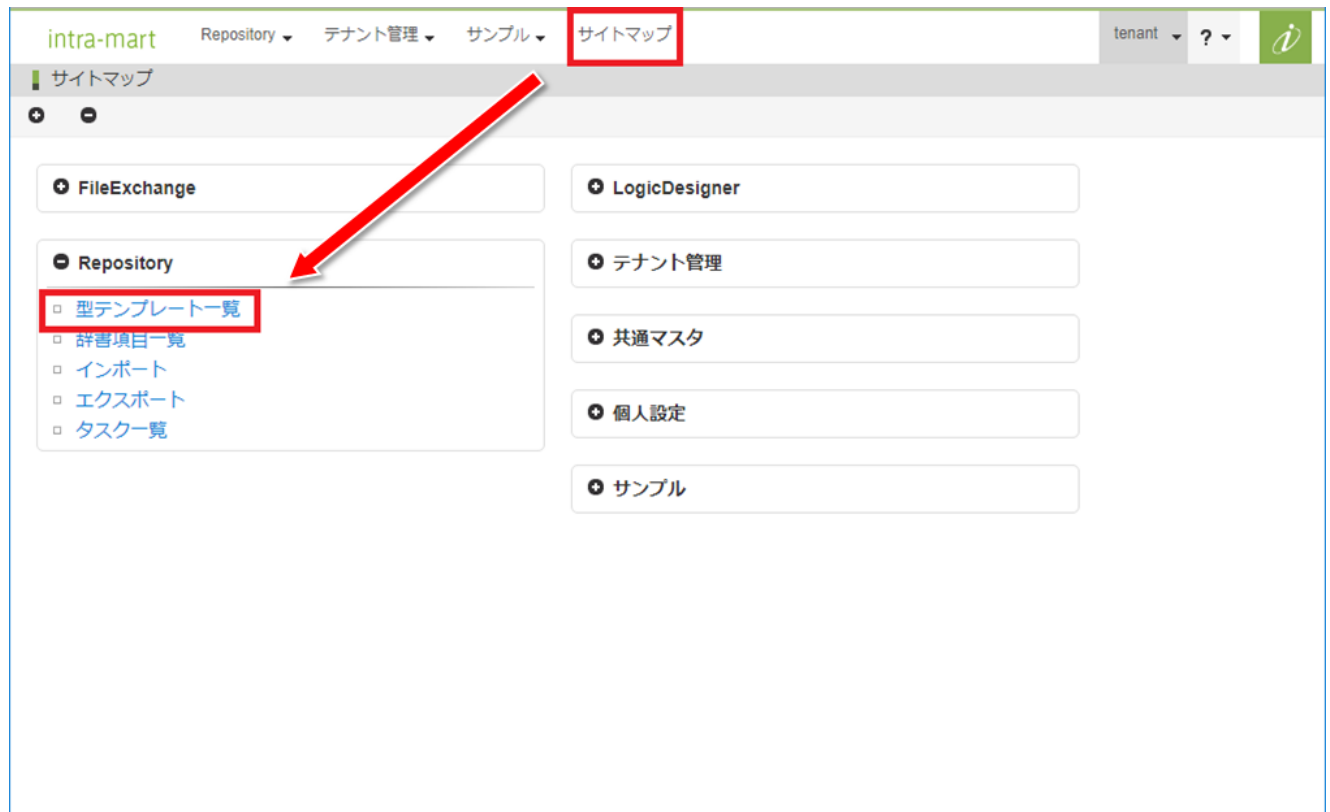
項目	説明
Java	Javaで使用された時のデータ型を設定します。 この項目は必須項目です。
JavaScript	JavaScriptで使用された時のデータ型を設定します。 この項目は必須項目です。
IM-LogicDesigner	IM-LogicDesignerで使用された時のデータ型を設定します。 この項目は必須項目です。
Database	データベースの以下の項目を設定します。 ■ データ型 データベースで使用された時のデータ型を設定します。 この項目は必須項目です。 ■ 最大桁数 データベースで使用された時の最大桁数を入力します。 ■ 小数桁数 データベースで使用された時の小数桁数を入力します。
「登録」ボタン	型テンプレートを登録します。

5. 必要項目を入力し、「登録」ボタンをクリックします。

6. 確認ダイアログの「決定」をクリックします。

テンプレートを確認する

1. 「サイトマップ」 - 「Repository」 - 「型テンプレート一覧」をクリックし、「型テンプレート一覧」画面を表示します。



2. テンプレート一覧ツリーから確認を行うテンプレートをクリックします。



3. テンプレートの基本情報、データ情報が表示されます。

型テンプレート

カテゴリ追加 テンプレート追加

テンプレート一覧

システム定義

- TEXT
- INTEGER
- LONG
- BIGINTEGER
- FLOAT
- DOUBLE
- BIGDECIMAL
- DATE
- TIME
- DATETIME
- BINARY
- LONGTEXT
- BOOLEAN

ユーザ定義

- new template

基本情報

型テンプレートID * new_template

型テンプレート名 標準 * new template +

説明 標準 +

データ情報

Java データ型 * String ▼

JavaScript データ型 * String ▼

IM-LogicDesigner データ型 * String ▼

Database データ型 * 文字列 ▼

最大桁数

小数桁数

更新 削除

テンプレートを編集する

- テンプレートを更新する
- テンプレートを削除する

テンプレートを更新する

1. 「[テンプレートを確認する](#)」の手順をもとに、「型テンプレート一覧」画面を表示します。
2. テンプレート一覧ツリーから更新を行うテンプレートをクリックします。



3. テンプレートの基本情報、データ情報が表示されます。

基本情報

型テンプレートID *	new_template
型テンプレート名	標準 * new template +
説明	標準 +

データ情報

Java	データ型 * String ▼
JavaScript	データ型 * String ▼
IM-LogicDesigner	データ型 * String ▼
Database	データ型 * 文字列 ▼
	最大桁数

<画面項目>

項目	説明
型テンプレートID	型テンプレートを一意に表す文字列が表示されます。 更新時にはこの項目は編集不可です。
型テンプレート名	型テンプレートを表す名称を入力します。 名称には各言語で利用するものと、言語情報が指定されていない場合に標準で利用するものを指定します。 この項目は標準のみ必須項目です。

項目	説明
説明	型テンプレートの説明を入力します。 説明には各言語で利用するものと、言語情報が指定されていない場合に標準で利用するものを指定します。
Java	Javaで使用された時のデータ型を設定します。 この項目は必須項目です。
JavaScript	JavaScriptで使用された時のデータ型を設定します。 この項目は必須項目です。
IM-LogicDesigner	IM-LogicDesignerで使用された時のデータ型を設定します。 この項目は必須項目です。
Database	データベースの以下の項目を設定します。 ■ データ型 データベースで使用された時のデータ型を設定します。 この項目は必須項目です。 ■ 最大桁数 データベースで使用された時の最大桁数を入力します。 ■ 小数桁数 データベースで使用された時の小数桁数を入力します。
「更新」ボタン	型テンプレートを更新します。
「削除」ボタン	型テンプレートを削除します。

4. 更新内容を入力し、「更新」ボタンをクリックします。

5. 確認ダイアログの「決定」をクリックします。

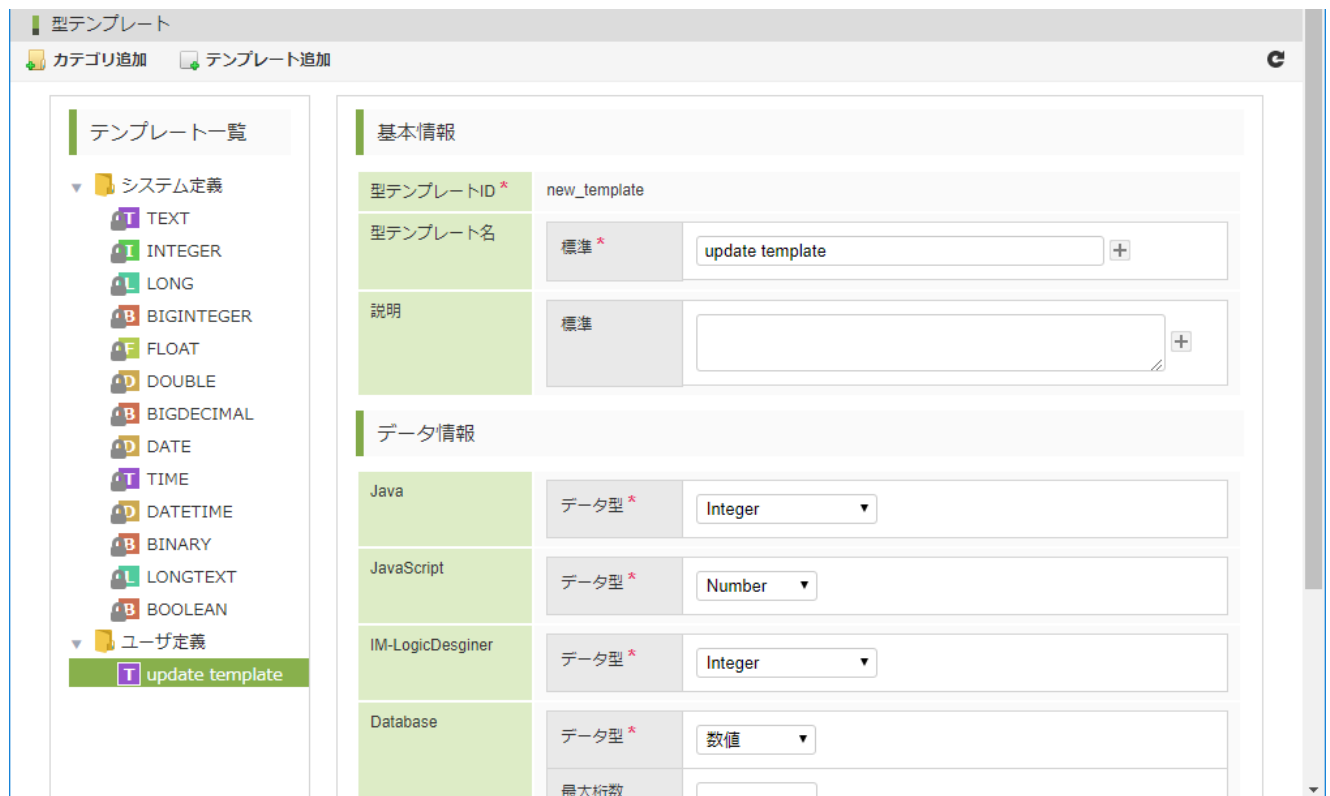
テンプレートを削除する

1. 「[テンプレートを確認する](#)」の手順をもとに、「型テンプレート一覧」画面を表示します。

2. テンプレート一覧から削除を行うテンプレートをクリックします。



3. テンプレートの基本情報、データ情報が表示されます。



4. 「削除」ボタンをクリックします。

型テンプレート名

標準 *

update template

説明

標準

データ情報

Java

データ型 *

Integer

JavaScript

データ型 *

Number

IM-LogicDesigner

データ型 *

Integer

Database

データ型 *

数値

最大桁数

小数桁数

更新

削除

5. 確認ダイアログの「決定」をクリックします。

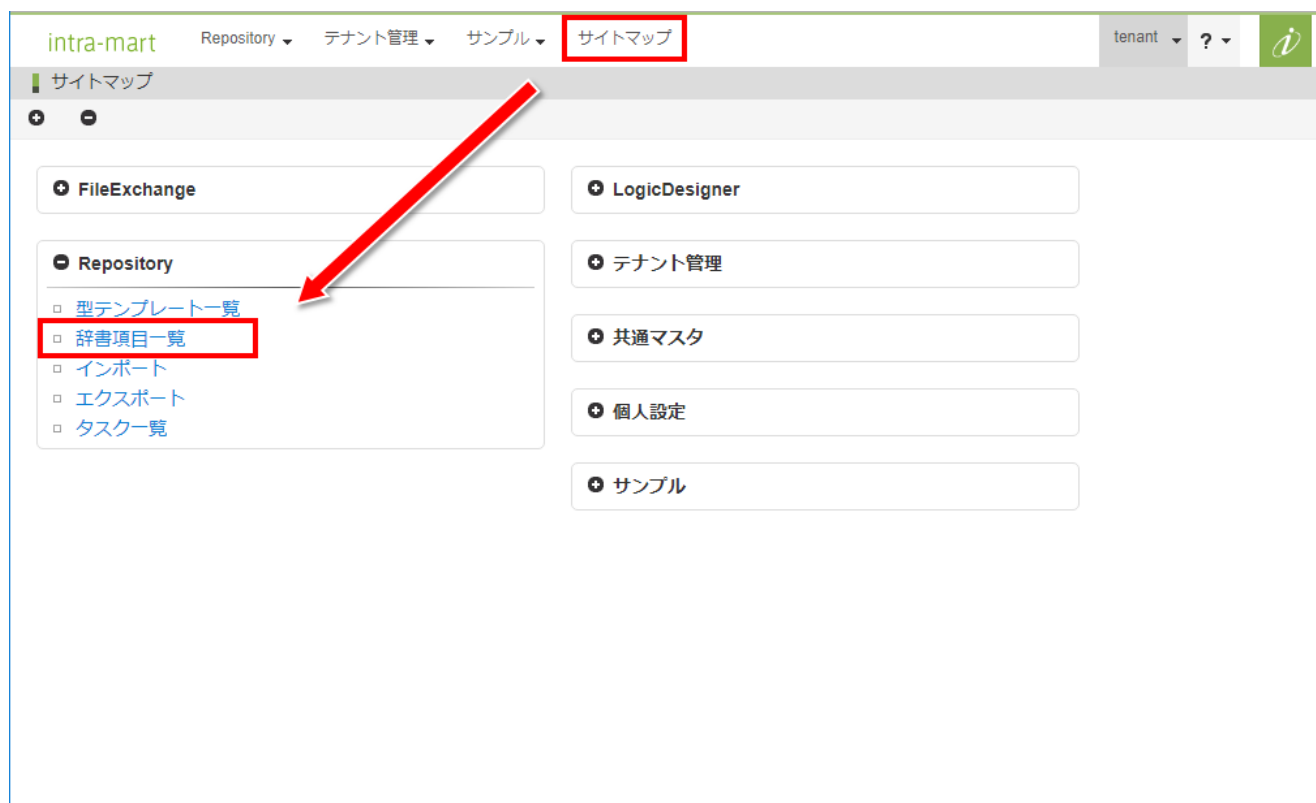
ここではIM-Repositoryで辞書項目を扱う画面の機能について説明します。

辞書項目一覧画面

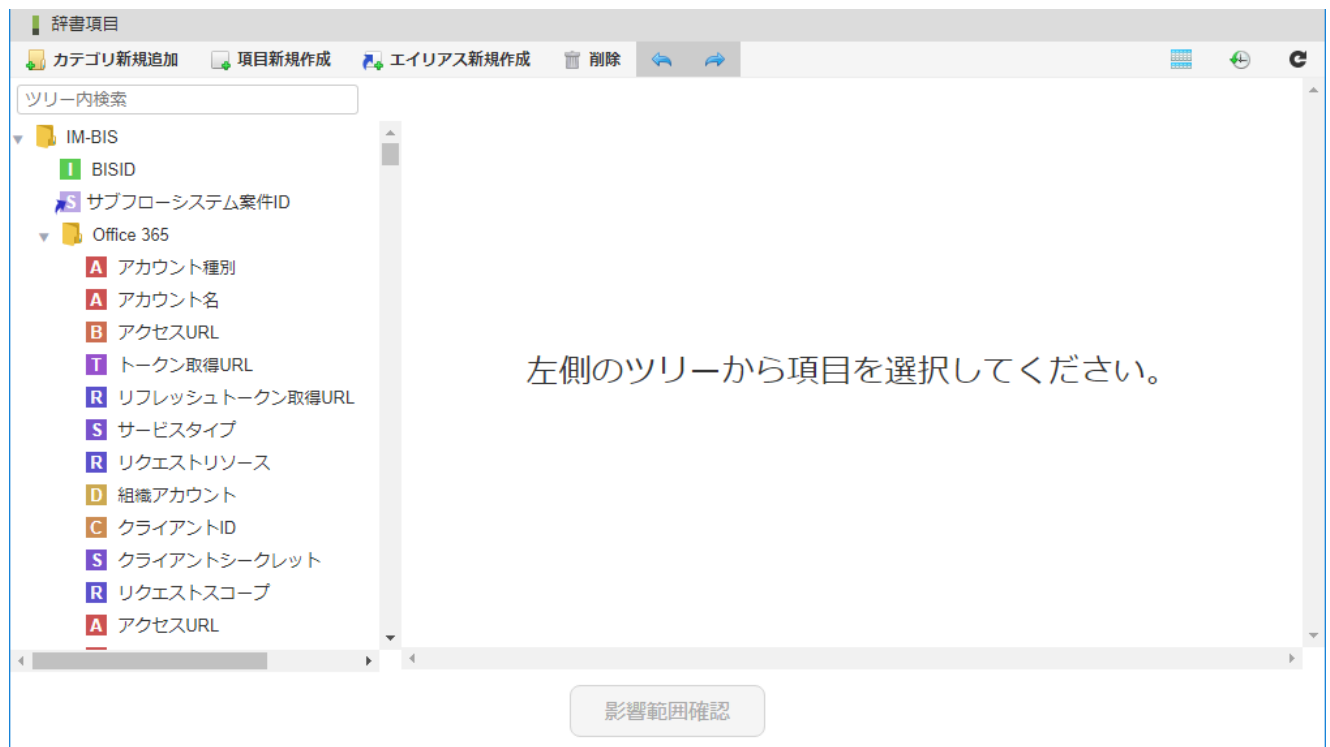
- ツリー形式で表示する
- リスト形式で表示する

ツリー形式で表示する

1. 「サイトマップ」 - 「Repository」 - 「辞書項目一覧」をクリックし、「辞書項目一覧」画面を表示します。



2. ツリー形式の「辞書項目一覧」画面が表示されます。



<画面項目>

項目	説明
カテゴリ新規追加	項目一覧ツリーにカテゴリを追加します。
項目新規作成	項目一覧ツリーに辞書項目を追加します。
エイリアス新規作成	項目一覧ツリーに辞書項目のエイリアスを追加します。
削除	項目一覧ツリーの選択された項目を削除します。
「UNDO」アイコン	1つ前の状態に戻します。
「REDO」アイコン	1つ後の状態に戻します。
「表示方式切替」アイコン	画面表示をリスト形式に変更します。
「履歴」アイコン	「履歴一覧」画面を表示します。
「更新」アイコン	このページを再読み込みします。
ツリー内検索	検索するツリーの表示名を表す文字列（の一部）を入力します。
項目一覧ツリー	登録されているカテゴリ、辞書項目、または、エイリアスをツリー形式で表示します。
辞書項目	項目一覧ツリーで選択された項目の情報を表示します。
「影響範囲確認」ボタン	「影響範囲確認」画面を表示します。

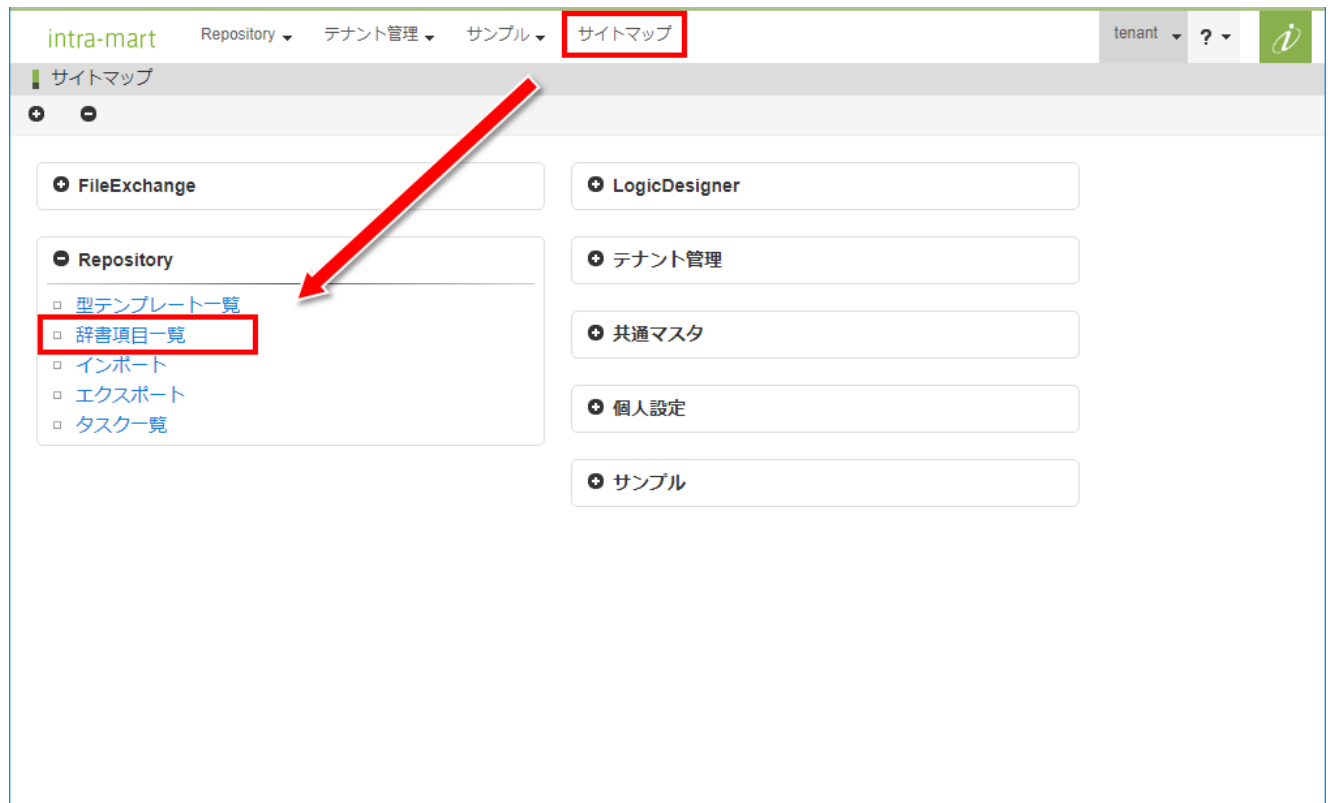


コラム

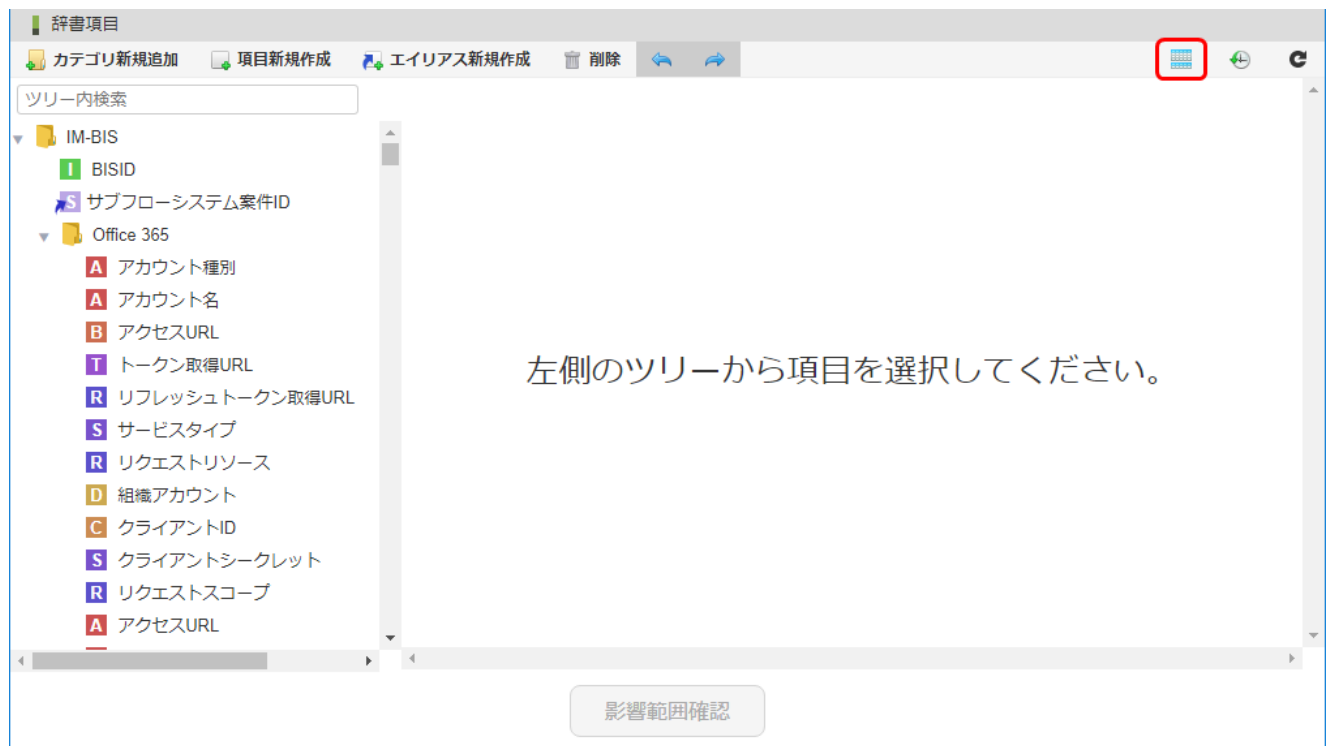
ツリー内検索で絞込を行っている場合には、ドラッグ&ドロップによる移動等は行えません。

リスト形式で表示する

1. 「サイトマップ」 - 「Repository」 - 「辞書項目一覧」をクリックし、「辞書項目一覧」画面を表示します。



2. ツールバーの「表示方式切替」アイコンをクリックします。



3. リスト形式の「辞書項目一覧」画面が表示されます。

辞書項目

表示リスト

☒ 辞書項目カテゴリ一覧を表示する
☒ 辞書項目一覧を表示する
☒ エイリアス一覧を表示する

検索条件

カテゴリ一覧

カテゴリID	カテゴリ名	説明
im_bis	IM-BIS	
im_bis_o365	Office 365	
im_bis_forma	Forma Connect	
im_iap	Accel Platform	
im_module	IM-Juggling	
im_tenant	テナント	
im_tenant_account	アカウント	
im_tenant_license	ライセンス	
im_tenant_shortcut	ショートカット	
im_tenant_role	ロール	
im_tenant_authz	認可	

<画面項目>

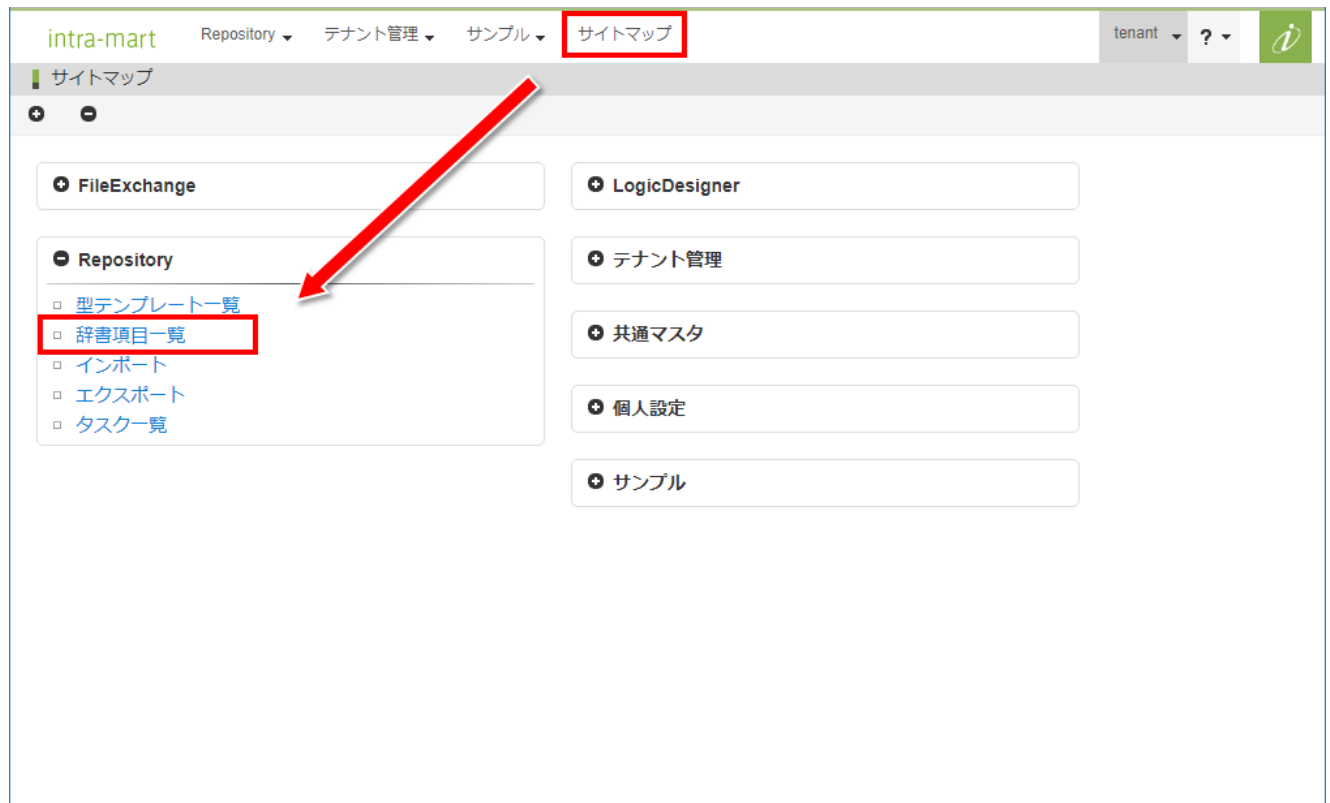
項目	説明
「更新」アイコン	このページを再読み込みします。
「履歴」アイコン	「履歴一覧」画面を表示します。
「表示方式切替」アイコン	画面表示をツリー形式に変更します。
表示リスト	一覧に表示する項目を選択します。
検索条件	カテゴリ一覧、辞書項目一覧、または、エイリアス一覧のいずれかの要素を表す文字列（の一部）を入力します。
カテゴリ一覧	登録されているカテゴリを表示します。
辞書項目一覧	登録されている辞書項目一覧を表示します。
エイリアス一覧	登録されているエイリアス一覧を表示します。

カテゴリ

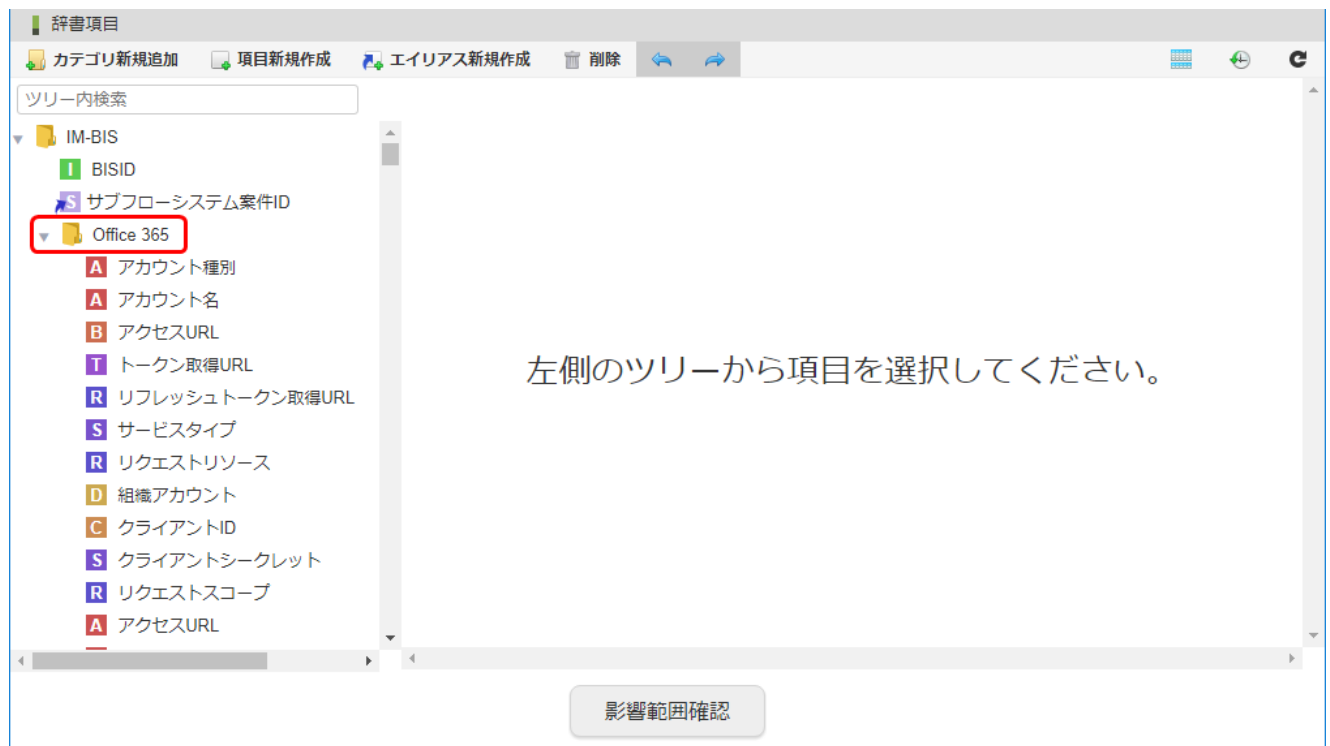
辞書項目のカテゴリを扱う画面の機能について説明します。

カテゴリを新規登録する

1. 「サイトマップ」 - 「Repository」 - 「辞書項目一覧」をクリックし、「辞書項目一覧」画面を表示します。



2. 項目一覧ツリーで新規カテゴリを追加したいカテゴリをクリックします。



3. ツールバーの「カテゴリ新規追加」をクリックします。

辞書項目

カテゴリ新規追加 項目新規作成 エイリアス新規作成 削除

ツリー内検索

IM-BIS

BISID

サブフローシステム案件ID

Office 365

アカウント種別

アカウント名

アクセスURL

トークン取得URL

リフレッシュトークン取得URL

サービスタイプ

リクエストリソース

組織アカウント

クライアントID

クライアントシークレット

リクエストスコープ

アクセスURL

Office 365

カテゴリID im_bis_o365

カテゴリ名 標準 * Office 365

説明 標準

影響範囲確認

4. カテゴリ情報が表示されます。

辞書項目

カテゴリ新規追加 項目新規作成 エイリアス新規作成 削除

ツリー内検索

クライアントID

クライアントシークレット

リクエストスコープ

アクセスURL

アクセストークン

リフレッシュトークン

期限

メールアドレス

新しいカテゴリ

BIS名

メインフローシステム案件ID

Forma Connect

ターゲットID

カテゴリ種別

ソート番号

追加1

追加2

新しいカテゴリ

カテゴリID 8elr9jo8z7x1l

カテゴリ名 標準 * 新しいカテゴリ

説明 標準

影響範囲確認

<画面項目>

項目	説明
カテゴリID	カテゴリを一意に表す文字列を入力します。 この項目は必須項目です。
カテゴリ名	カテゴリを表す名称を入力します。 名称には各言語で利用するものと、言語情報が指定されていない場合に標準で利用するものを指定します。 この項目は標準のみ必須項目です。

項目	説明
説明	カテゴリの説明を入力します。 説明には各言語で利用するものと、言語情報が指定されていない場合に標準で利用するものを指定します。

5. 必要項目を入力します。

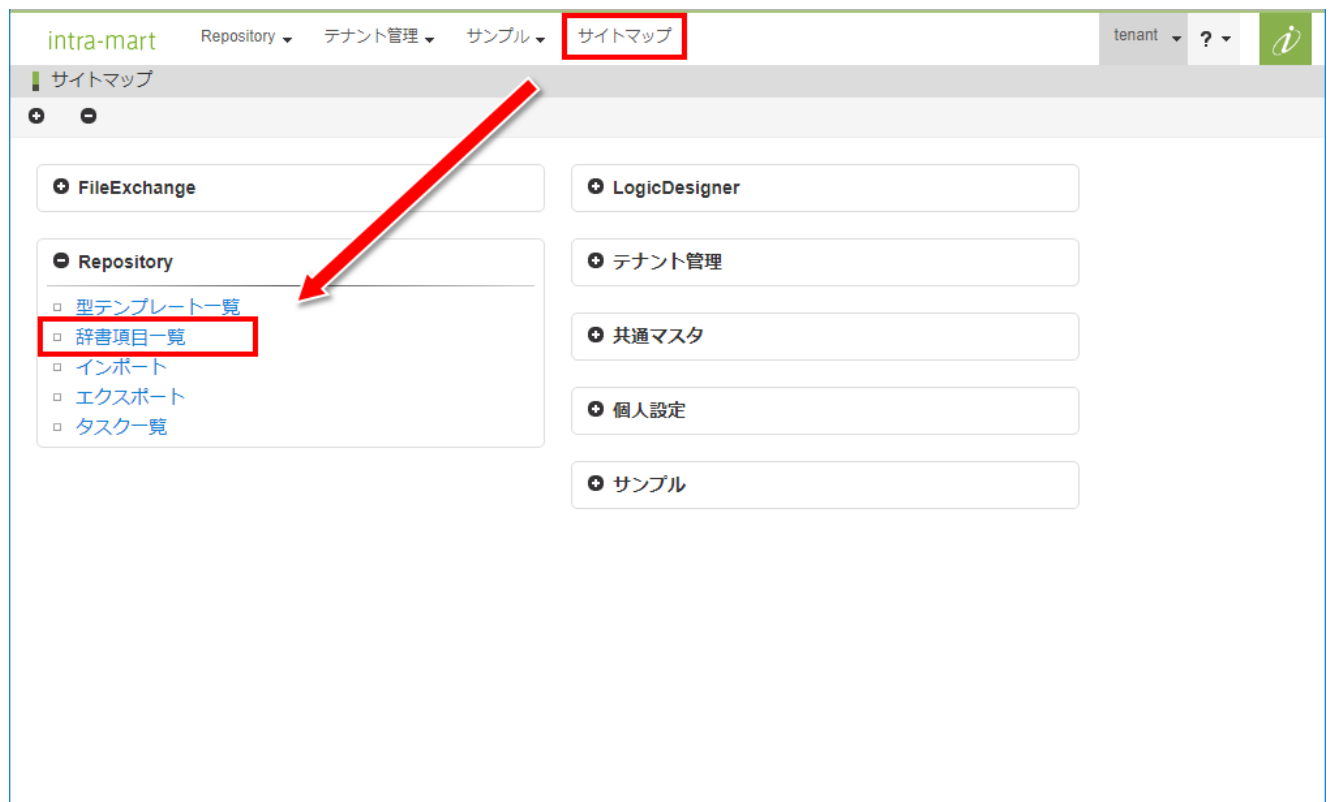


コラム

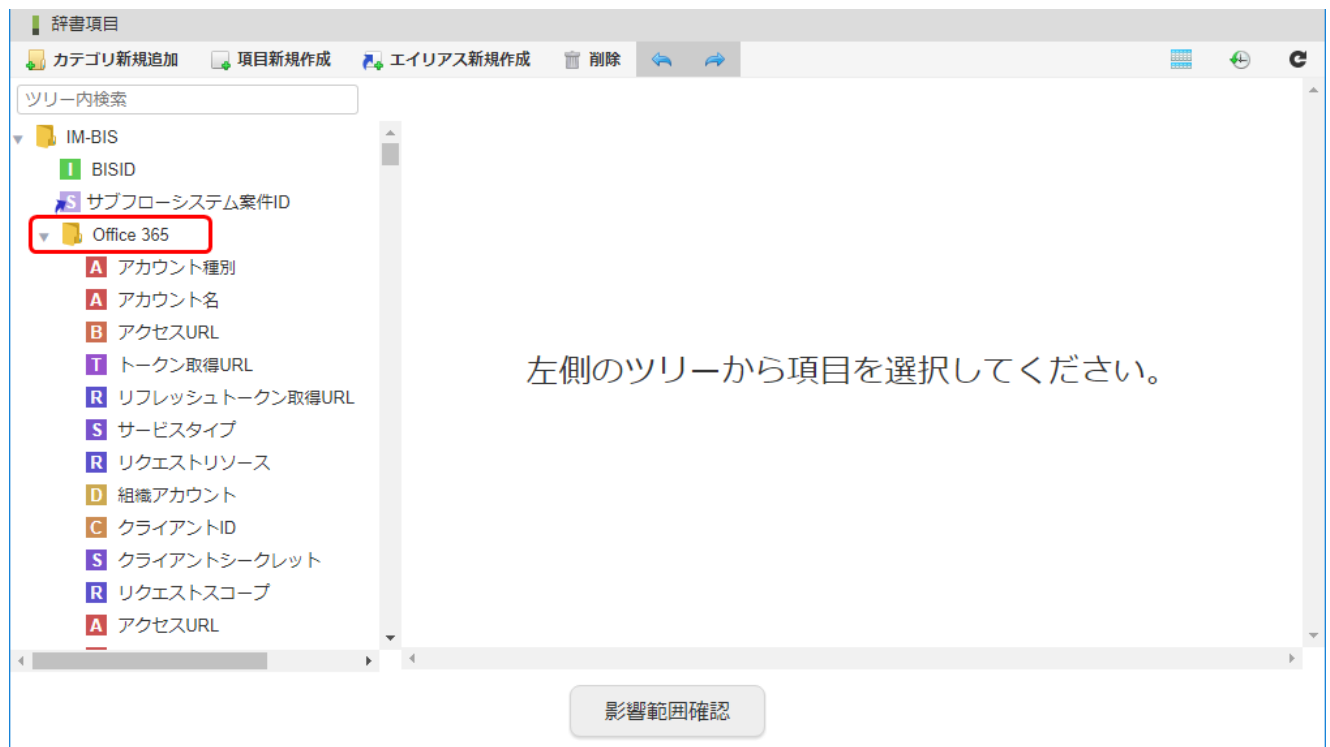
編集した内容は [影響範囲一覧の確認](#) 後に、[影響範囲の適用](#) を行うことにより保存されます。

カテゴリを確認する

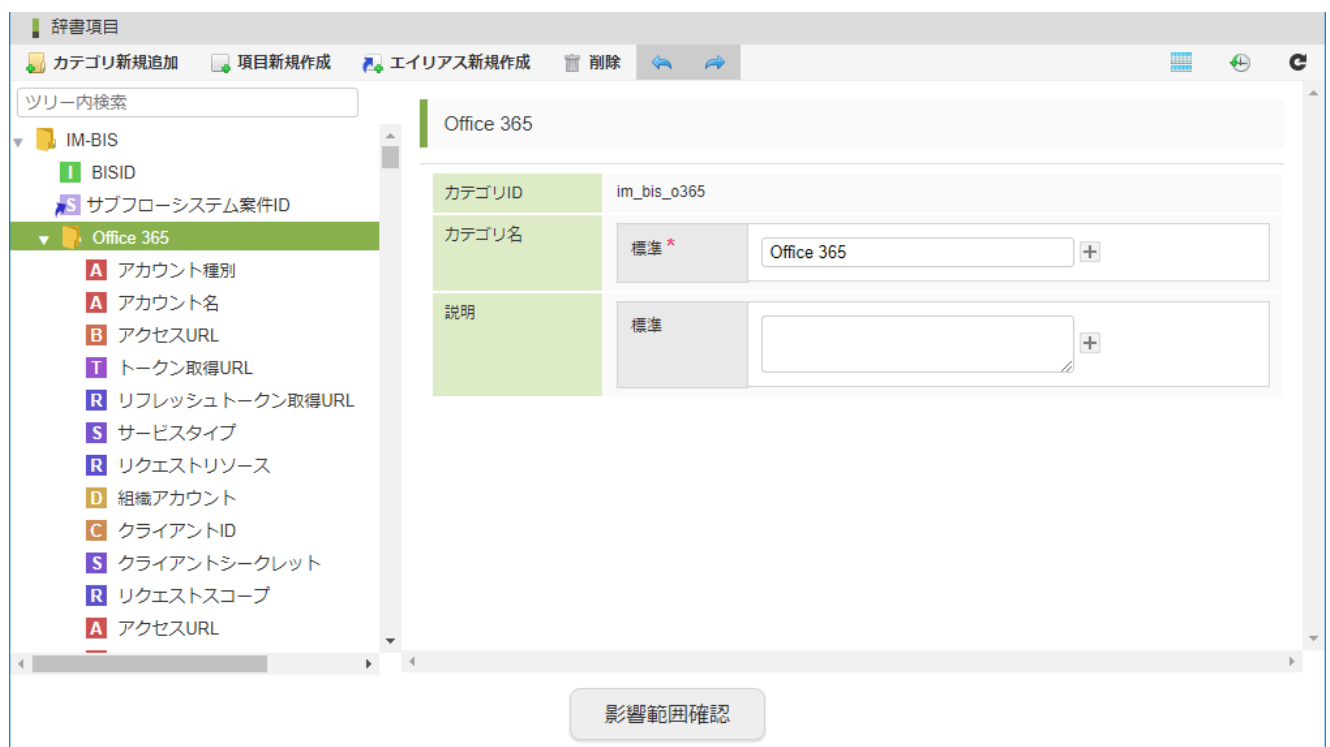
1. 「サイトマップ」 - 「Repository」 - 「辞書項目一覧」をクリックし、「辞書項目一覧」画面を表示します。



2. 項目一覧ツリーから確認を行うカテゴリをクリックします。



3. カテゴリ情報が表示されます。

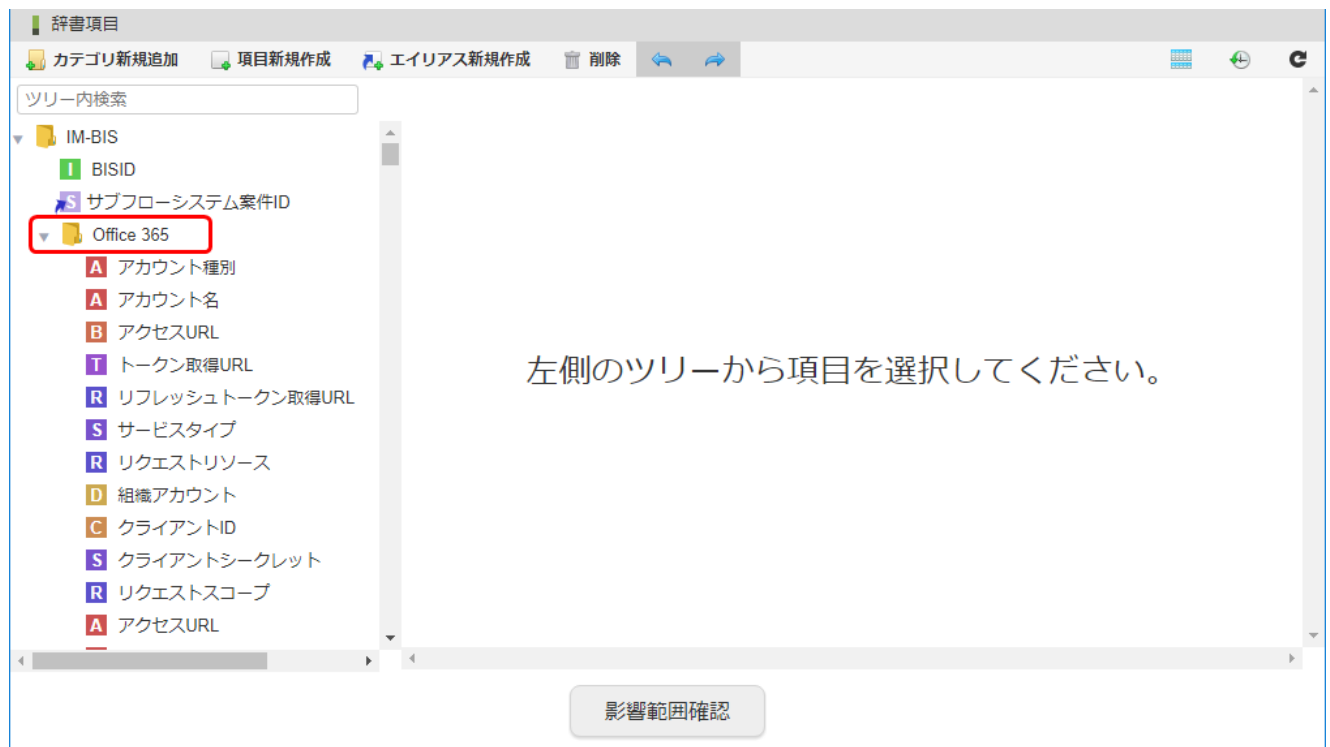


カテゴリを編集する

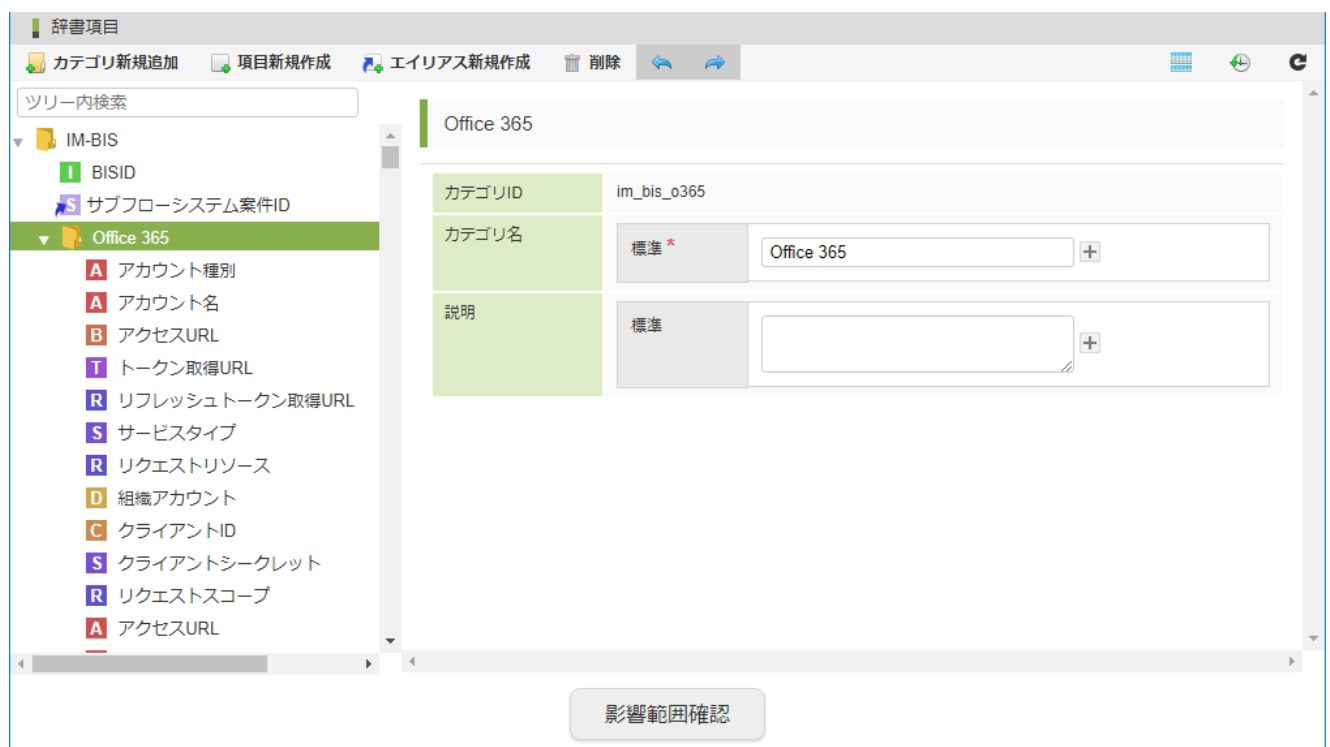
- [カテゴリを更新する](#)
- [カテゴリを削除する](#)

カテゴリを更新する

1. 「[カテゴリを確認する](#)」の手順をもとに、「辞書項目一覧」画面を表示します。
2. 項目一覧ツリーから更新を行うカテゴリをクリックします。



3. カテゴリ情報が表示されます。



<画面項目>

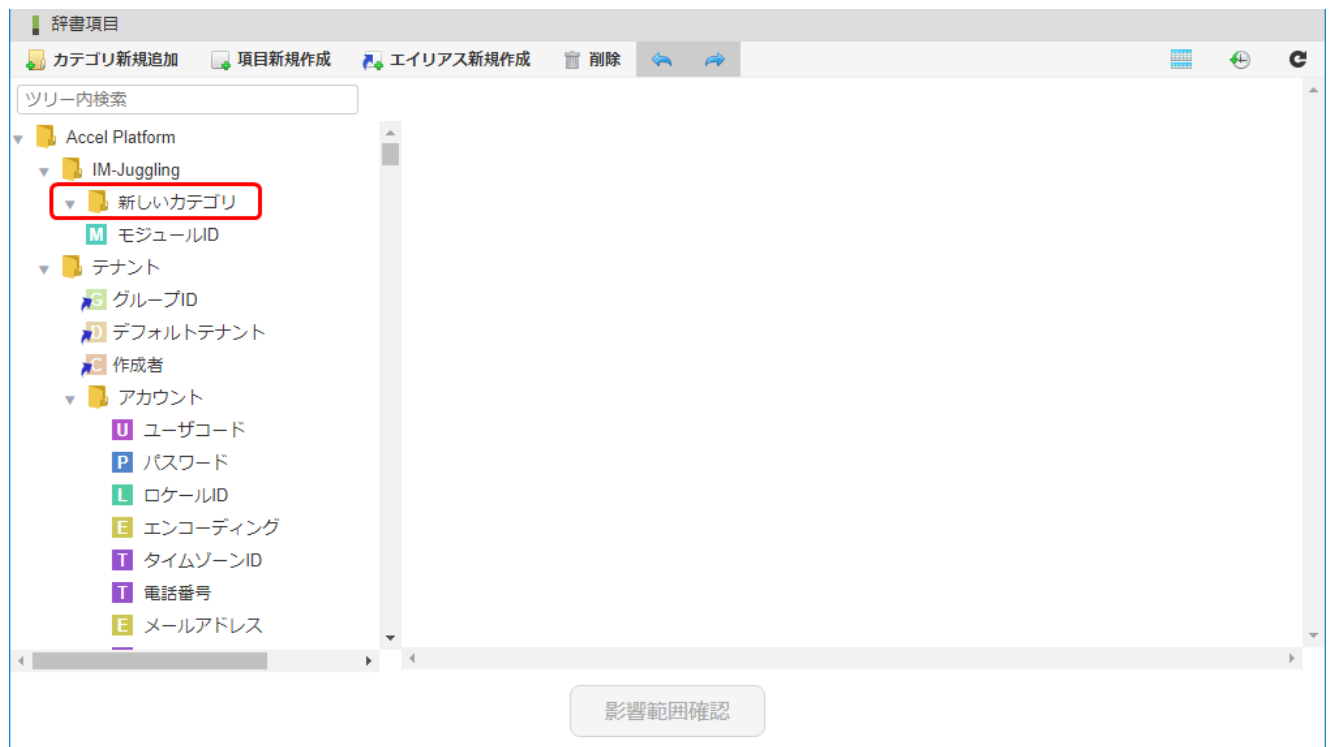
項目	説明
カテゴリID	カテゴリを一意に表す文字列を表示します。 更新時にはこの項目は編集不可です。
カテゴリ名	カテゴリを表す名称を入力します。 名称には各言語で利用するものと、言語情報が指定されていない場合に標準で利用するものを指定します。 この項目は標準のみ必須項目です。

項目	説明
説明	カテゴリの説明を入力します。 説明には各言語で利用するものと、言語情報が指定されていない場合に標準で利用するものを指定します。

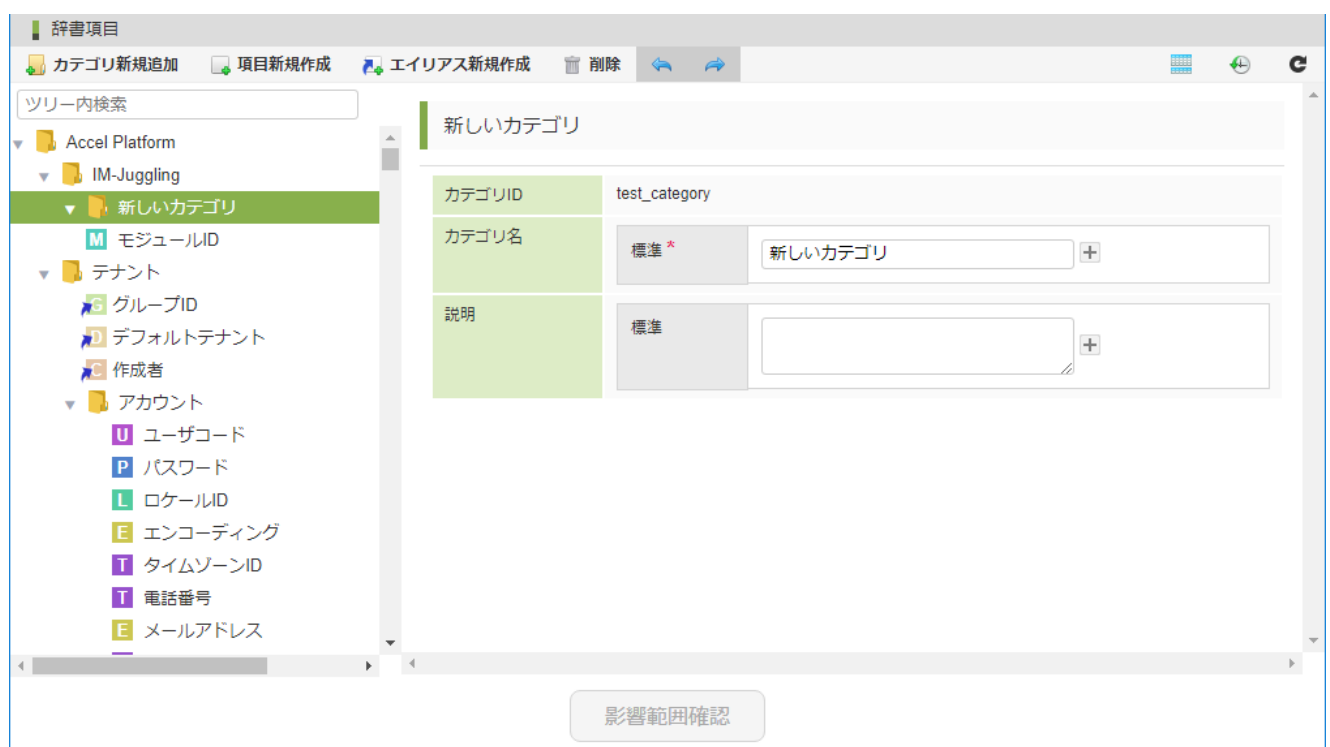
4. 更新内容を入力します。

カテゴリを削除する

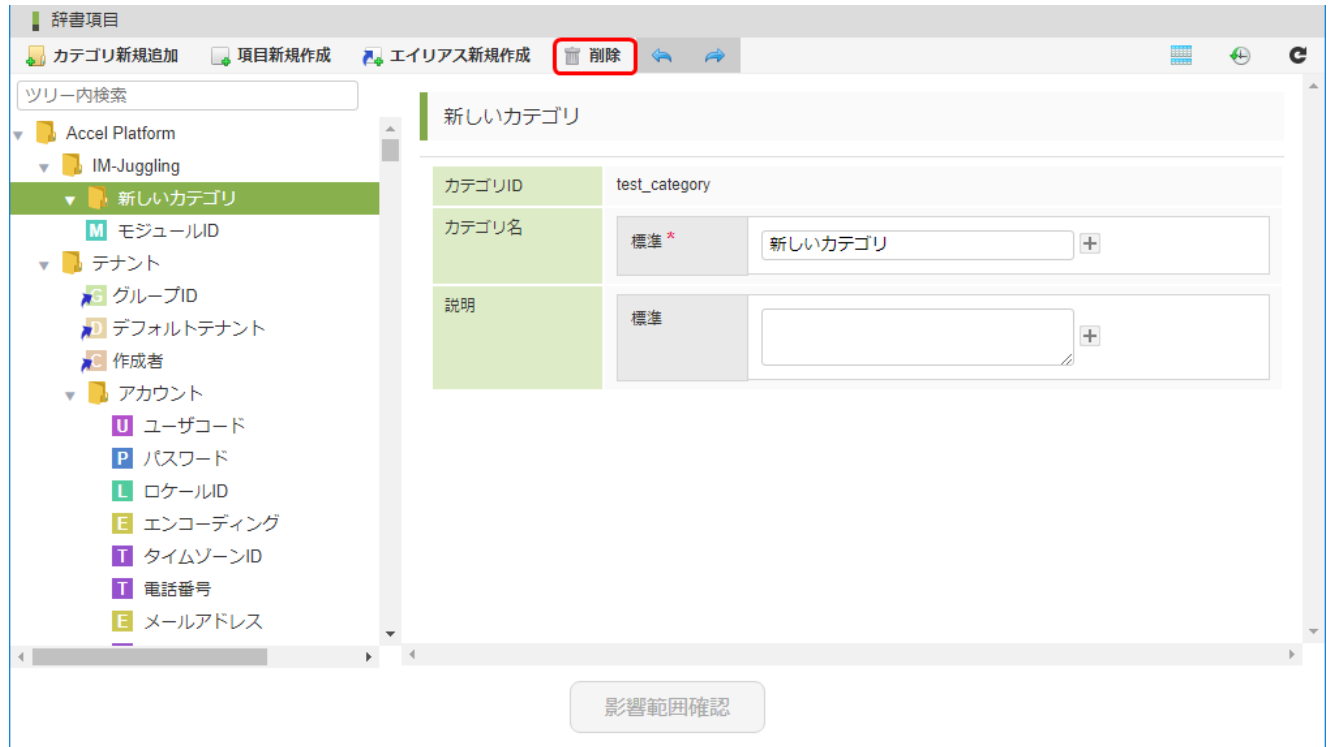
1. 「[カテゴリを確認する](#)」の手順をもとに、「辞書項目一覧」画面を表示します。
2. 項目一覧ツリーから削除を行うカテゴリをクリックします。



3. カテゴリ情報が表示されます。



4. ツールバーの「削除」をクリックします。



コラム

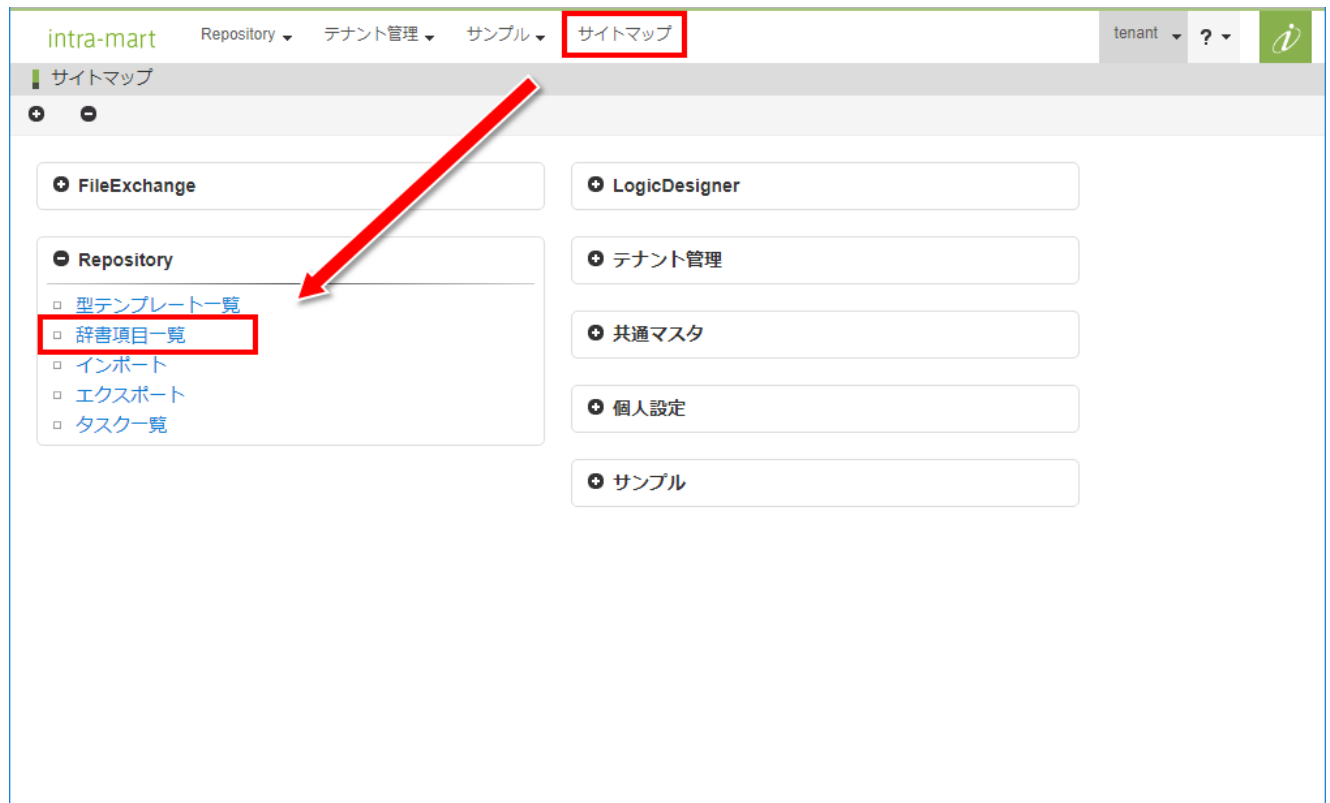
編集した内容は [影響範囲一覧の確認](#) 後に、[影響範囲の適用](#) を行うことにより保存されます。

辞書項目

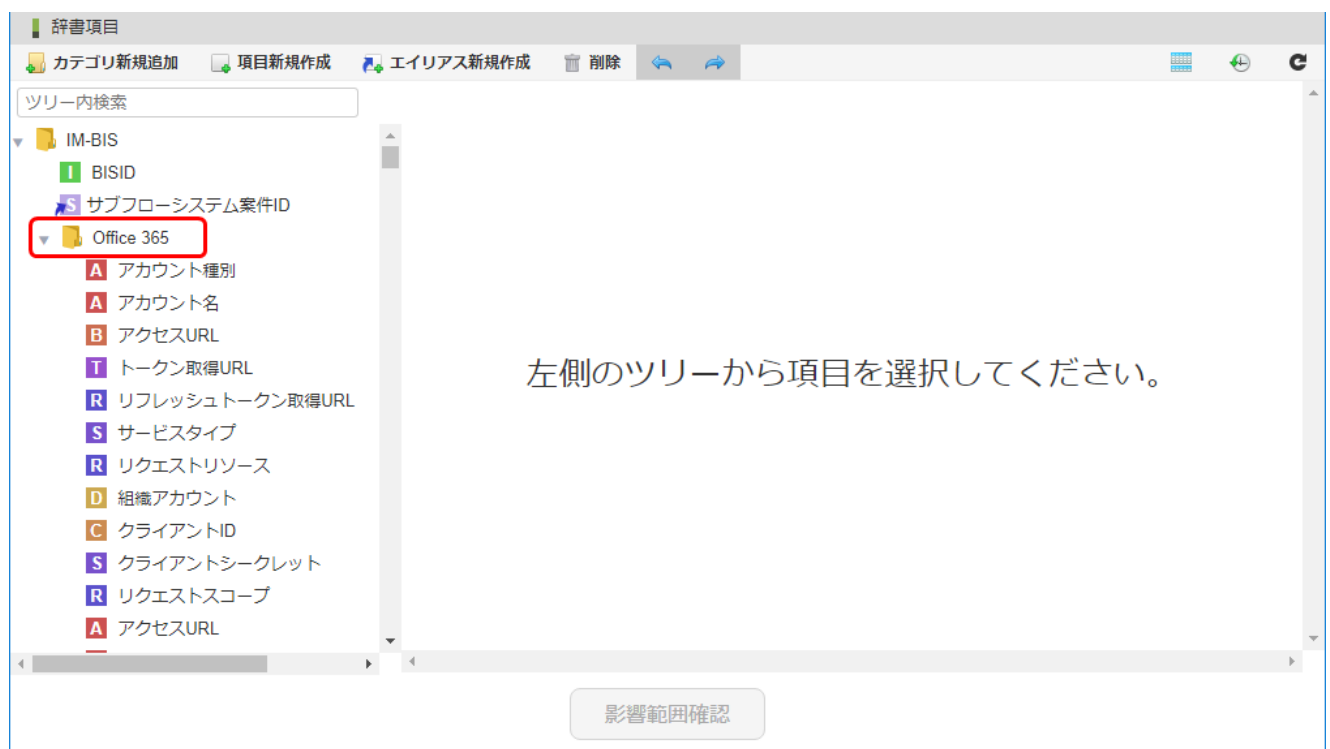
辞書項目を扱う画面の機能について説明します。

辞書項目を新規登録する

1. 「サイトマップ」 - 「Repository」 - 「辞書項目一覧」をクリックし、「辞書項目一覧」画面を表示します。



2. 項目一覧ツリーで新規辞書項目を追加したいカテゴリをクリックします。



3. ツールバーの「項目新規作成」をクリックします。

辞書項目

カテゴリ新規追加 項目新規作成 エイリアス新規作成 削除

ツリー内検索

IM-BIS

BISID

サブフローシステム案件ID

Office 365

アカウント種別

アカウント名

アクセスURL

トークン取得URL

リフレッシュトークン取得URL

サービスタイプ

リクエストリソース

組織アカウント

クライアントID

クライアントシークレット

リクエストスコープ

アクセスURL

Office 365

カテゴリID im_bis_o365

カテゴリ名 標準 Office 365

説明 標準

影響範囲確認

4. 辞書項目情報が表示されます。

辞書項目

カテゴリ新規追加 項目新規作成 エイリアス新規作成 削除

ツリー内検索

クライアントID

クライアントシークレット

リクエストスコープ

アクセスURL

アクセストークン

リフレッシュトークン

期限

メールアドレス

新しい辞書項目

BIS名

メインフローシステム案件ID

Forma Connect

ターゲットID

カテゴリ種別

ソート番号

追加1

追加2

新しい辞書項目

辞書項目ID 8elk2msumoyft

辞書項目名 標準 新しい辞書項目

説明 標準

初期値 初期値

辞書項目の有効化 ☐ 有効

用途

データ

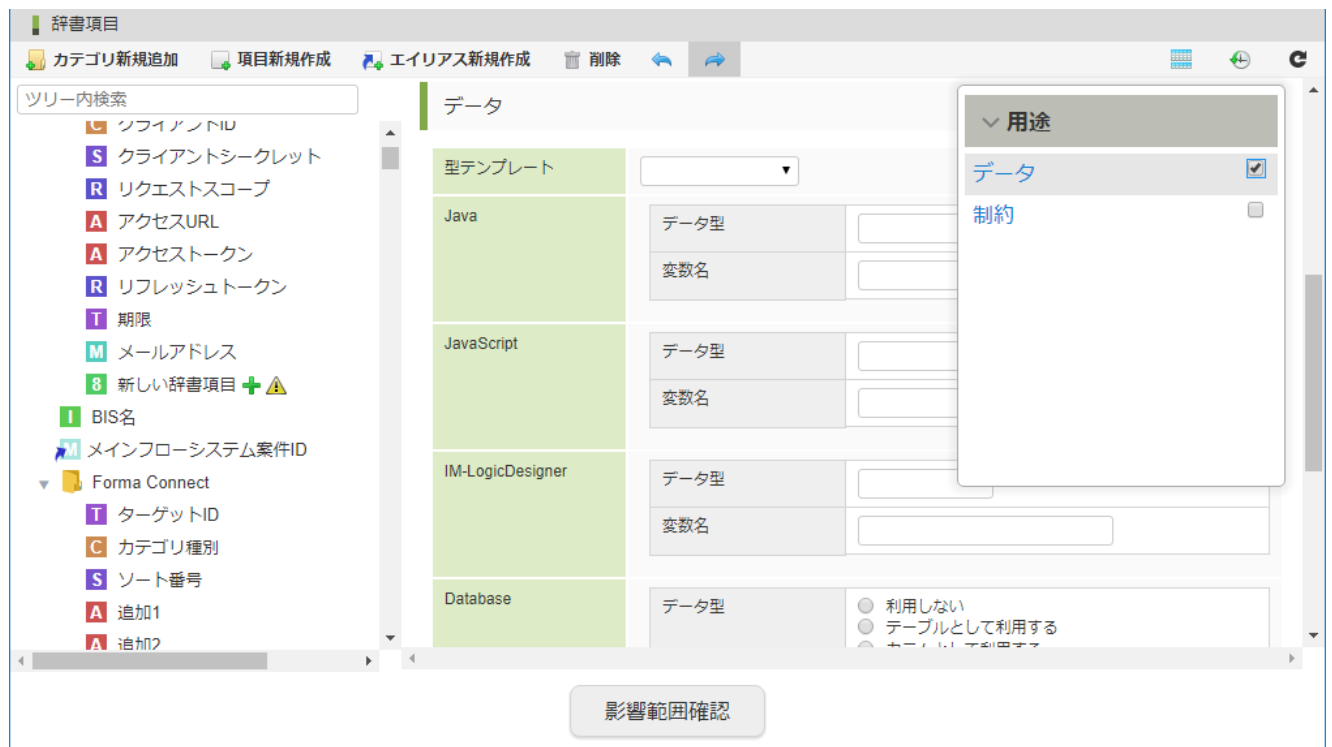
制約

影響範囲確認

<画面項目（辞書項目）>

項目	説明
辞書項目ID	辞書項目を一意に表す文字列を入力します。 この項目は必須項目です。
辞書項目名	辞書項目を表す名称を入力します。 名称には各言語で利用するものと、言語情報が指定されていない場合に標準で利用するものを指定します。 この項目は標準のみ必須項目です。

項目	説明
説明	辞書項目の説明を入力します。 説明には各言語で利用するものと、言語情報が指定されていない場合に標準で利用するものを指定します。
初期値	辞書項目の初期値を入力します。 初期値は固定値のみが入力可能です。
辞書項目の有効化	辞書項目の有効、無効を設定します。 無効と設定された辞書項目は外部のアプリケーションから利用できません。
用途	- データ 辞書項目をデータ型として利用する場合に設定します。 この用途は主に、データベースやアプリケーション等から利用される事を想定した用途の場合に指定します。 - 制約 辞書項目に対する制約を設定します。 この用途は主に入力内容に対するバリデーション等で利用される事を想定しています。



<画面項目（データ）>

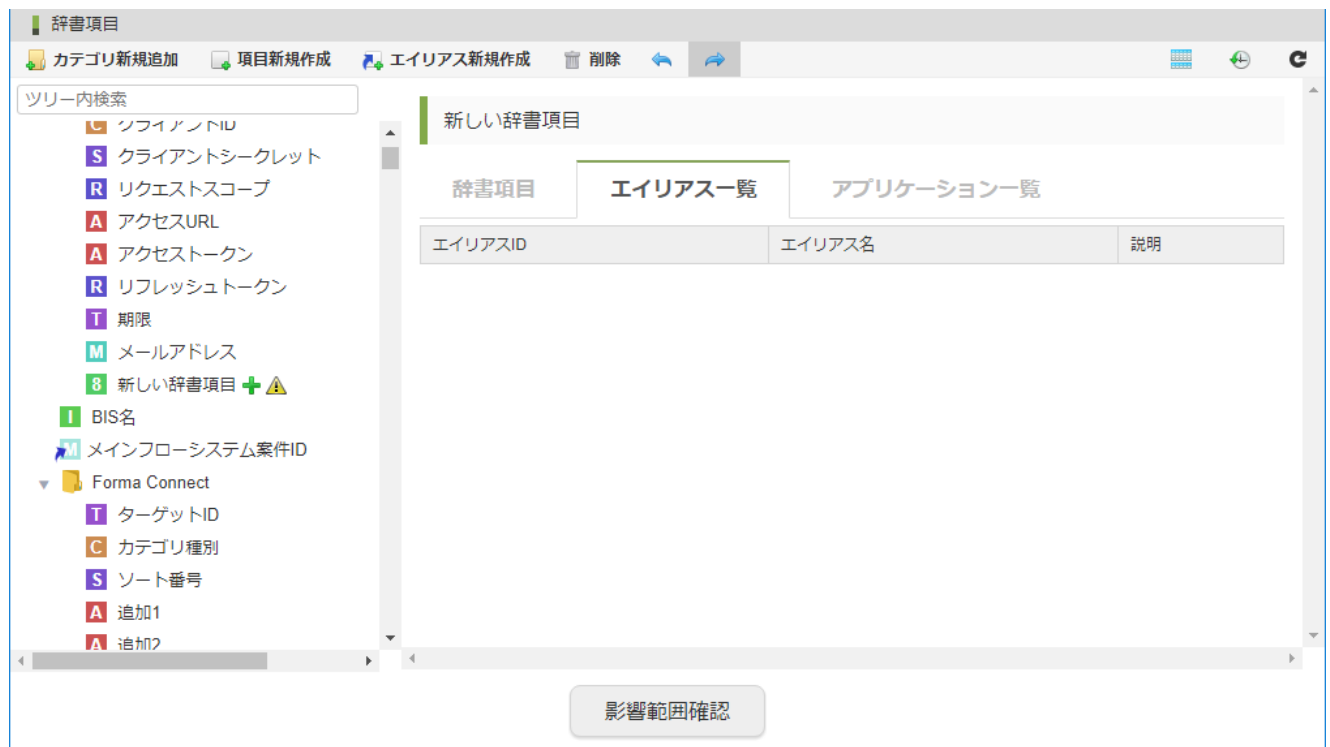
項目	説明
型テンプレート	使用する型テンプレートを設定します。
Java	- データ型 Javaで使用された時のデータ型を設定します。 - 変数名 Javaコードを自動生成する等の用途の場合に利用される変数名を設定します。

項目	説明
JavaScript	■ データ型 JavaScriptで使用された時のデータ型を設定します。 ■ 変数名 JavaScriptコードを自動生成する等の用途の場合に利用される変数名を設定します。
IM-LogicDesigner	■ データ型 IM-LogicDesignerで使用された時のデータ型を設定します。 ■ 変数名 IM-LogicDesignerから利用される場合の変数名を設定します。
Database	■ データ型 データベースで使用された時のデータ型を設定します。 ■ 最大桁数 データベースで使用された時の最大桁数を入力します。 ■ 小数桁数 データベースで使用された時の小数桁数を入力します。 ■ 物理名 データベースで使用された時の物理名を入力します。 ■ 論理名 データベースで使用された時の論理名を入力します。 論理名には各言語で利用するものと、言語情報が指定されていない場合に標準で利用するものを指定します。 ■ コメント データベースで使用された時のコメントを入力します。 コメントには各言語で利用するものと、言語情報が指定されていない場合に標準で利用するものを指定します。

<画面項目（制約）>

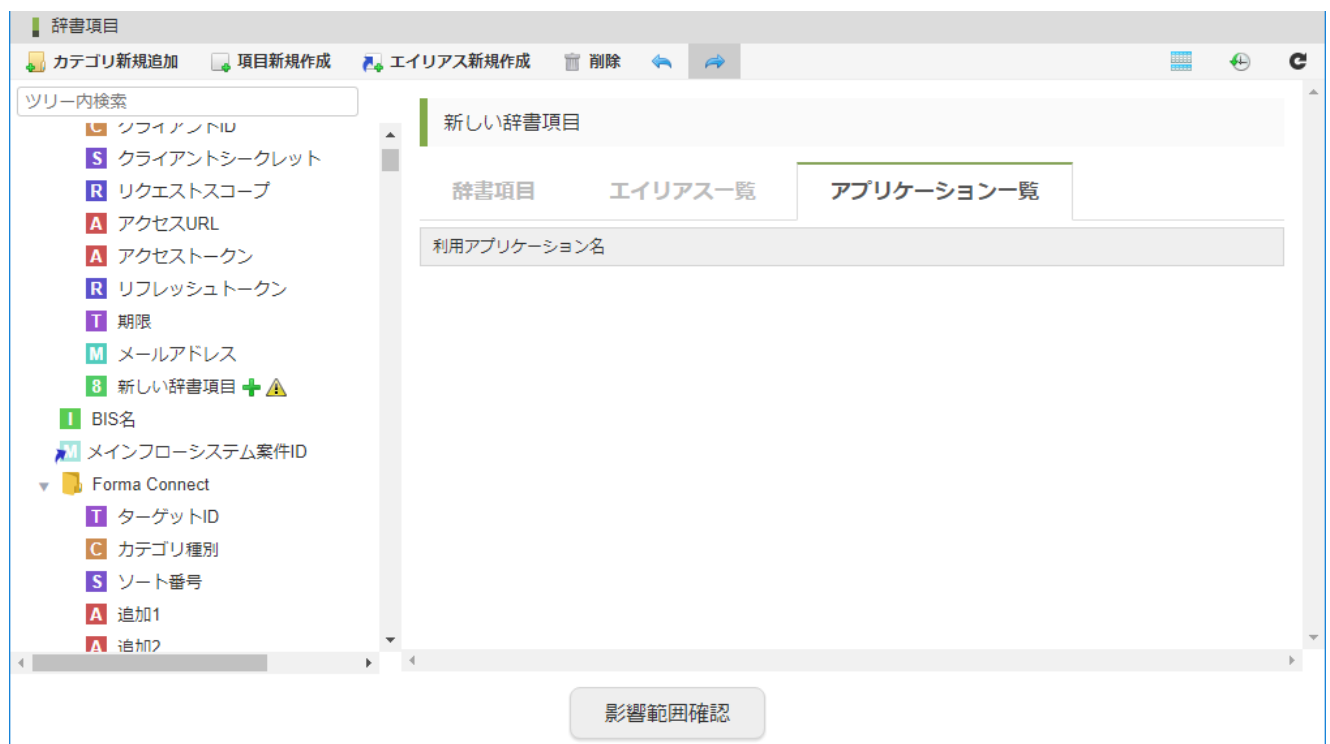
この設定項目の詳細については以下を参照してください。

- [辞書項目の制約](#)



<画面項目（エイリアス一覧）>

項目	説明
エイリアスID	エイリアスを一意に表す文字列を表示します。 エイリアスIDをクリックすると参照元のエイリアスの情報を表示します。
エイリアス名	エイリアスを表す名称を表示します。 エイリアス名をクリックすると参照元のエイリアスの情報を表示します。
説明	エイリアスの説明を表示します。



<画面項目（アプリケーション一覧）>

項目	説明
利用アプリケーション名	この辞書項目を利用しているアプリケーションが存在する場合、そのアプリケーションを表示します。

5. 必要項目を入力します。

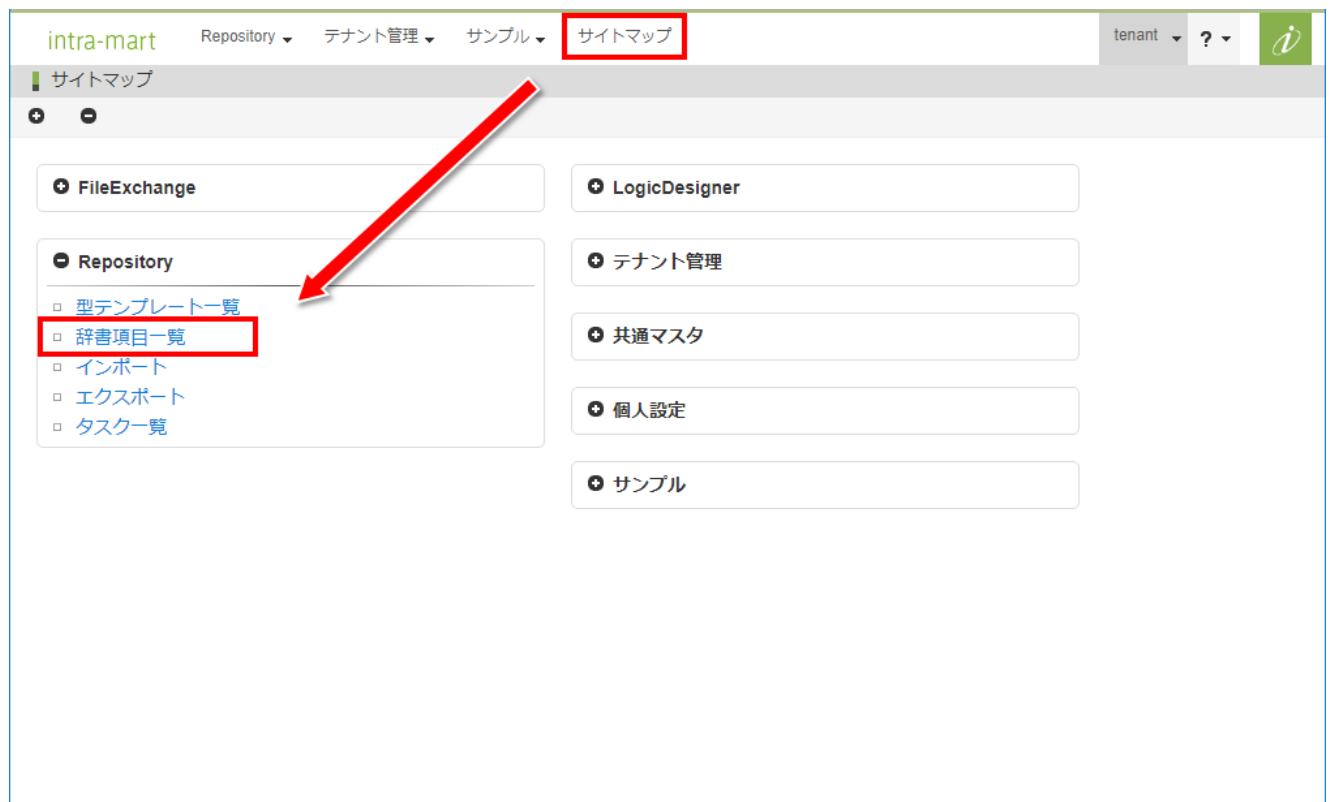


コラム

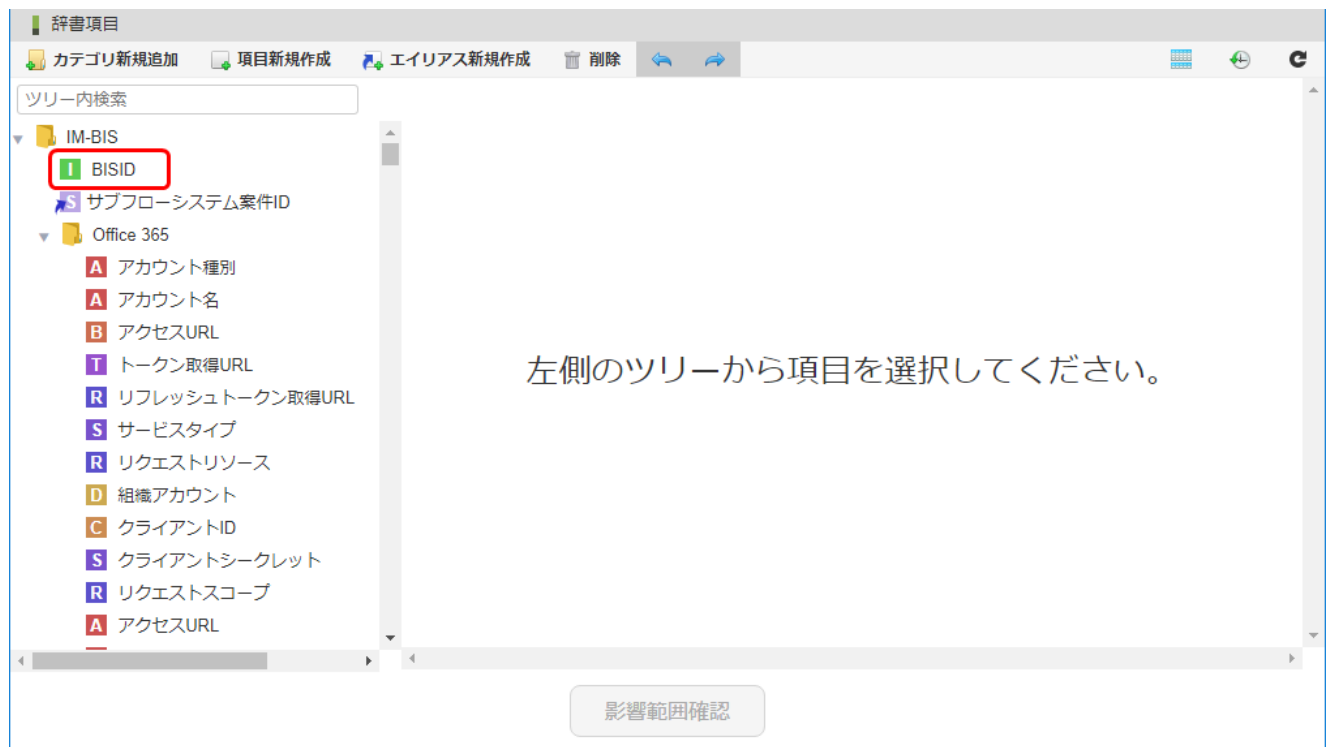
編集した内容は [影響範囲一覧の確認](#) 後に、[影響範囲の適用](#) を行うことにより保存されます。

辞書項目を確認する

1. 「サイトマップ」 - 「Repository」 - 「辞書項目一覧」をクリックし、「辞書項目一覧」画面を表示します。



2. 項目一覧ツリーから確認を行う辞書項目をクリックします。



3. 辞書項目情報が表示されます。

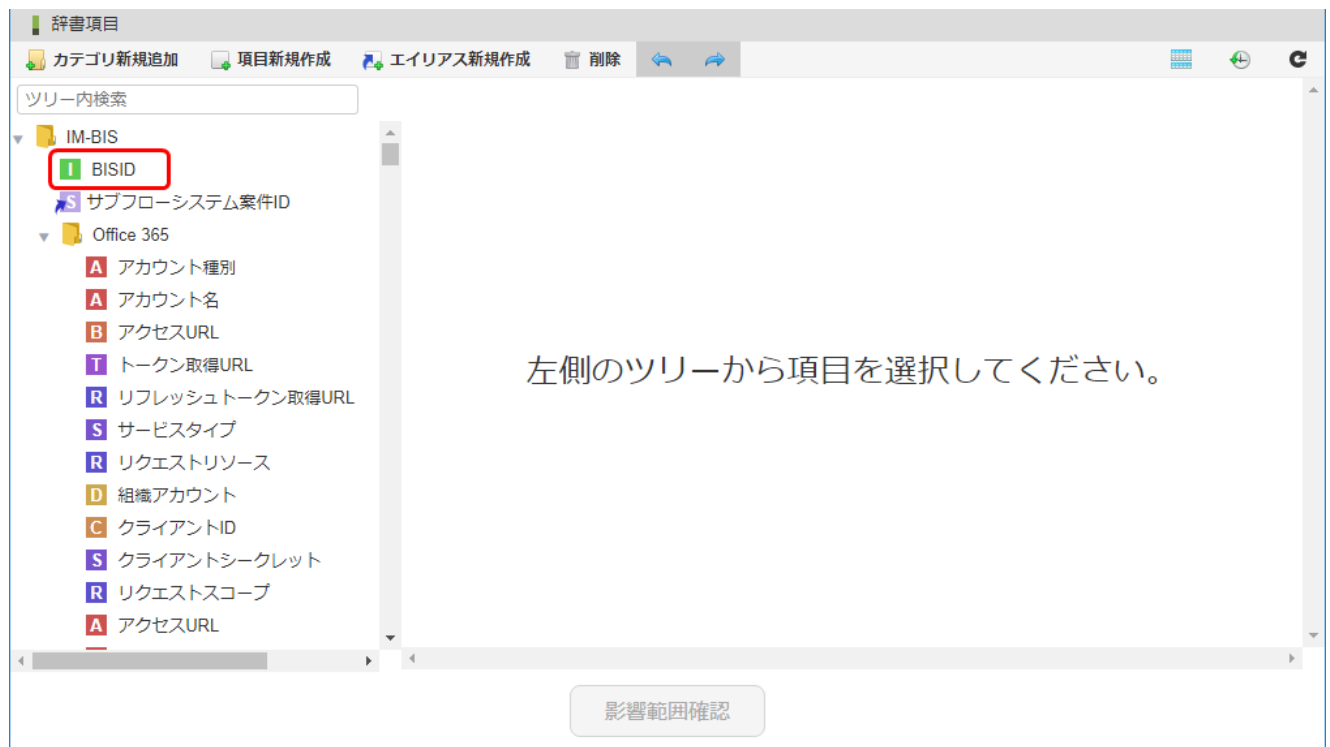


辞書項目を編集する

- 辞書項目を更新する
- 辞書項目を削除する

辞書項目を更新する

1. 「[辞書項目を確認する](#)」の手順をもとに、「辞書項目一覧」画面を表示します。
2. 項目一覧ツリーから更新を行う辞書項目をクリックします。



3. 辞書項目情報が表示されます。



<画面項目（辞書項目）>

項目	説明
辞書項目ID	辞書項目を一意に表す文字列を表示します。 更新時にはこの項目は編集不可です。
辞書項目名	辞書項目を表す名称を入力します。 名称には各言語で利用するものと、言語情報が指定されていない場合に標準で利用するものを指定します。 この項目は標準のみ必須項目です。

項目	説明
説明	辞書項目の説明を入力します。 説明には各言語で利用するものと、言語情報が指定されていない場合に標準で利用するものを指定します。
初期値	辞書項目の初期値を入力します。 初期値は固定値のみが入力可能です。
辞書項目の有効化	辞書項目の有効、無効を設定します。 無効と設定された辞書項目は外部のアプリケーションから利用できません。
用途	- データ 辞書項目をデータ型として利用する場合に設定します。 この用途は主に、データベースやアプリケーション等から利用される事を想定した用途の場合に指定します。 - 制約 辞書項目に対する制約を設定します。 この用途は主に入力内容に対するバリデーション等で利用される事を想定しています。

<画面項目（データ）>

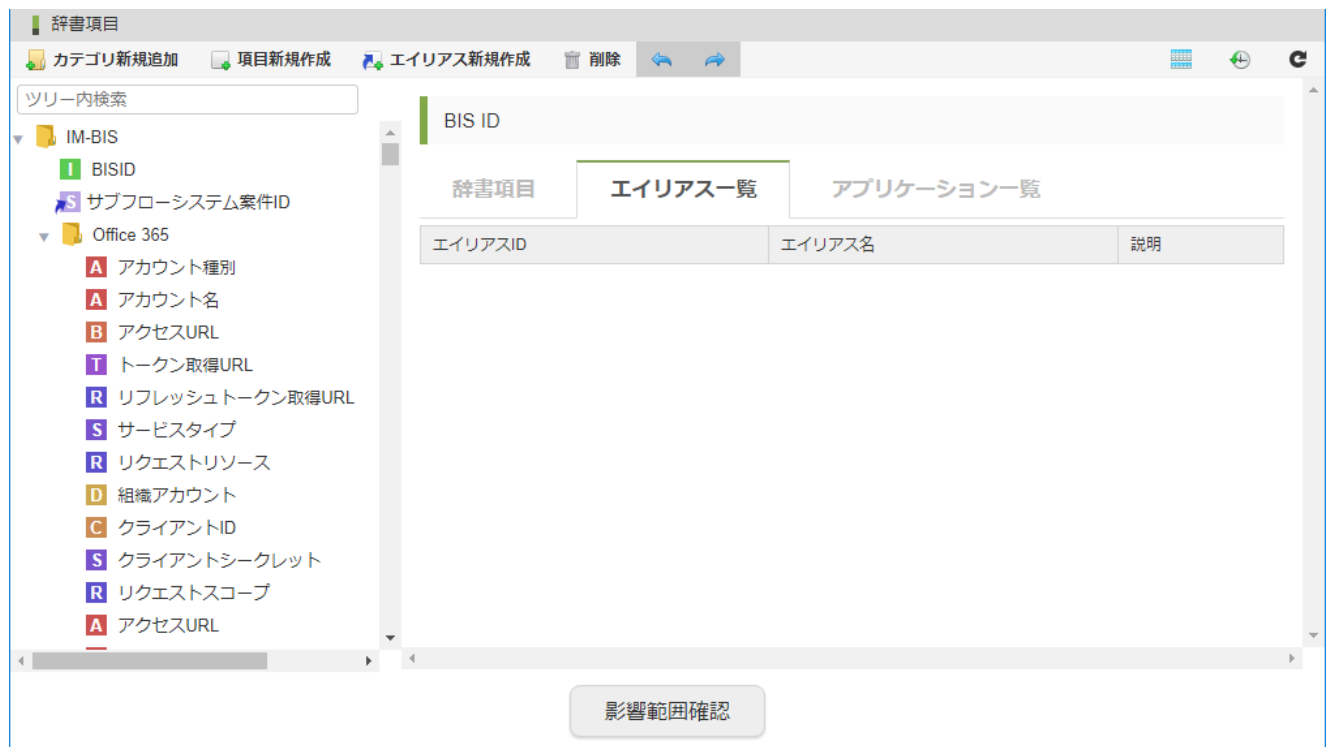
項目	説明
型テンプレート	使用する型テンプレートを設定します。
Java	- データ型 Javaで使用された時のデータ型を設定します。 - 変数名 Javaコードを自動生成する等の用途の場合に利用される変数名を設定します。

項目	説明
JavaScript	■ データ型 JavaScriptで使用された時のデータ型を設定します。 ■ 変数名 JavaScriptコードを自動生成する等の用途の場合に利用される変数名を設定します。
IM-LogicDesigner	■ データ型 IM-LogicDesignerで使用された時のデータ型を設定します。 ■ 変数名 IM-LogicDesignerから利用される場合の変数名を設定します。
Database	■ データ型 データベースで使用された時のデータ型を設定します。 ■ 最大桁数 データベースで使用された時の最大桁数を入力します。 ■ 小数桁数 データベースで使用された時の小数桁数を入力します。 ■ 物理名 データベースで使用された時の物理名を入力します。 ■ 論理名 データベースで使用された時の論理名を入力します。 論理名には各言語で利用するものと、言語情報が指定されていない場合に標準で利用するものを指定します。 ■ コメント データベースで使用された時のコメントを入力します。 コメントには各言語で利用するものと、言語情報が指定されていない場合に標準で利用するものを指定します。

<画面項目（制約）>

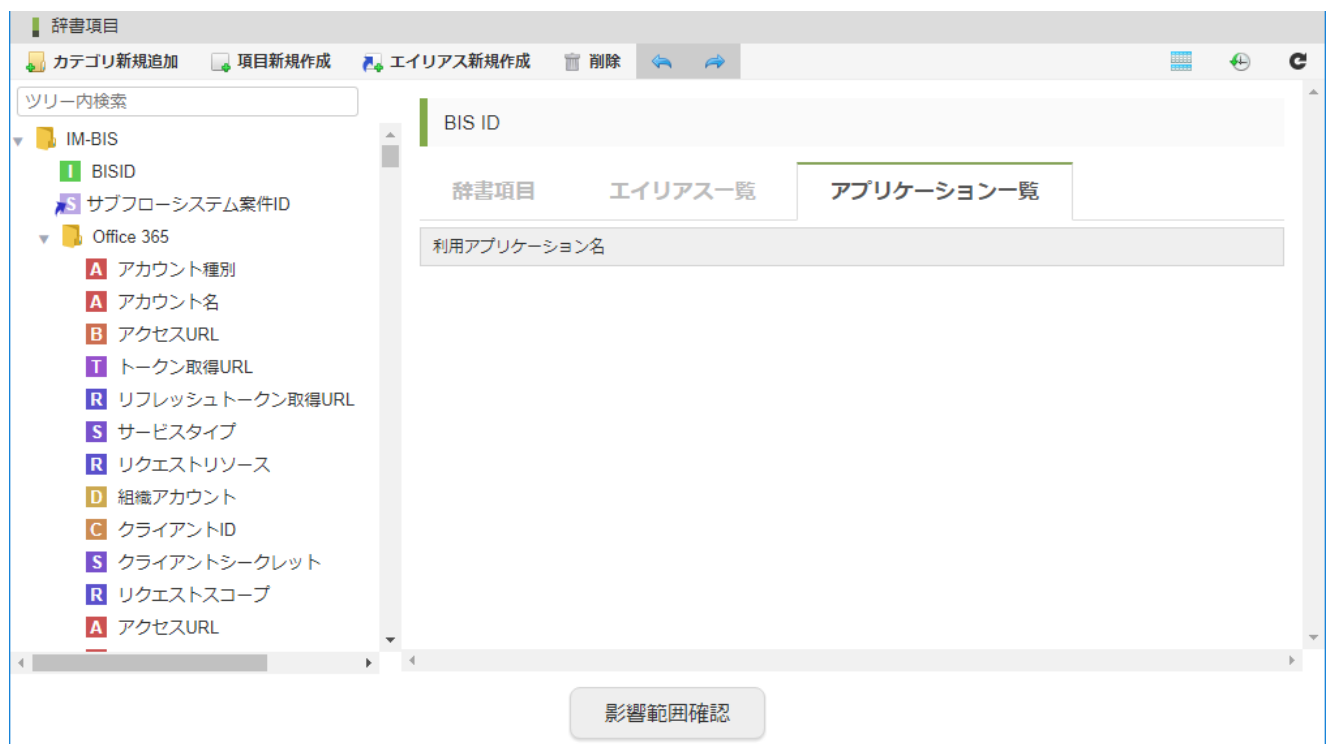
この設定項目の詳細については以下を参照してください。

- [辞書項目の制約](#)



<画面項目（エイリアス一覧）>

項目	説明
エイリアスID	エイリアスを一意に表す文字列を表示します。 エイリアスIDをクリックすると参照元のエイリアスの情報を表示します。
エイリアス名	エイリアスを表す名称を表示します。 エイリアス名をクリックすると参照元のエイリアスの情報を表示します。
説明	エイリアスの説明を表示します。



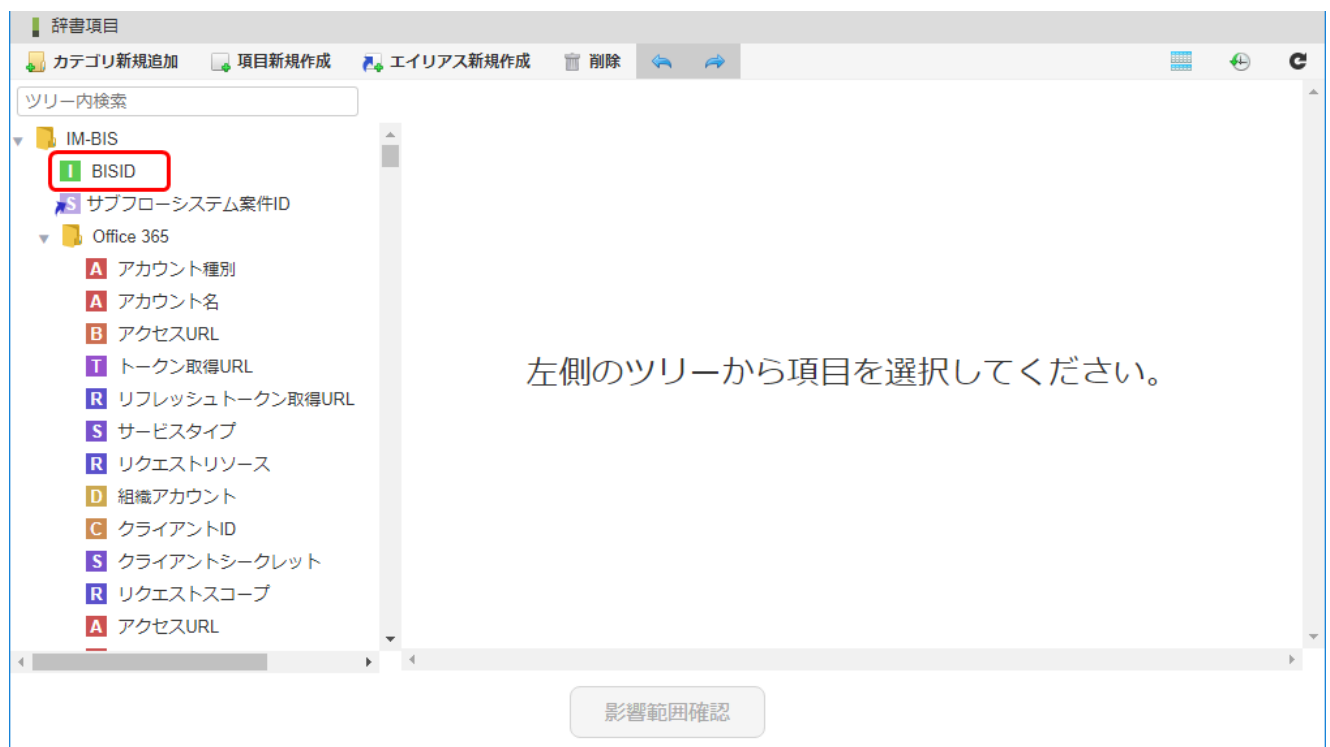
<画面項目（アプリケーション一覧）>

項目	説明
利用アプリケーション名	この辞書項目を利用しているアプリケーションが存在する場合、そのアプリケーションを表示します。

4. 更新内容を入力します。

辞書項目を削除する

1. 「[辞書項目を確認する](#)」の手順をもとに、「辞書項目一覧」画面を表示します。
2. 項目一覧ツリーから削除を行う辞書項目をクリックします。



3. 辞書項目情報が表示されます。



4. ツールバーの「削除」をクリックします。



コラム

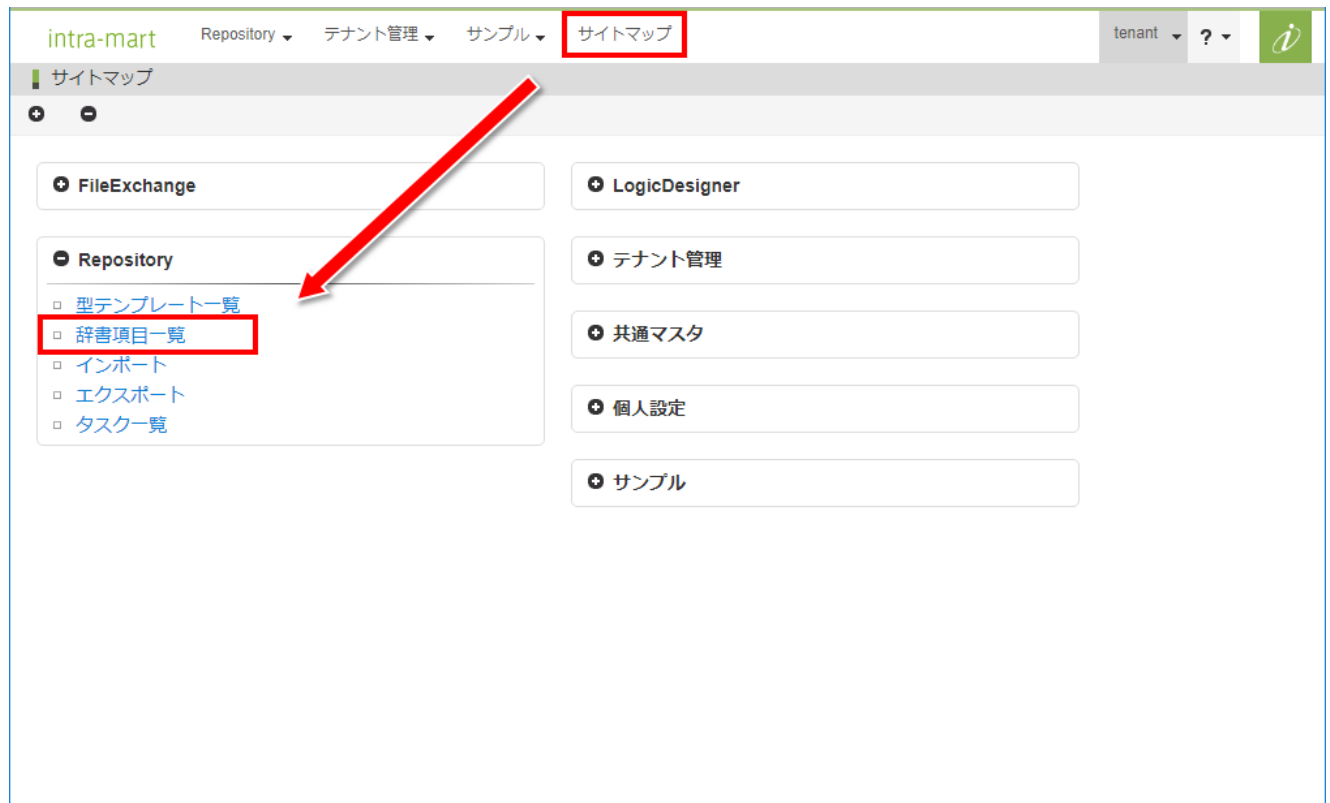
編集した内容は [影響範囲一覧の確認](#) 後に、[影響範囲の適用](#) を行うことにより保存されます。

エイリアス

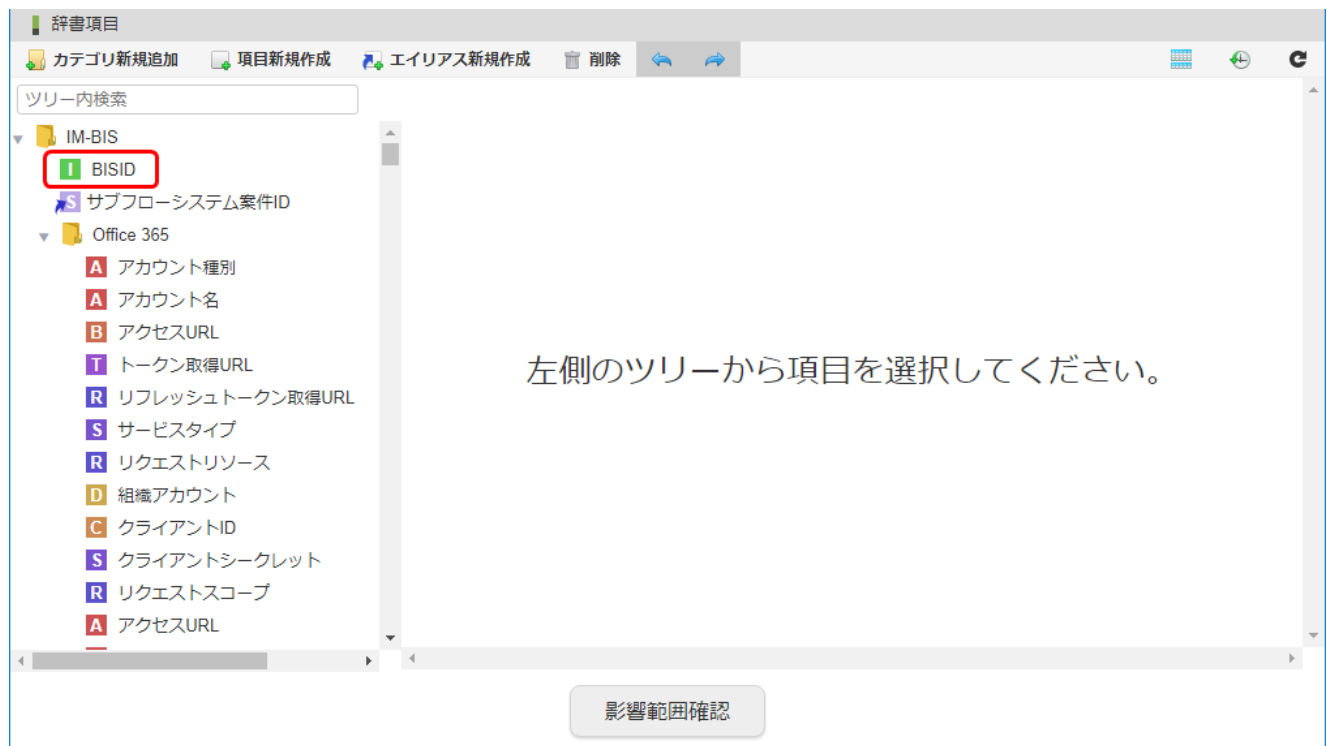
エイリアスを扱う画面の機能について説明します。

エイリアスを新規登録する

1. 「サイトマップ」 - 「Repository」 - 「辞書項目一覧」をクリックし、「辞書項目一覧」画面を表示します。



2. 項目一覧ツリーでエイリアス化したい辞書項目をクリックします。



3. ツールバーの「エイリアス新規作成」をクリックします。

辞書項目

カテゴリ新規追加 項目新規作成 **エイリアス新規作成** 削除

ツリー内検索

IM-BIS

BISID

サブフローシステム案件ID

Office 365

アカウント種別

アカウント名

アクセスURL

トークン取得URL

リフレッシュトークン取得URL

サービスタイプ

リクエストリソース

組織アカウント

クライアントID

クライアントシークレット

リクエストスコープ

アクセスURL

BIS ID

辞書項目ID: im_bis.integration_id

辞書項目名: 標準 * BIS ID

説明: 標準

初期値: 初期値

辞書項目の有効化: ☒ 有効

データ

影響範囲確認

用途

データ ☒

制約 ☐

4. エイリアス情報が表示されます。

辞書項目

カテゴリ新規追加 項目新規作成 **エイリアス新規作成** 削除

ツリー内検索

IM-BIS

BISID

Alias of BISID

サブフローシステム案件ID

Office 365

アカウント種別

アカウント名

アクセスURL

トークン取得URL

リフレッシュトークン取得URL

サービスタイプ

リクエストリソース

組織アカウント

クライアントID

クライアントシークレット

リクエストスコープ

Alias of BIS ID

エイリアスID: alias_im_bis.integration_id_1

エイリアス名: 標準 * Alias of BIS ID

説明: 標準

参照先辞書項目ID: im_bis.integration_id

データ

Java

データ型: String

変数名: integrationId

影響範囲確認

用途

データ ☒

制約 ☐

<画面項目（エイリアス）>

項目	説明
エイリアスID	エイリアスを一意に表す文字列を入力します。 この項目は必須項目です。
エイリアス名	エイリアスを表す名称を入力します。 名称には各言語で利用するものと、言語情報が指定されていない場合に標準で利用するものを指定します。 この項目は標準のみ必須項目です。

項目	説明
説明	エイリアスの説明を入力します。 説明には各言語で利用するものと、言語情報が指定されていない場合に標準で利用するものを指定します。
参照先辞書項目ID	エイリアスの元になった辞書項目IDを表示します。 辞書項目IDをクリックすると参照先の辞書項目の情報を表示します。

<画面項目（データ）>

参照先の辞書項目と同じ設定が表示されます。

項目	説明
Database	- 論理名 データベースで使用された時の論理名を入力します。 論理名には各言語で利用するものと、言語情報が指定されていない場合に標準で利用するものを指定します。 - コメント データベースで使用された時のコメントを入力します。 コメントには各言語で利用するものと、言語情報が指定されていない場合に標準で利用するものを指定します。

5. 必要項目を入力します。

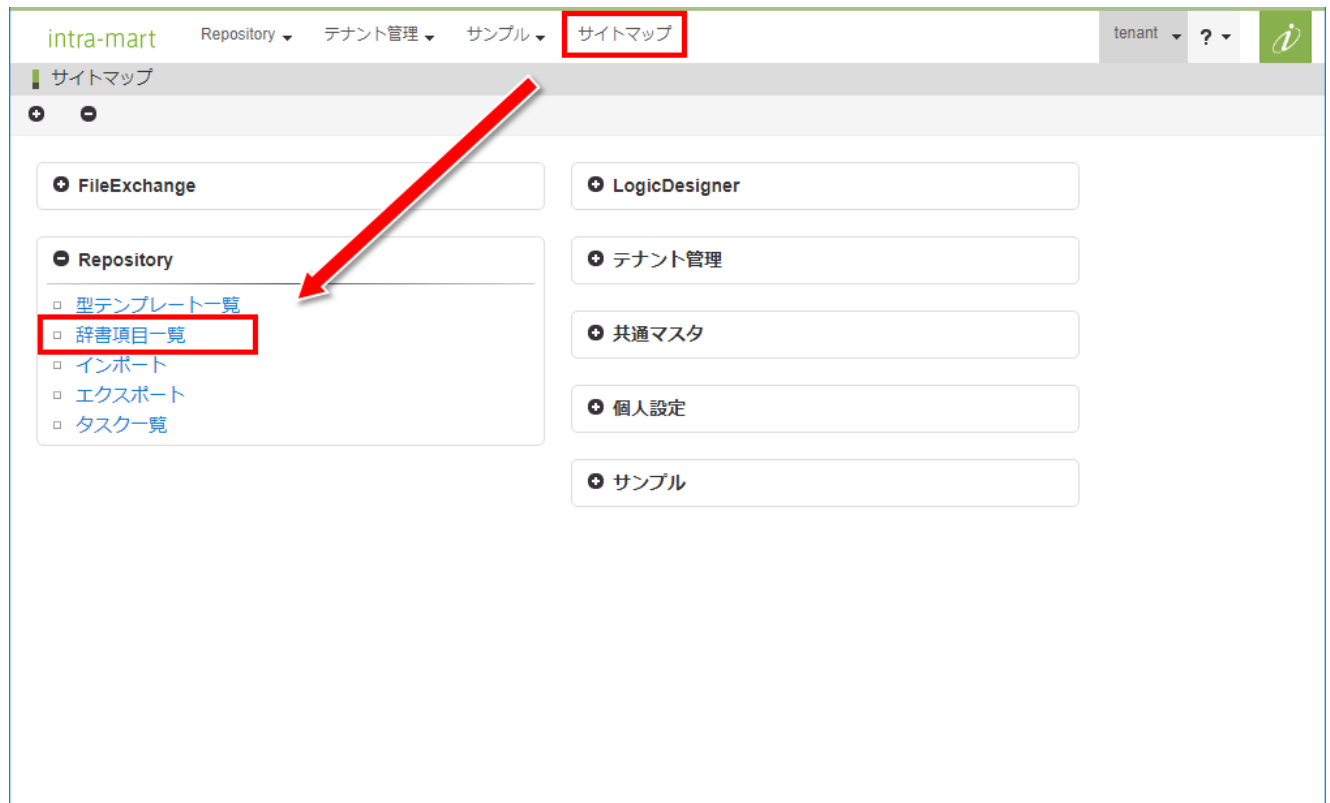


コラム

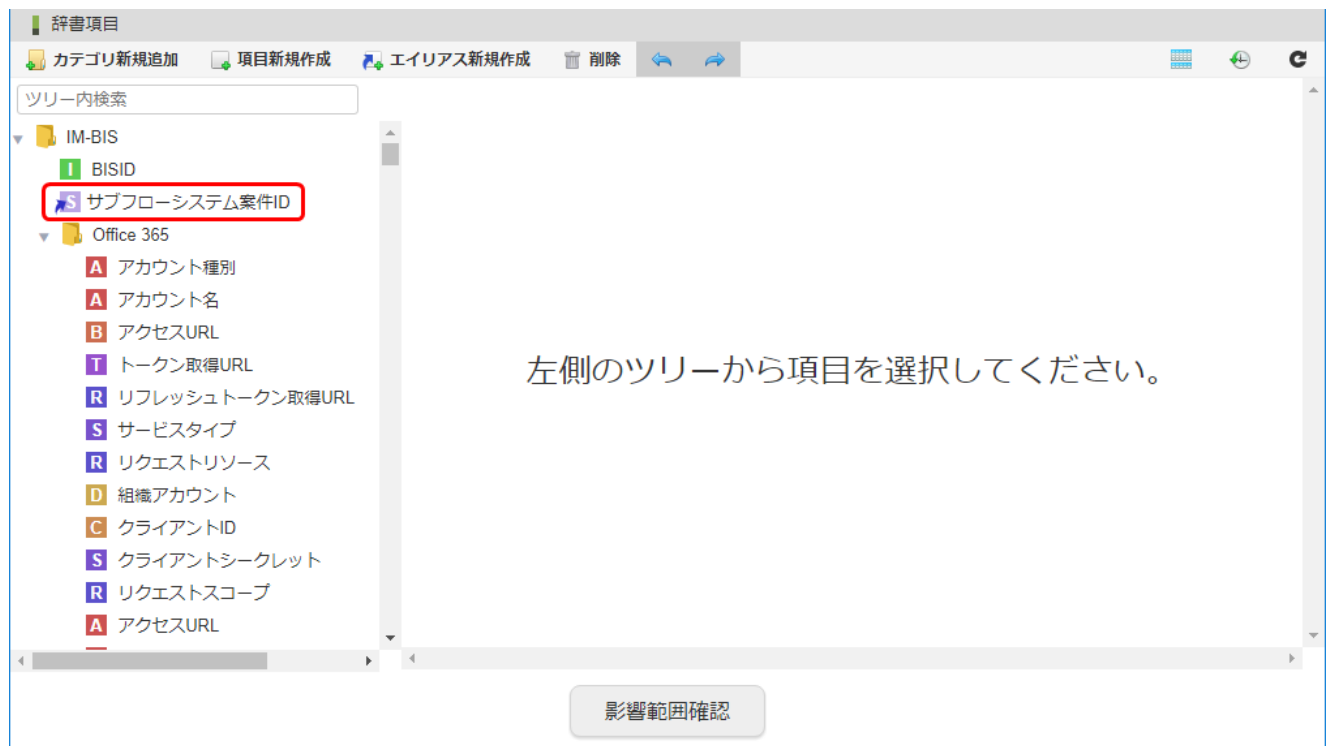
編集した内容は [影響範囲一覧の確認](#) 後に、[影響範囲の適用](#) を行うことにより保存されます。

エイリアスを確認する

1. 「サイトマップ」 - 「Repository」 - 「辞書項目一覧」をクリックし、「辞書項目一覧」画面を表示します。



2. 項目一覧ツリーから確認を行うエイリアスをクリックします。



3. エイリアス情報が表示されます。

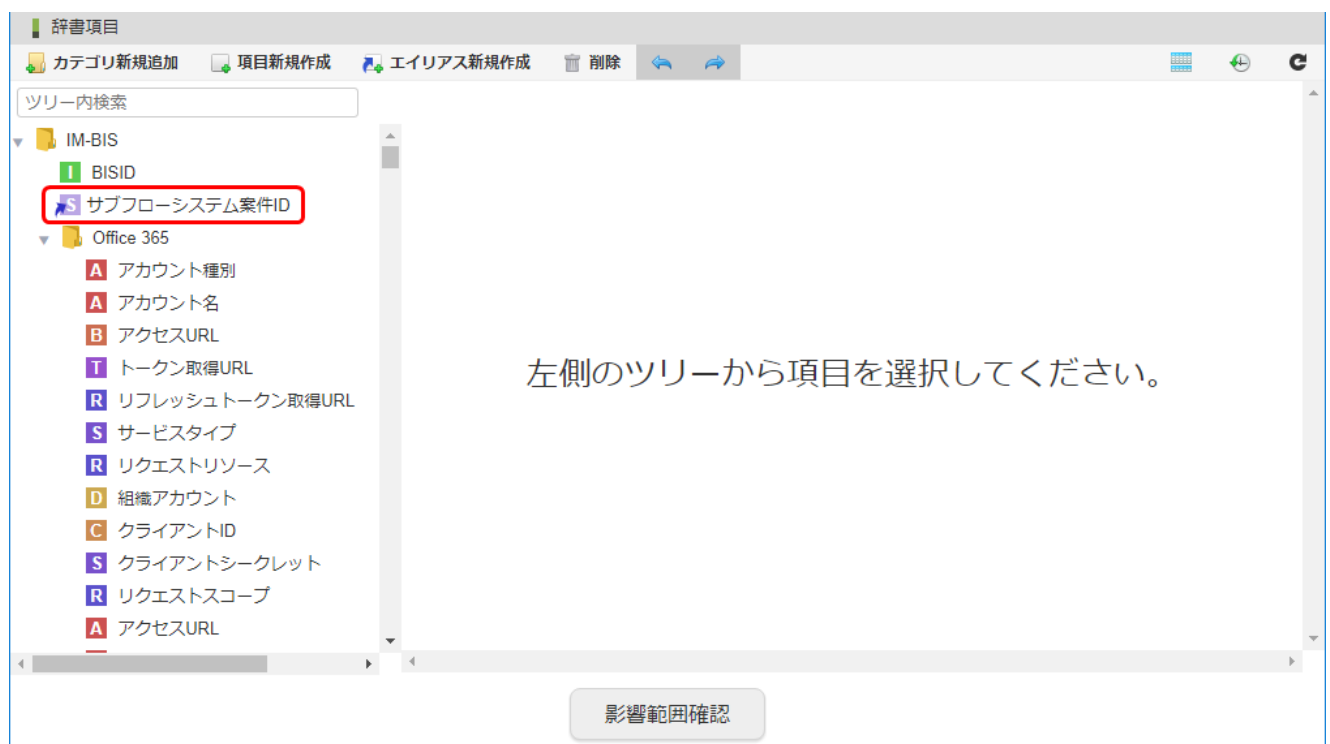


エイリアスを編集する

- [エイリアスを更新する](#)
- [エイリアスを削除する](#)

エイリアスを更新する

1. 「[エイリアスを確認する](#)」の手順をもとに、「辞書項目一覧」画面を表示します。
2. 項目一覧ツリーから更新を行うエイリアスをクリックします。



3. エイリアス情報が表示されます。

辞書項目

カテゴリ新規追加 項目新規作成 エイリアス新規作成 削除

ツリー内検索

IM-BIS

BISID

サブフローシステム案件ID

Office 365

アカウント種別

アカウント名

アクセスURL

トークン取得URL

リフレッシュトークン取得URL

サービスタイプ

リクエストリソース

組織アカウント

クライアントID

クライアントシークレット

リクエストスコープ

アクセスURL

Sub flow system job ID

エイリアスID im_bis.sub_flow_matter_id

エイリアス名 標準 * Sub flow system job ID

説明 標準

参照先辞書項目ID im_workflow.system_matter_id

用途

データ

制約

影響範囲確認

<画面項目（エイリアス）>

項目	説明
エイリアスID	エイリアスを一意に表す文字列を表示します。 更新時にはこの項目は編集不可です。
エイリアス名	エイリアスを表す名称を入力します。 名称には各言語で利用するものと、言語情報が指定されていない場合に標準で利用するものを指定します。 この項目は標準のみ必須項目です。
説明	エイリアスの説明を入力します。 説明には各言語で利用するものと、言語情報が指定されていない場合に標準で利用するものを指定します。
参照先辞書項目ID	エイリアスの元になった辞書項目IDを表示します。 辞書項目IDをクリックすると参照先の辞書項目の情報を表示します。



<画面項目（データ）>

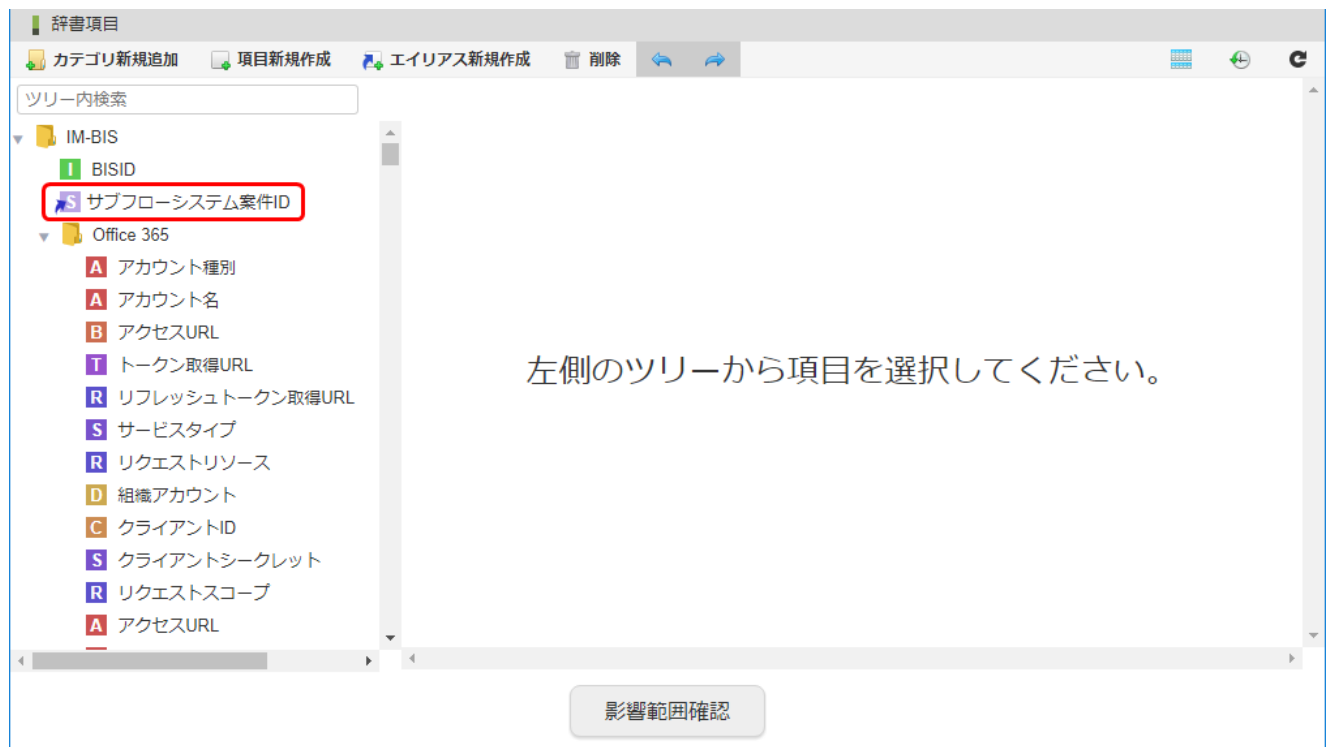
参照先の辞書項目と同じ設定が表示されます。

項目	説明
Database	- 論理名 データベースで使用された時の論理名を入力します。 論理名には各言語で利用するものと、言語情報が指定されていない場合に標準で利用するものを指定します。 - コメント データベースで使用された時のコメントを入力します。 コメントには各言語で利用するものと、言語情報が指定されていない場合に標準で利用するものを指定します。

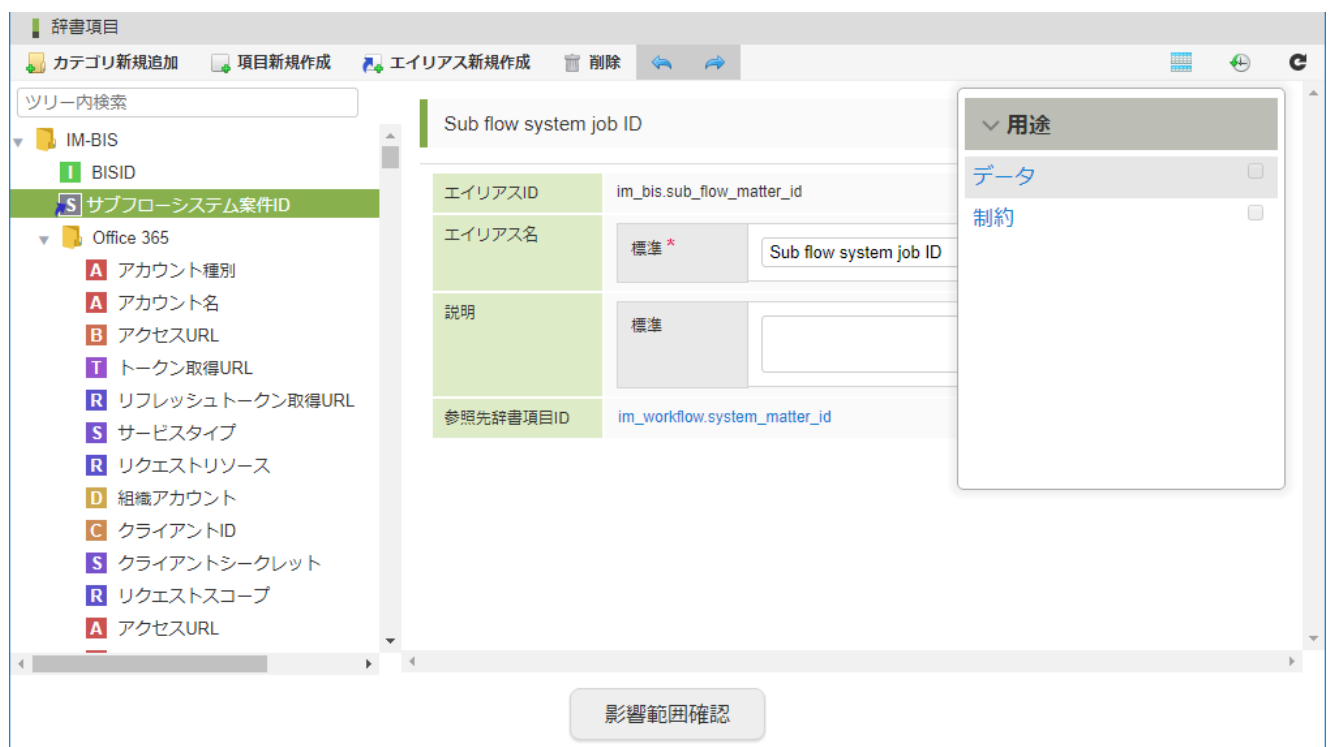
4. 更新内容を入力します。

エイリアスを削除する

- 「[エイリアスを確認する](#)」の手順をもとに、「辞書項目一覧」画面を表示します。
- 項目一覧ツリーから削除を行うエイリアスをクリックします。



3. エイリアス情報が表示されます。



4. ツールバーの「削除」をクリックします。

辞書項目

カテゴリ新規追加 項目新規作成 エイリアス新規作成 削除

ツリー内検索

IM-BIS

BISID

サブフローシステム案件ID

Office 365

アカウント種別

アカウント名

アクセスURL

トークン取得URL

リフレッシュトークン取得URL

サービスタイプ

リクエストリソース

組織アカウント

クライアントID

クライアントシークレット

リクエストスコープ

アクセスURL

Sub flow system job ID

エイリアスID im_bis.sub_flow_matter_id

エイリアス名 標準 Sub flow system job ID

説明 標準

参照先辞書項目ID im_workflow.system_matter_id

用途

データ

制約

影響範囲確認



コラム

編集した内容は [影響範囲一覧の確認](#) 後に、[影響範囲の適用](#) を行うことにより保存されます。

辞書項目の制約

辞書項目に対する制約を設定します。

設定内容の詳細は以下の通りです。

辞書項目

カテゴリ新規追加 項目新規作成 エイリアス新規作成 削除

ツリー内検索

クライアントID

クライアントシークレット

リクエストスコープ

アクセスURL

アクセストークン

リフレッシュトークン

期限

メールアドレス

新しい辞書項目 +

BIS名

メインフローシステム案件ID

Forma Connect

ターゲットID

カテゴリ種別

ソート番号

追加1

追加2

説明

標準

初期値

初期値

辞書項目の有効化

有効

制約

種類 桁数 削除

オプション 最小桁数:

種類 バイト数 削除

オプション 最小バイト数: 最大バイト数:

数字 制約を追加

影響範囲確認

<画面項目>

項目	説明
制約の種類	辞書項目に追加する制約を選択します。
「制約を追加」ボタン	選択した制約を追加します。
「削除」ボタン	制約を削除します。

制約

> 用途

種類	桁数	削除
オプション	最小桁数:	最大桁数:

種類	バイト数	削除
オプション	最小バイト数:	最大バイト数:

種類	数値	削除
オプション	最小値:	最大値:
	☐ 整数値	最大整数桁:
	☐ 小数値	最大小数桁:

種類	アルファベット	削除
オプション	☐ 小文字アルファベット	☐ 大文字アルファベット
	入力可能な記号:	

種類	数字	削除
オプション	入力可能な記号:	

種類	アルファベットと数字	削除
オプション	☐ 小文字のみ ☐ 大文字のみ ☒ どちらも	
	入力可能な記号:	

種類	メールアドレス	削除
----	---------	----

種類	URL	削除
----	-----	----

種類	正規表現	削除
正規表現		

種類	日付時刻	削除
オプション	☒ アカウントコンテキストの「日付（入力）」と同じフォーマットである ☐ アカウントコンテキストの「時刻（入力）」と同じフォーマットである ☐ アカウントコンテキストの「日付（入力）」 + 「時刻（入力）」と同じフォーマットである	

種類	ID	削除
----	----	----

種類	UserCd	削除
----	--------	----

<制約の種類>

種類	説明
----	----

種類	説明
桁数	辞書項目の最小桁数、および、最大桁数を設定します。 ■ 最小桁数 最小桁数を入力します。 ■ 最大桁数 最大桁数を入力します。
バイト数	辞書項目の最小バイト数、および、最大バイト数を設定します。 ■ 最小バイト数 最小バイト数を入力します。 ■ 最大バイト数 最大バイト数を入力します。
数値	■ 最小値 辞書項目の最小値を設定します。 ■ 最大値 辞書項目の最大値を設定します。 ■ 整数値 辞書項目が整数値の場合に設定します。 ■ 最大整数桁 辞書項目の最大整数桁を設定します。 ■ 小数値 辞書項目が小数を含む場合に設定します。 ■ 最大小数桁 辞書項目の小数桁数を設定します。
アルファベット	■ 小文字アルファベット a-zまでの小文字アルファベットのみで構成される場合に設定します。 ■ 大文字アルファベット A-Zまでの大文字アルファベットのみで構成される場合に設定します。 ■ 入力可能な記号 アルファベット以外に許容する記号がある場合に設定します。
数字	■ 入力可能な記号 0-9までの数字のみで構成される場合に設定します。 ■ 入力可能な記号 数字以外に許容する記号がある場合に設定します。
アルファベットと数字	■ 小文字のみ a-zおよび0-9までの英数字のみで構成される場合に設定します。 ■ 大文字のみ A-Zおよび0-9までの英数字のみで構成される場合に設定します。 ■ どちらでも 大文字、小文字を含んだ英数字で構成される場合に設定します。 ■ 入力可能な記号 英数字以外に許容する記号がある場合に設定します。
メールアドレス	辞書項目がメールアドレス形式の場合に設定します。
URL	辞書項目がURL形式の場合に設定します。

種類	説明
正規表現	■ 正規表現 この制約は正規表現による設定が可能です。 辞書項目を表現する正規表現を設定してください。
日付時刻	■ アカウントコンテキストの「日付（入力）」と同じフォーマットである場合に設定します。 ■ アカウントコンテキストの「時刻（入力）」と同じフォーマットである場合に設定します。 ■ アカウントコンテキストの「日付（入力）」＋「時刻（入力）」と同じフォーマットである場合に設定します。
ID	Identifier APIにより発行されたID形式である場合に設定します。
UserCd	辞書項目がユーザコードを表す項目である場合に設定します。

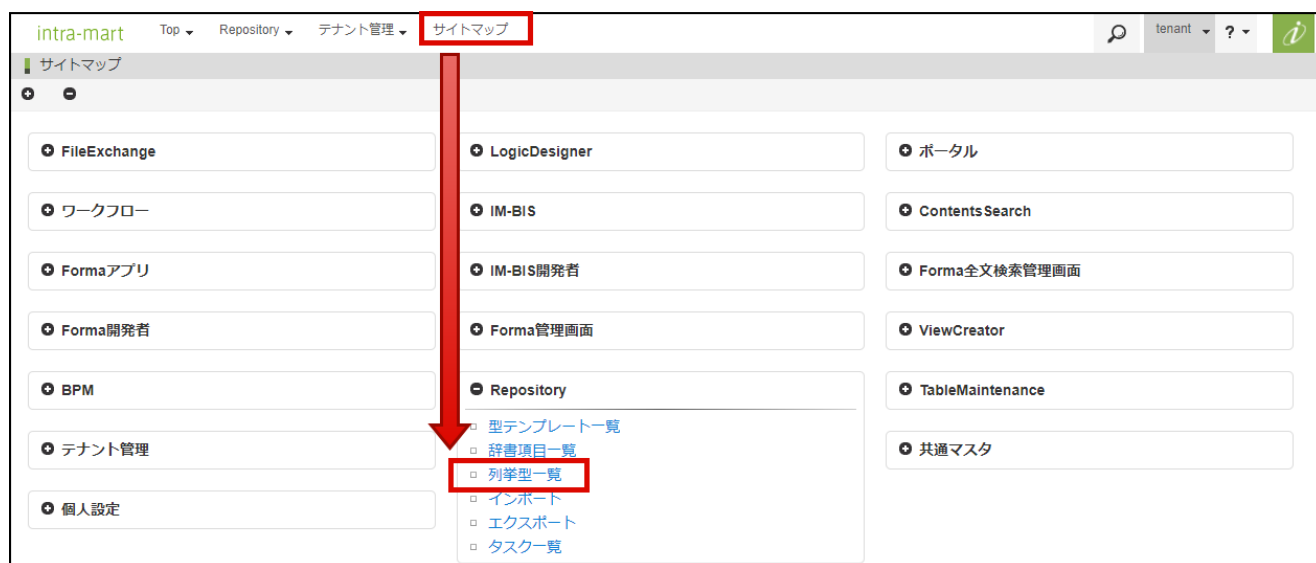
ここではIM-Repositoryで列挙を扱う画面の機能について説明します。

列挙型一覧画面

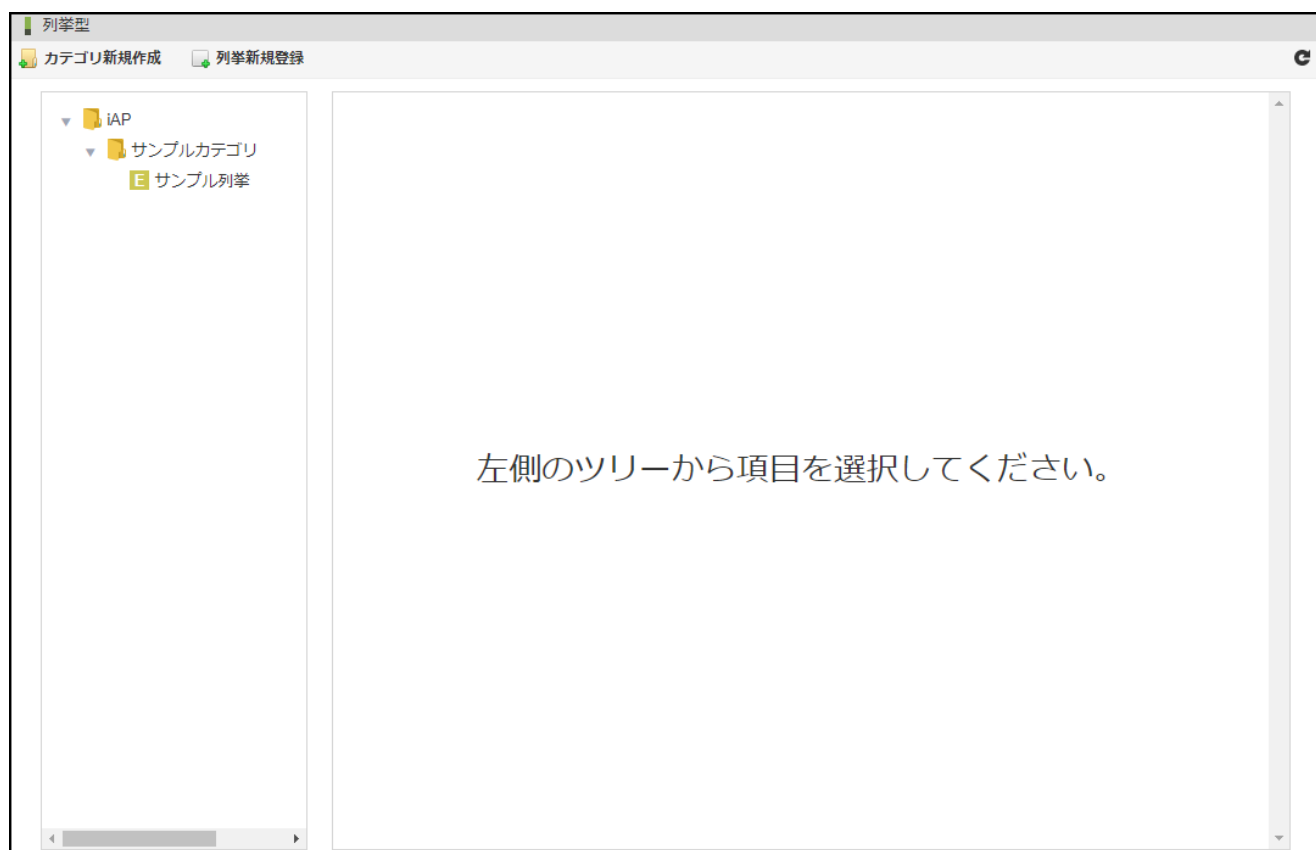
- 「列挙型一覧」画面を表示する
- 列挙型一覧の詳細

「列挙型一覧」画面を表示する

1. 「サイトマップ」 - 「Repository」 - 「列挙型一覧」をクリックします。



2. 「列挙型一覧」画面が表示されます。



「列举型一覧」画面は、用途に応じて複数のペイン（区画）に分かれています。
 各ペインの詳細は以下の通りです。

<画面項目>

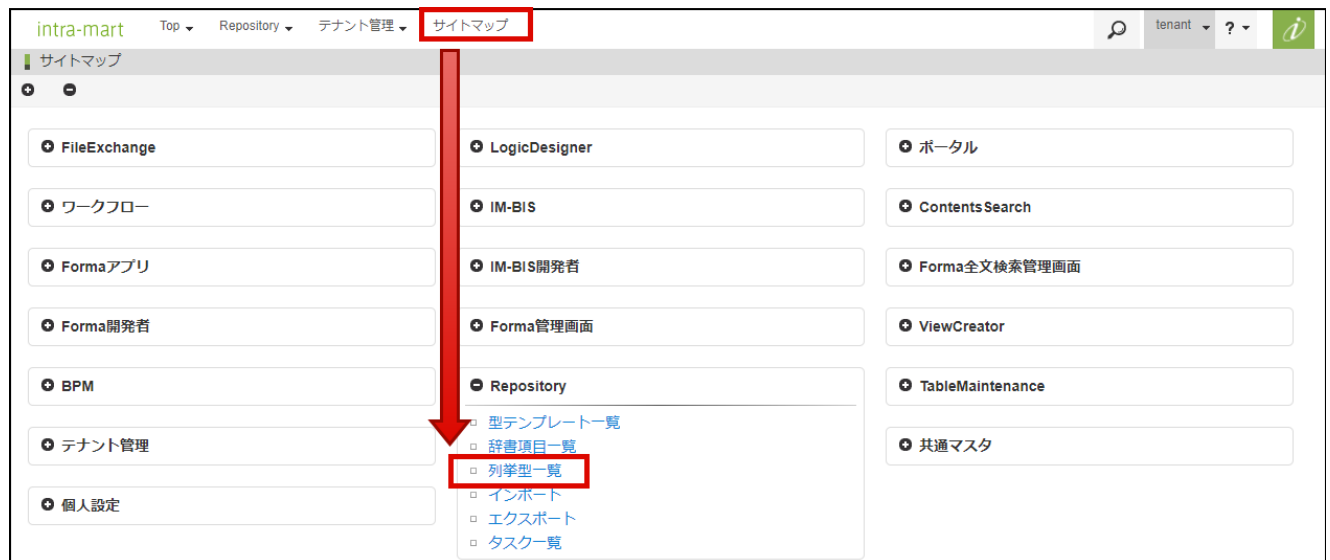
項目	説明
ツールバー	列举一覧ツリーの操作を提供するツールバーです。 - カテゴリ新規作成 列举一覧ツリーにカテゴリを追加します。 - 列举新規登録 列举一覧ツリーに列举を追加します。 「更新」アイコン このページを再読み込みします。
列举一覧ツリー	登録されている列举一覧をツリー形式で表示します。 列举一覧のカテゴリ、または、列举をクリックすると選択した項目の詳細情報を表示します。 カテゴリ、または、列举の移動が行えます。
列举情報	選択されたカテゴリ、または、列举の情報を表示します。

カテゴリ

列举のカテゴリを扱う画面の機能について説明します。

カテゴリを新規登録する

1. 「サイトマップ」 - 「Repository」 - 「列举型一覧」をクリックし、「列举型一覧」画面を表示します。



2. 列举一覧ツリーのカテゴリを追加したい1つ上の項目をクリックします。



3. ツールバーの「カテゴリ新規作成」をクリックします。

列挙型

カテゴリ新規作成 列挙新規登録

iAP

サンプルカテゴリ

サンプル列挙

カテゴリID *

iAP

カテゴリ名

標準 *

iAP

説明

標準

更新 削除

4. カテゴリの基本情報が表示されます。

列挙型

カテゴリ新規作成 列挙新規登録

iAP

サンプルカテゴリ

サンプル列挙

新しいカテゴリ

カテゴリID *

カテゴリ名

標準 *

日本語

英語

中国語 (中華人民共和国)

説明

標準

日本語

英語

中国語 (中華人民共和国)

登録

<画面項目>

項目	説明
カテゴリID	カテゴリを一意に表す文字列を入力します。 この項目は必須項目です。

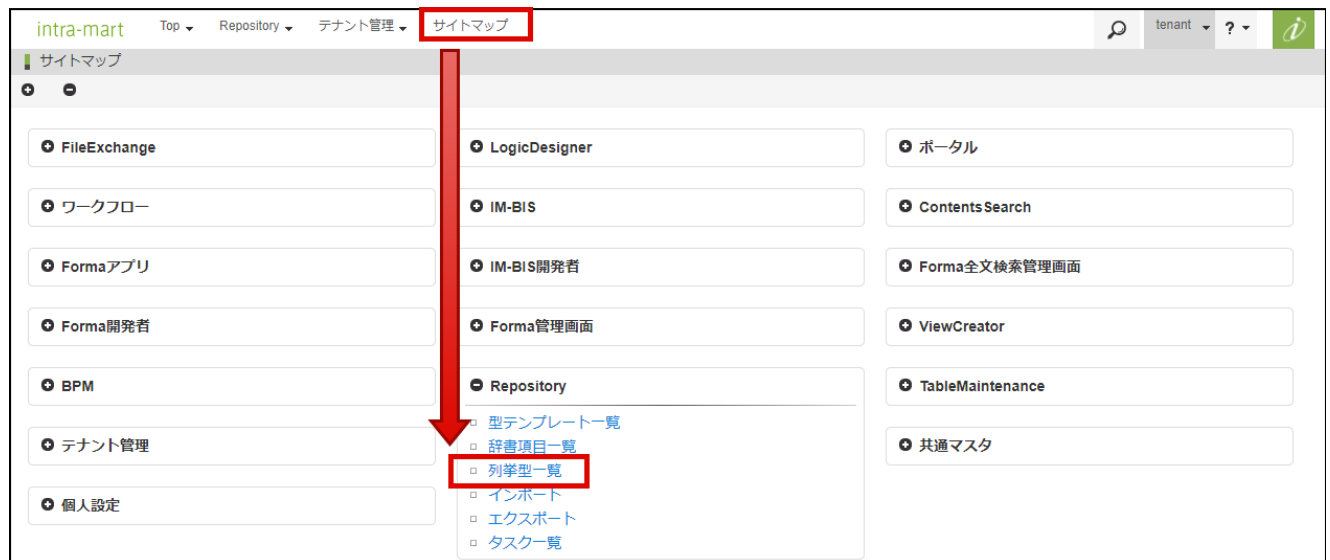
項目	説明
カテゴリ名	カテゴリを表す名称を入力します。 名称には各言語で利用するものと、言語情報が指定されていない場合に標準で利用するものを指定します。 この項目は標準のみ必須項目です。
説明	カテゴリの説明を入力します。 説明には各言語で利用するものと、言語情報が指定されていない場合に標準で利用するものを指定します。
「登録」ボタン	カテゴリを登録します。

5. 必要項目を入力し、「登録」ボタンをクリックします。

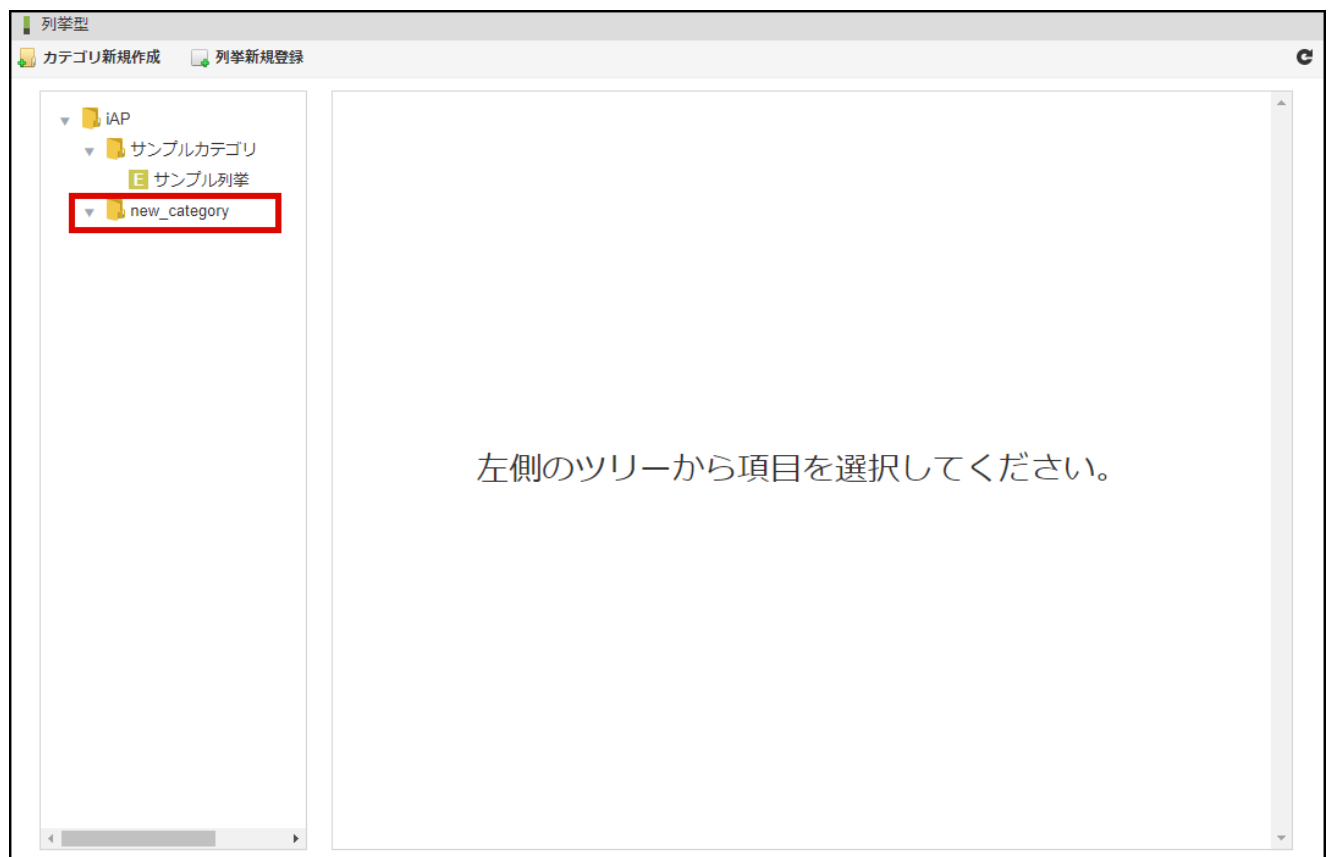
6. 確認ダイアログの「決定」をクリックします。

カテゴリを確認する

1. 「サイトマップ」 - 「Repository」 - 「列举型一覧」をクリックし、「列举型一覧」画面を表示します。



2. 列举一覧ツリーから確認を行うカテゴリをクリックします。



3. カテゴリの基本情報が表示されます。

new_category

カテゴリID *	標準 *	日本語	英語	中国語 (中華人民共和国)
new_category				

カテゴリ名	標準	日本語	英語	中国語 (中華人民共和国)

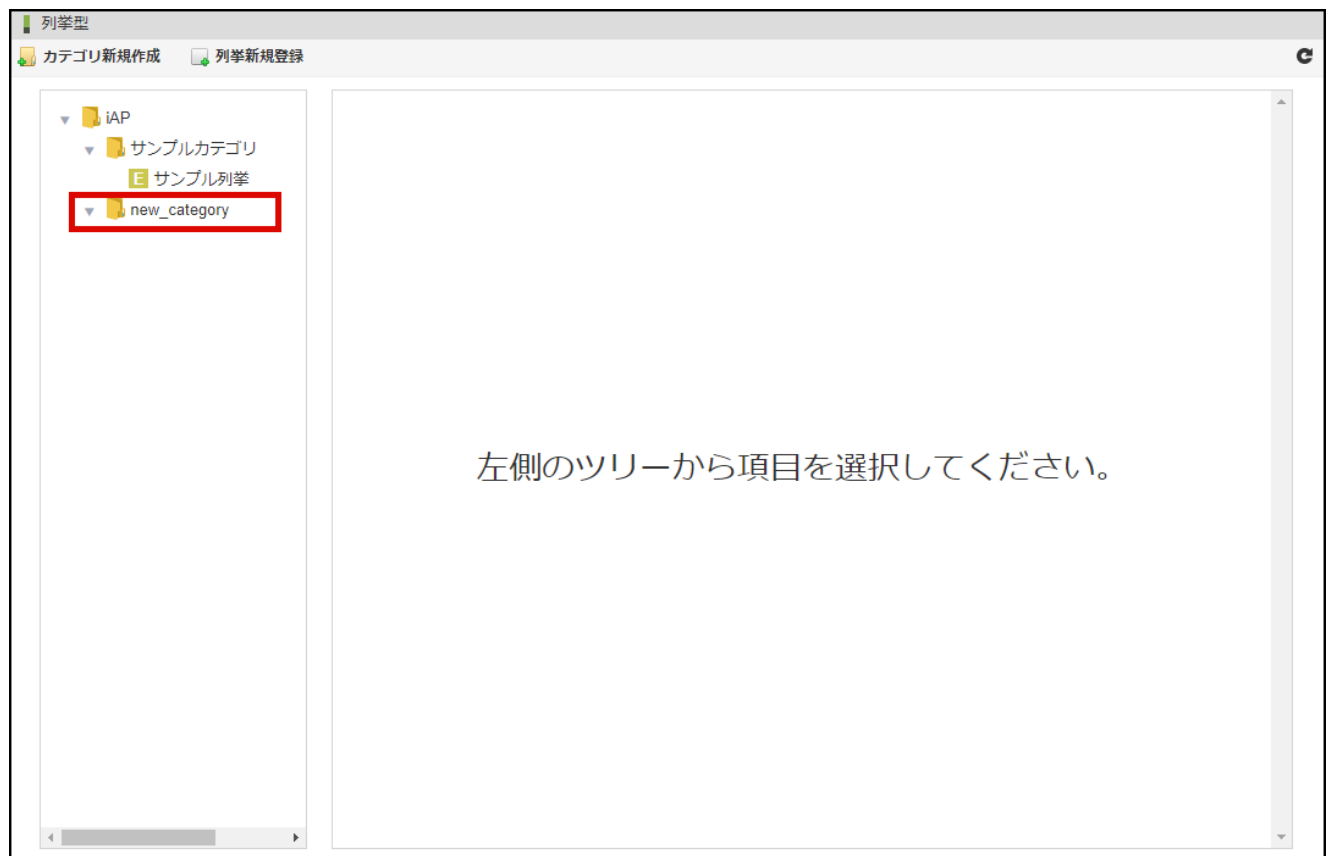
更新 削除

カテゴリを編集する

- [カテゴリを更新する](#)
- [カテゴリを削除する](#)

カテゴリを更新する

1. 「[カテゴリを確認する](#)」の手順をもとに、「列挙型一覧」画面を表示します。
2. 列挙一覧ツリーから更新を行うカテゴリをクリックします。



3. カテゴリの基本情報が表示されます。

カテゴリID *		new_category	
カテゴリ名	標準 *	new_category	-
	日本語		
	英語		
	中国語 (中華人民共和國)		
説明	標準		-
	日本語		
	英語		
	中国語 (中華人民共和國)		

更新 削除

<画面項目>

項目	説明
カテゴリID	カテゴリを一意に表す文字列を入力します。 更新時はこの項目は編集不可です。

項目	説明
カテゴリ名	カテゴリを表す名称を入力します。 名称には各言語で利用するものと、言語情報が指定されていない場合に標準で利用するものを指定します。 この項目は標準のみ必須項目です。
説明	カテゴリの説明を入力します。 説明には各言語で利用するものと、言語情報が指定されていない場合に標準で利用するものを指定します。

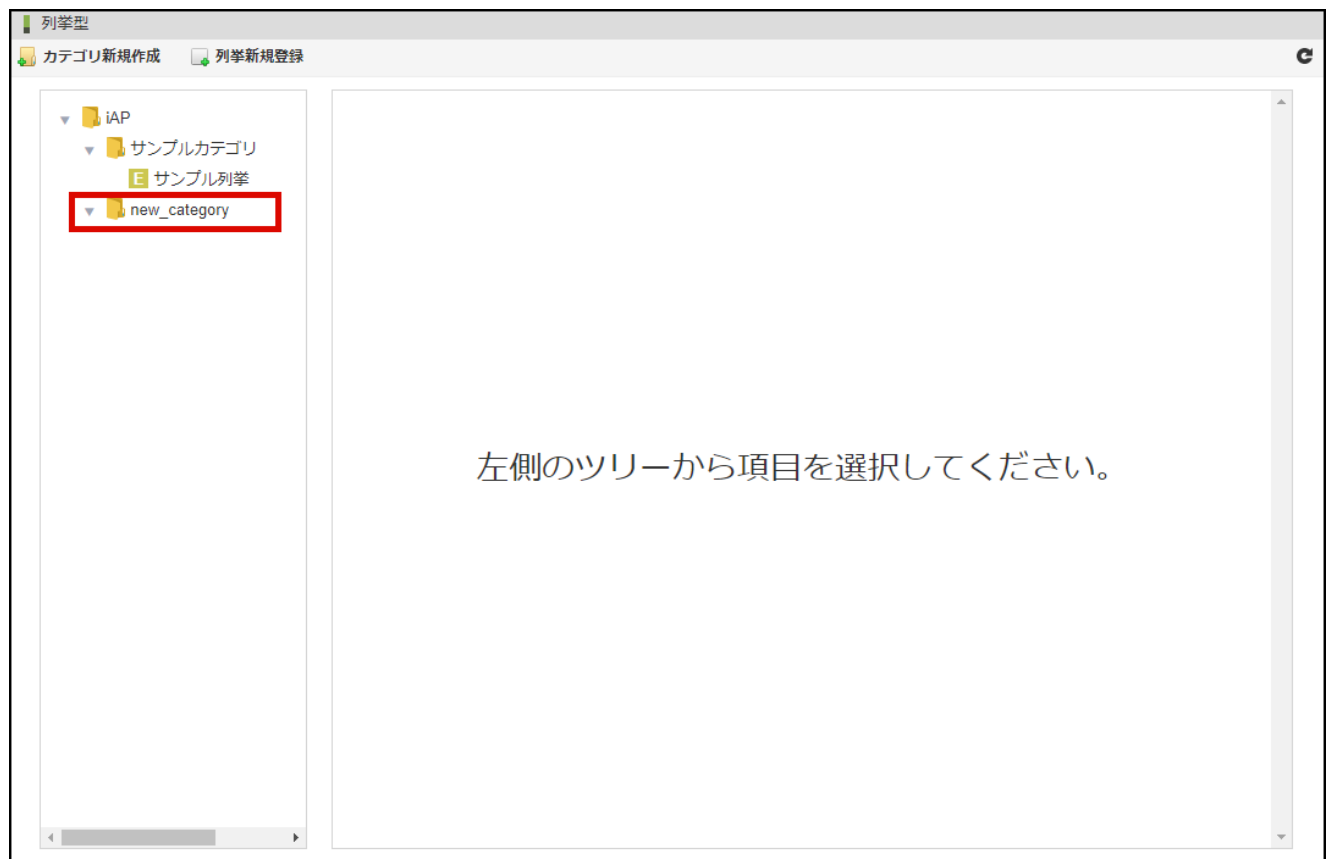
4. 更新内容を入力し、「更新」ボタンをクリックします。

The screenshot shows a web interface for creating or updating a category. On the left is a tree view with 'new_category' selected. The main area is titled 'new_category' and contains two sections: 'カテゴリ名' (Category Name) and '説明' (Description). Each section has a '標準' (Standard) field and four language-specific fields: '日本語' (Japanese), '英語' (English), and '中国語 (中華人民共和国)' (Chinese (People's Republic of China)). The '更新' (Update) button is highlighted with a red rectangle.

5. 確認ダイアログの「決定」をクリックします。

カテゴリを削除する

- 「[カテゴリを確認する](#)」の手順をもとに、「列举型一覧」画面を表示します。
- 列举一覧ツリーから削除を行うカテゴリをクリックします。



3. カテゴリの基本情報が表示されます。

列挙型

カテゴリ新規作成 列挙新規登録

iAP

サンプルカテゴリ

サンプル列挙

new_category

カテゴリID * new_category

カテゴリ名

標準 *	new_category
日本語	新しいカテゴリ
英語	
中国語 (中華人民共和國)	

説明

標準	
日本語	
英語	
中国語 (中華人民共和國)	

更新 削除

4. 「削除」 ボタンをクリックします。

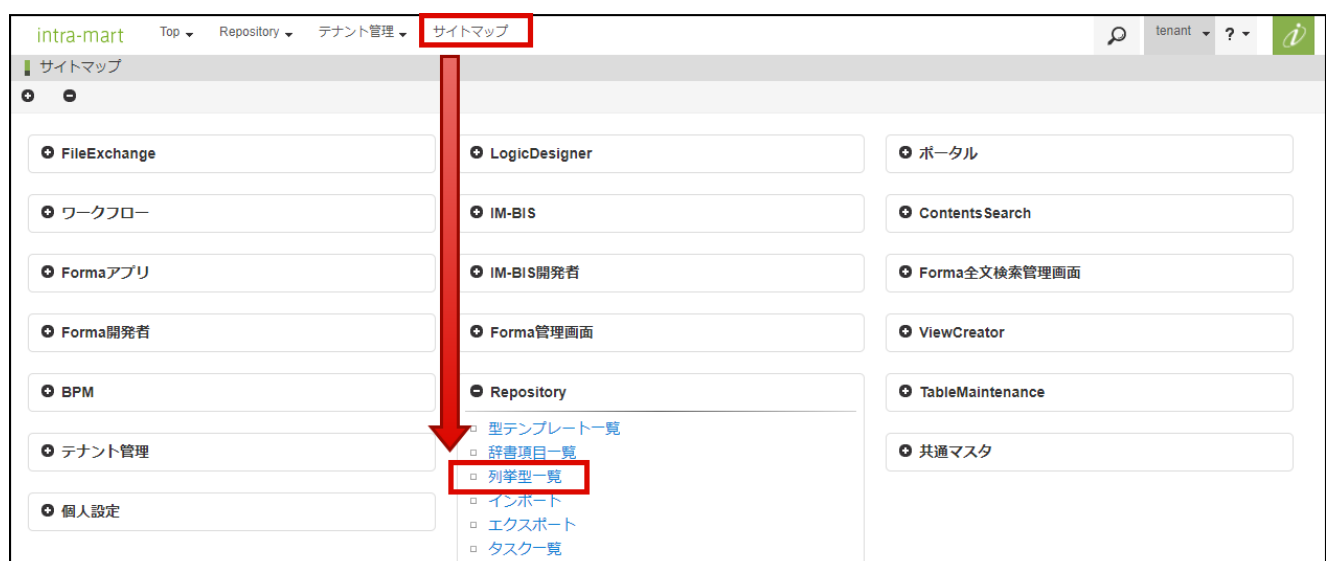
5. 確認ダイアログの「決定」をクリックします。

列挙

列挙の列挙を扱う画面の機能について説明します。

列挙を新規登録する

1. 「サイトマップ」 - 「Repository」 - 「列挙型一覧」をクリックし、「列挙型一覧」画面を表示します。



2. 列挙一覧ツリーのカテゴリを追加したい1つ上の項目をクリックします。

The screenshot shows the 'new_category' form in the 'new_category' category. The form has three main sections: 'カテゴリID *', 'カテゴリ名', and '説明'. The 'カテゴリID *' section contains a text input field with the value 'new_category'. The 'カテゴリ名' section contains a text input field with the value 'new_category' and a '+' button. The '説明' section contains a text input field and a '+' button. Below the form are two buttons: '更新' (Update) and '削除' (Delete).

3. ツールバーの「列挙新規登録」をクリックします。

The screenshot shows the 'new_category' form in the 'new_category' category. The '列挙新規登録' button in the toolbar is highlighted with a red box. The form has three main sections: 'カテゴリID *', 'カテゴリ名', and '説明'. The 'カテゴリID *' section contains a text input field with the value 'new_category'. The 'カテゴリ名' section contains a text input field with the value 'new_category' and a '+' button. The '説明' section contains a text input field and a '+' button. Below the form are two buttons: '更新' (Update) and '削除' (Delete).

4. 列挙情報が表示されます。

<画面項目>

項目	説明
列挙ID	列挙を一意に表す文字列を入力します。 この項目は必須項目です。
列挙名	列挙を表す名称を入力します。 名称には各言語で利用するものと、言語情報が指定されていない場合に標準で利用するものを指定します。 この項目は標準のみ必須項目です。
説明	列挙の説明を入力します。 説明には各言語で利用するものと、言語情報が指定されていない場合に標準で利用するものを指定します。
列挙項目	- 表示文字列 列挙項目を表す名称を入力します。 表示文字列には各言語で利用するものと、言語情報が指定されていない場合に標準で利用するものを指定します。 この項目は標準のみ必須項目です。 - 値 列挙項目の値を入力します。
列挙項目削除リンク	列挙項目を削除します。
追加リンク	列挙項目を追加します。
列挙の有効化	列挙の有効、無効を設定します。 無効と設定された辞書項目は外部のアプリケーションから利用できません。

項目	説明
「登録（影響範囲確認）」ボタン	影響範囲画面へ遷移します。

5. 必要項目を入力します。

i コラム

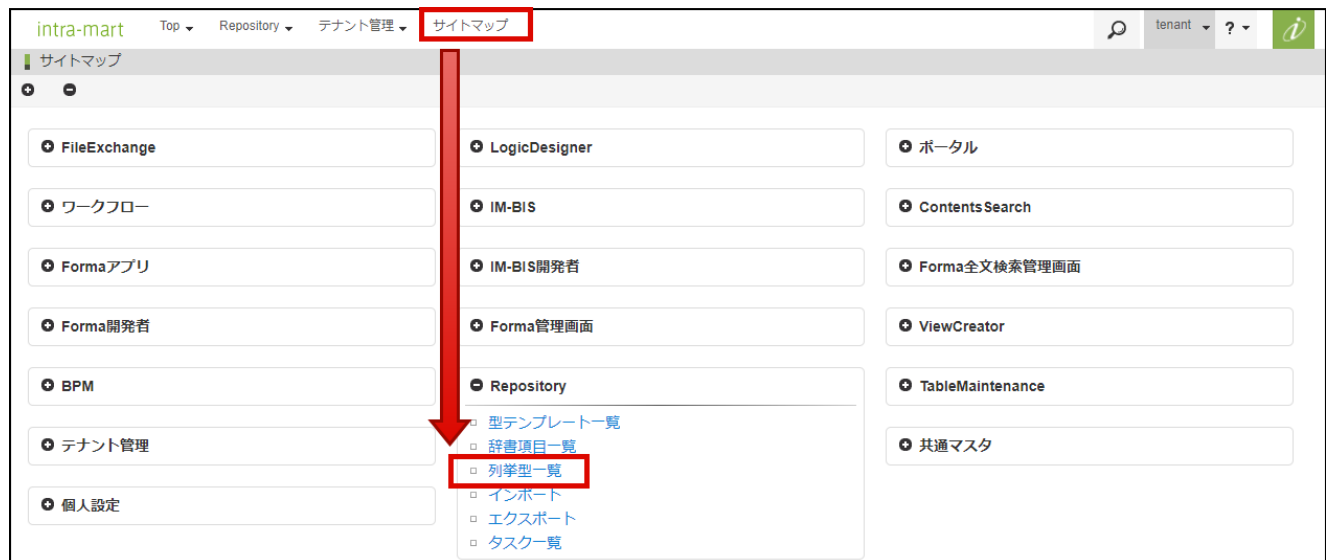
列挙項目が存在する場合は、表示文字列が必須項目です。
また、列挙項目が0個でも登録可能です。

i コラム

編集した内容は [影響範囲一覧の確認](#) 後に、[影響範囲の適用](#) を行うことにより保存されます。

列挙を確認する

1. 「サイトマップ」 - 「Repository」 - 「列挙型一覧」をクリックし、「列挙型一覧」画面を表示します。



2. 列举一覧ツリーから確認を行う列举をクリックします。



3. 列举の基本情報が表示されます。

列挙を編集する

- [列挙を更新する](#)
- [列挙を削除する](#)

列挙を更新する

1. 「[列挙を確認する](#)」の手順をもとに、「列挙一覧」画面を表示します。
2. 列挙一覧ツリーから更新を行う列挙をクリックします。



3. 列挙情報が表示されます。

列挙ID *	new_enumeration			
列挙名	標準 *	new_enumeration +		
説明	標準			
列挙項目	表示文字列 *	値 *		
	標準 *	列挙項目1 +	value1	✗
	標準 *	列挙項目2 +	value2	✗
+ 追加				
列挙の有効化	☒ 有効			

更新(影響範囲確認) 削除(影響範囲確認)

<画面項目>

項目	説明
列挙ID	列挙を一意に表す文字列を入力します。 更新時はこの項目は編集不可です。

項目	説明
列挙名	列挙を表す名称を入力します。 名称には各言語で利用するものと、言語情報が指定されていない場合に標準で利用するものを指定します。 この項目は標準のみ必須項目です。
説明	列挙の説明を入力します。 説明には各言語で利用するものと、言語情報が指定されていない場合に標準で利用するものを指定します。
列挙項目	■ 表示文字列 列挙項目を表す名称を入力します。 表示文字列には各言語で利用するものと、言語情報が指定されていない場合に標準で利用するものを指定します。 この項目は標準のみ必須項目です。 ■ 値 列挙項目の値を入力します。
列挙項目削除リンク	列挙項目を削除します。
追加リンク	列挙項目を追加します。
列挙の有効化	列挙の有効、無効を設定します。 無効と設定された辞書項目は外部のアプリケーションから利用できません。
「更新（影響範囲確認）」ボタン	影響範囲画面へ遷移します。
「削除（影響範囲確認）」ボタン	影響範囲画面へ遷移します。

4. 更新内容を入力します。



コラム

列挙項目が存在する場合は、表示文字列が必須項目です。
また、列挙項目が0個でも更新可能です。



コラム

編集した内容は [影響範囲一覧の確認](#) 後に、[影響範囲の適用](#) を行うことにより保存されます。

列挙を削除する

1. 「[列挙を確認する](#)」の手順をもとに、「列挙一覧」画面を表示します。
2. 列挙一覧ツリーから更新を行う列挙をクリックします。



3. 列挙情報が表示されます。

表示文字列 *	値 *
標準 * 列挙項目1 +	value1 ✖
標準 * 列挙項目2 +	value2 ✖

+ 追加

列挙の有効化 ☒ 有効

更新(影響範囲確認) 削除(影響範囲確認)

4. 削除（影響範囲確認）ボタンをクリックします。



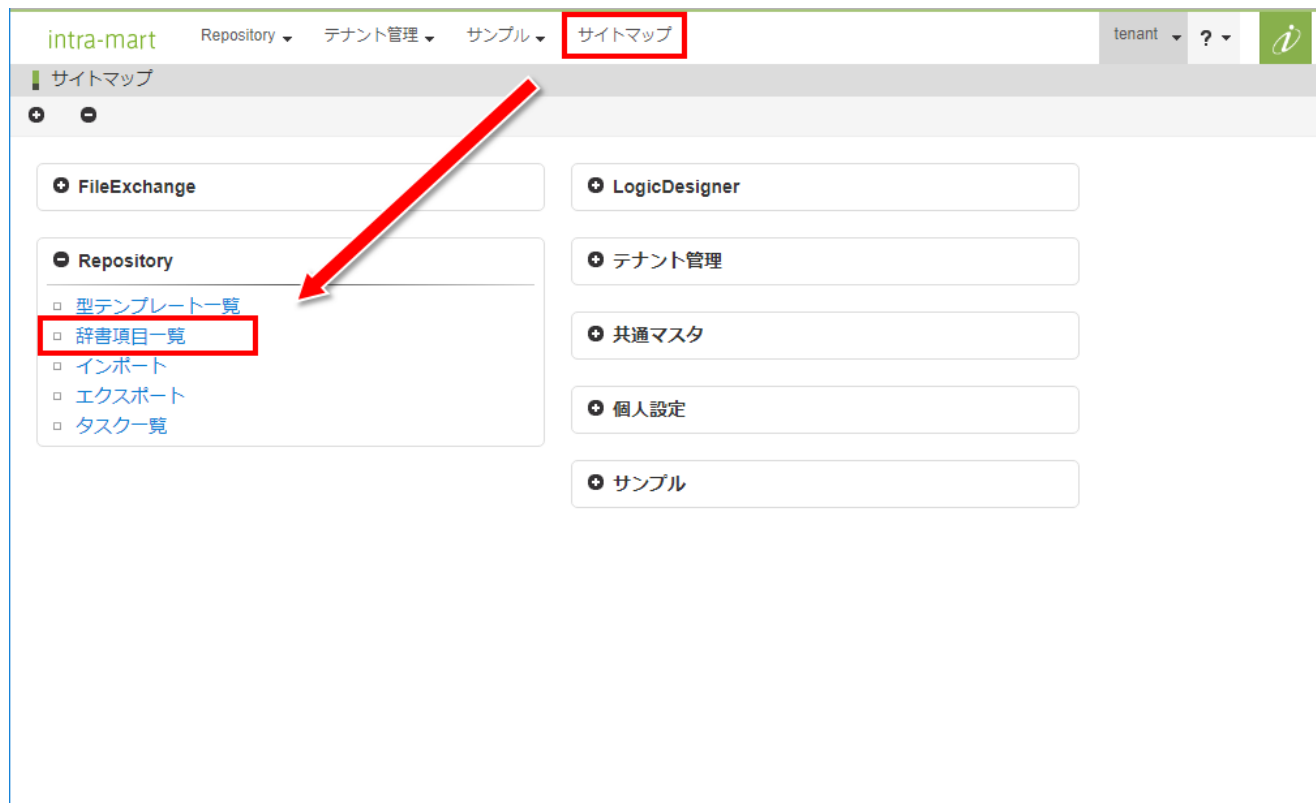
コラム

編集した内容は [影響範囲一覧の確認](#) 後に、[影響範囲の適用](#) を行うことにより保存されます。

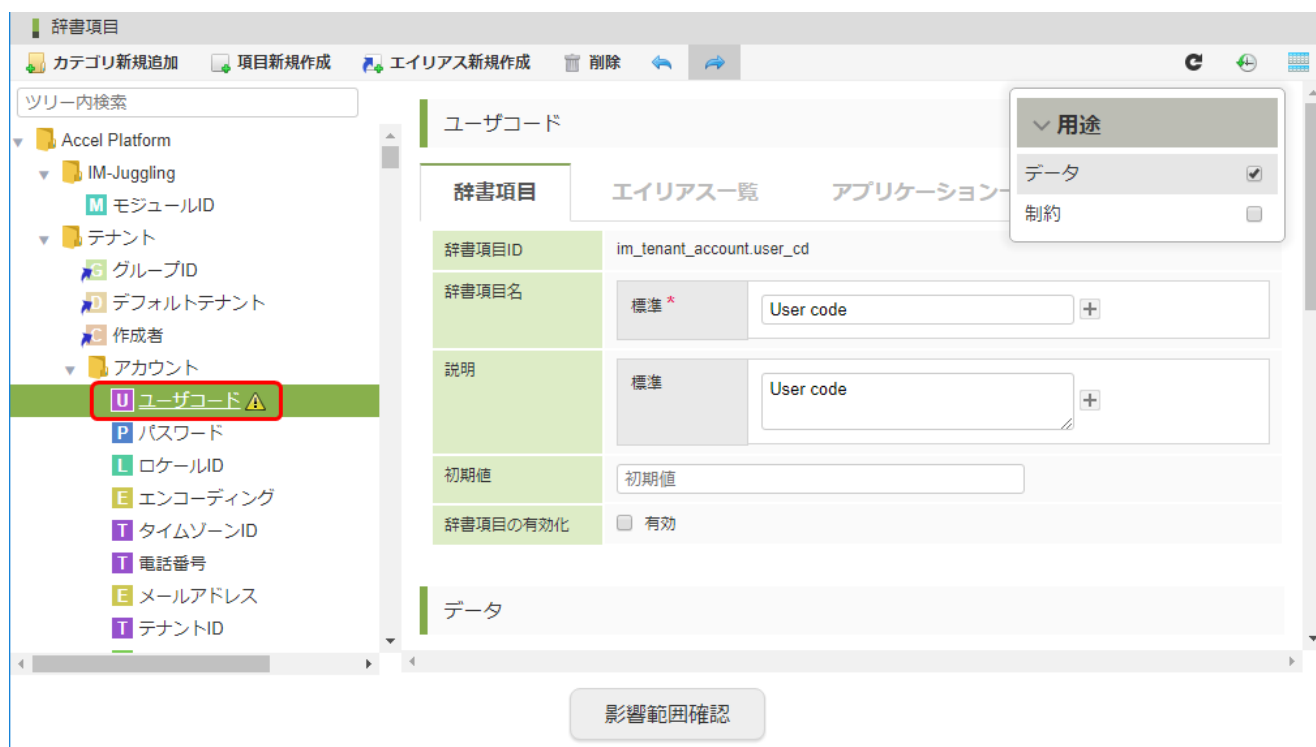
ここではIM-Repositoryで影響範囲を扱う画面の機能について説明します。

影響範囲一覧の確認

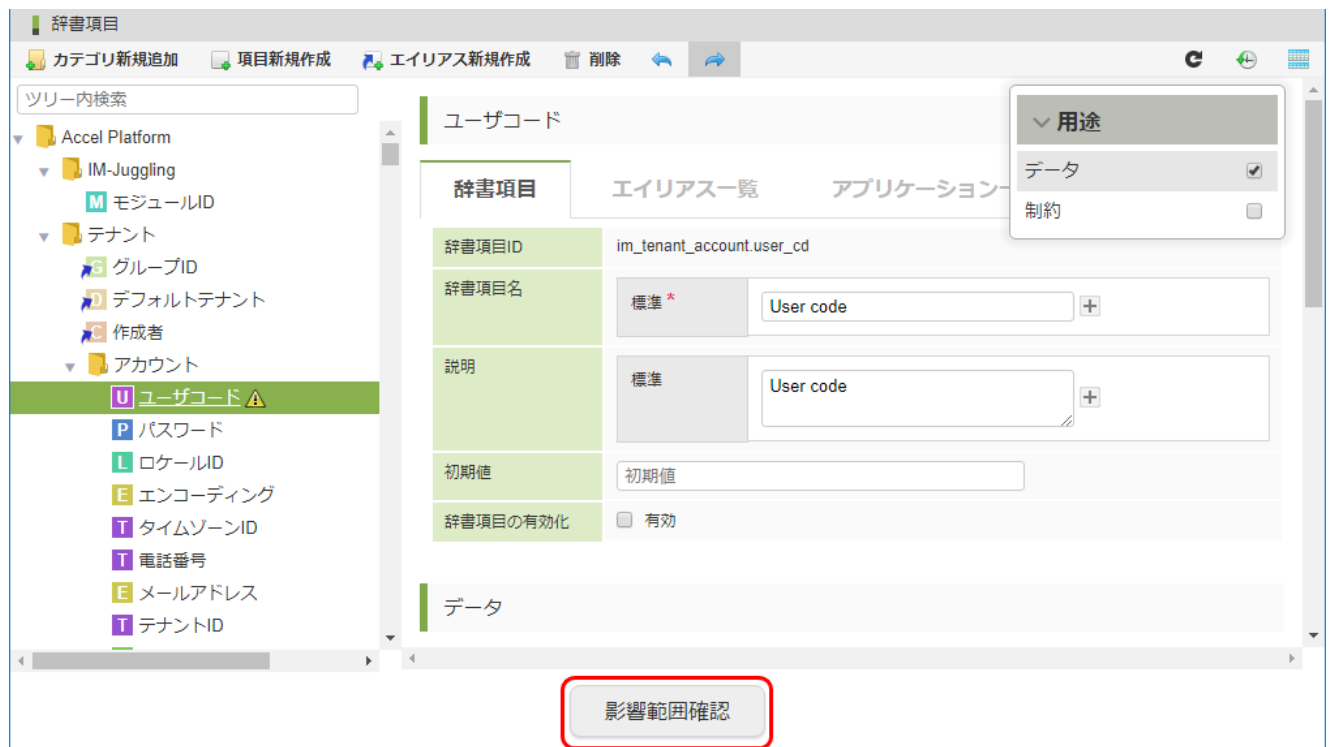
1. 「サイトマップ」 - 「Repository」 - 「辞書項目一覧」をクリックし、「辞書項目一覧」画面を表示します。



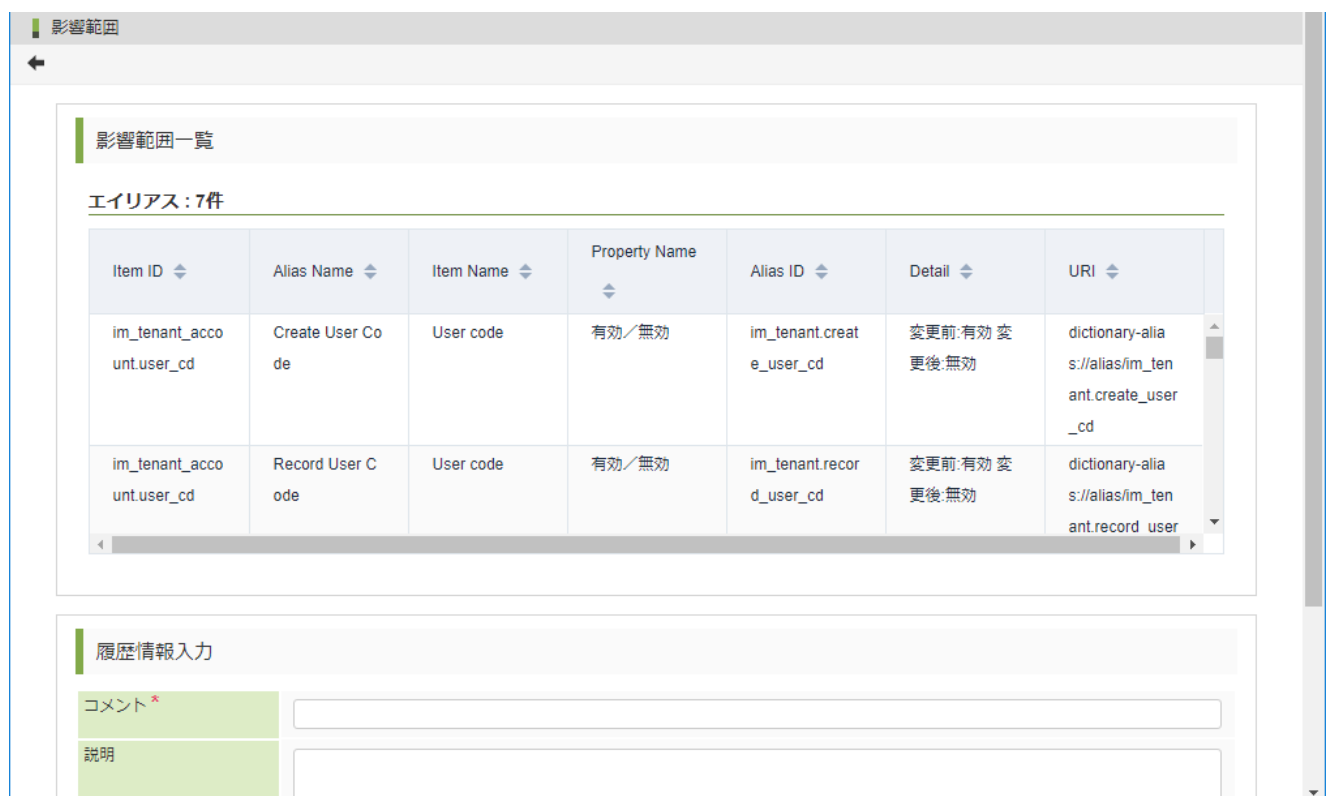
2. 項目一覧ツリーで新規作成、更新、または、削除を実行します。



3. 「影響範囲確認」ボタンをクリックします。



4. 「影響範囲一覧」画面が表示されます。



影響範囲の適用

1. 「[影響範囲一覧の確認](#)」の手順、または、辞書項目の各操作をもとに、「影響範囲一覧」画面を表示します。
2. 「影響範囲一覧」画面が表示されます。

影響範囲

←

影響範囲一覧

エイリアス: 7件

Item ID	Alias Name	Item Name	Property Name	Alias ID	Detail	URI
im_tenant_accoun t.user_cd	Create User Code	User code	有効/無効	im_tenant.creat e_user_cd	変更前:有効 変 更後:無効	dictionary-alias://alias/im_tenant.create_user_cd
im_tenant_accoun t.user_cd	Record User Code	User code	有効/無効	im_tenant.recor d_user_cd	変更前:有効 変 更後:無効	dictionary-alias://alias/im_tenant.record user

履歴情報入力

コメント*

説明

項目	説明
影響範囲一覧	辞書項目の変更による他の機能への影響を表示します。
コメント	辞書項目の変更に対するコメントを入力します。 この項目は必須項目です。
説明	辞書項目の変更に対する説明を入力します。
「適用」ボタン	影響範囲の適用を行う

3. 必要項目を入力し、「適用」ボタンをクリックします。

エイリアス: 7件

Item ID	Alias Name	Item Name	Property Name	Alias ID	Detail	URI
im_tenant_accoun t.user_cd	User code	User code	有効/無効	im_workflow.us er_code	変更前:有効 変 更後:無効	dictionary-alias://alias/im_workflow.user_code
im_tenant_accoun t.user_cd	Last Update User	User code	有効/無効	im_workflow.up date_user_code	変更前:有効 変 更後:無効	dictionary-alias://alias/im_workflow.update u

履歴情報入力

コメント*

説明

ユーザコードを変更

適用

4. 確認ダイアログの「決定」をクリックします。

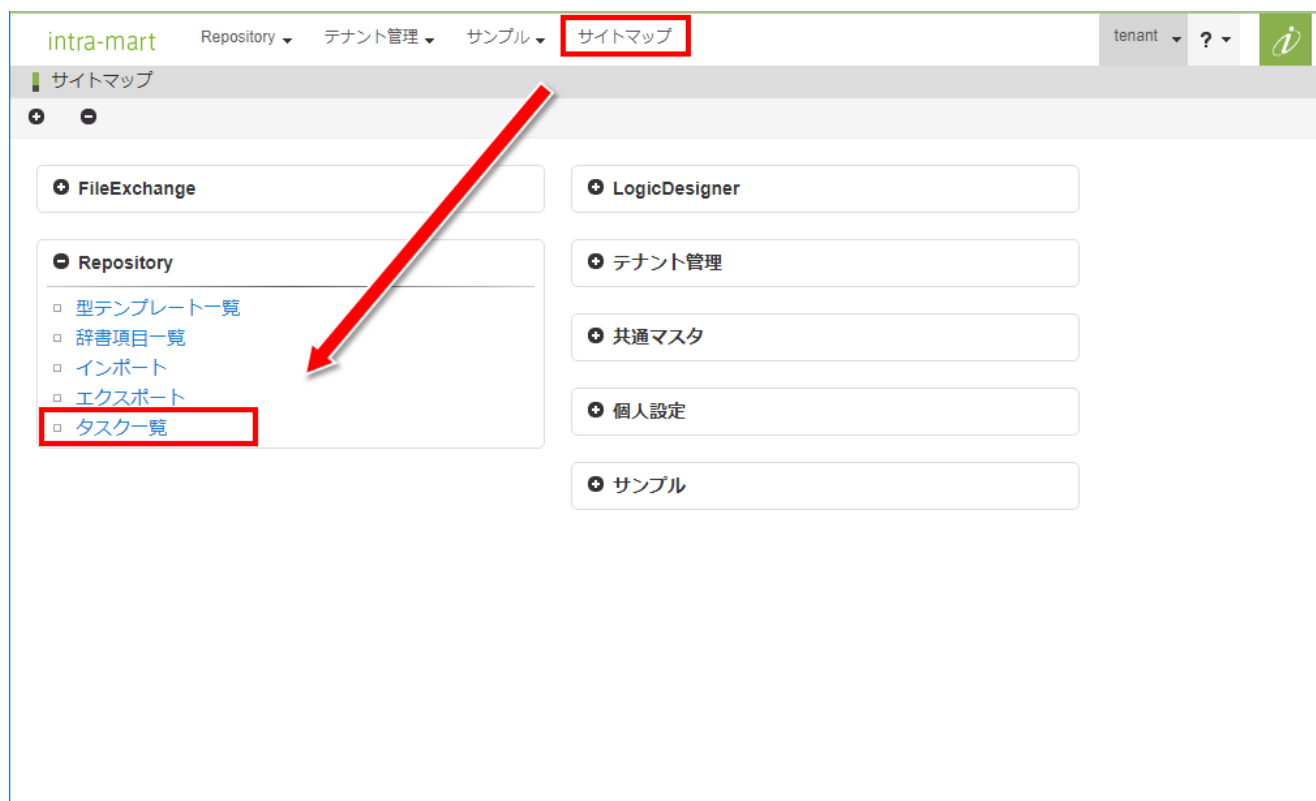
ここではIM-Repositoryでタスクを扱う画面の機能について説明します。

タスクを確認する

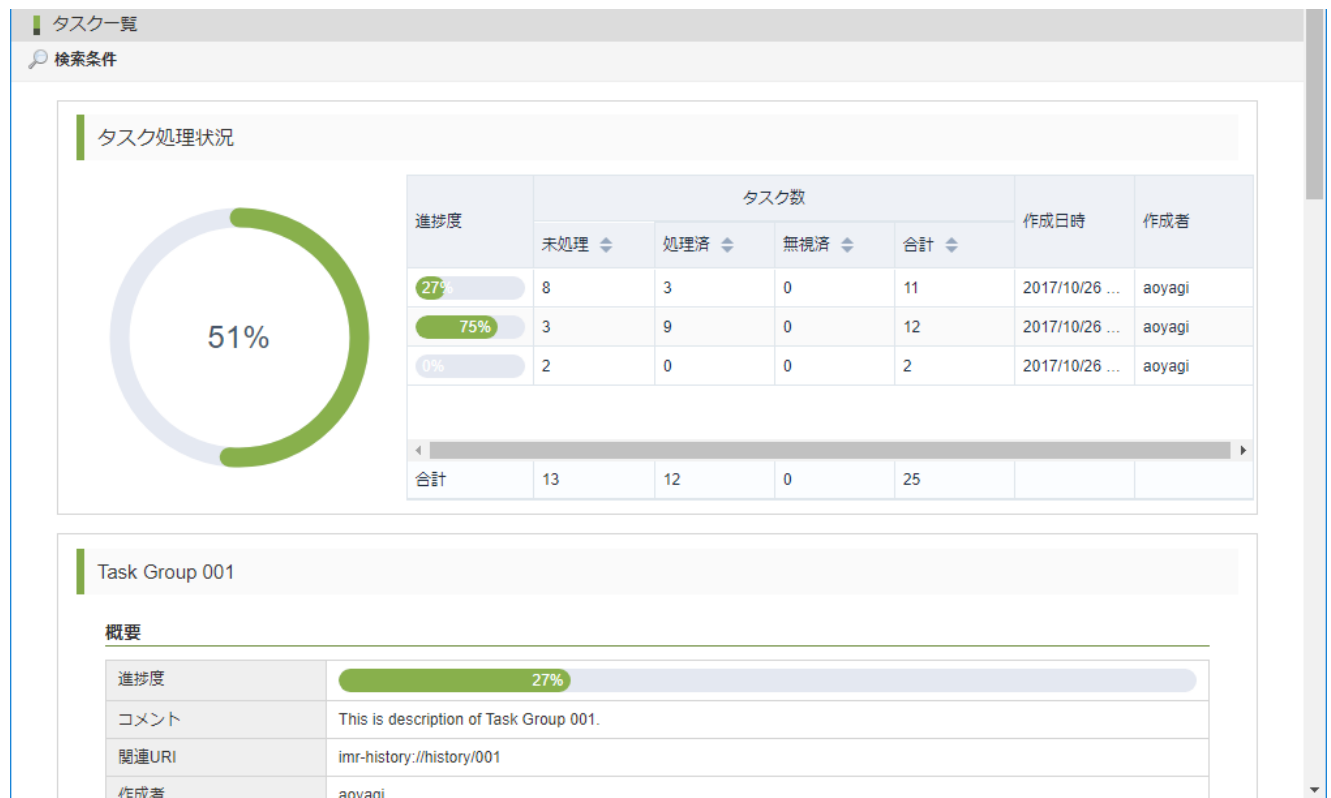
- タスク一覧を確認する
- タスクを検索する

タスク一覧を確認する

1. 「サイトマップ」 - 「Repository」 - 「タスク一覧」をクリックし、「タスク一覧」画面を表示します。



2. 登録されているタスクの一覧が確認できます。



コラム

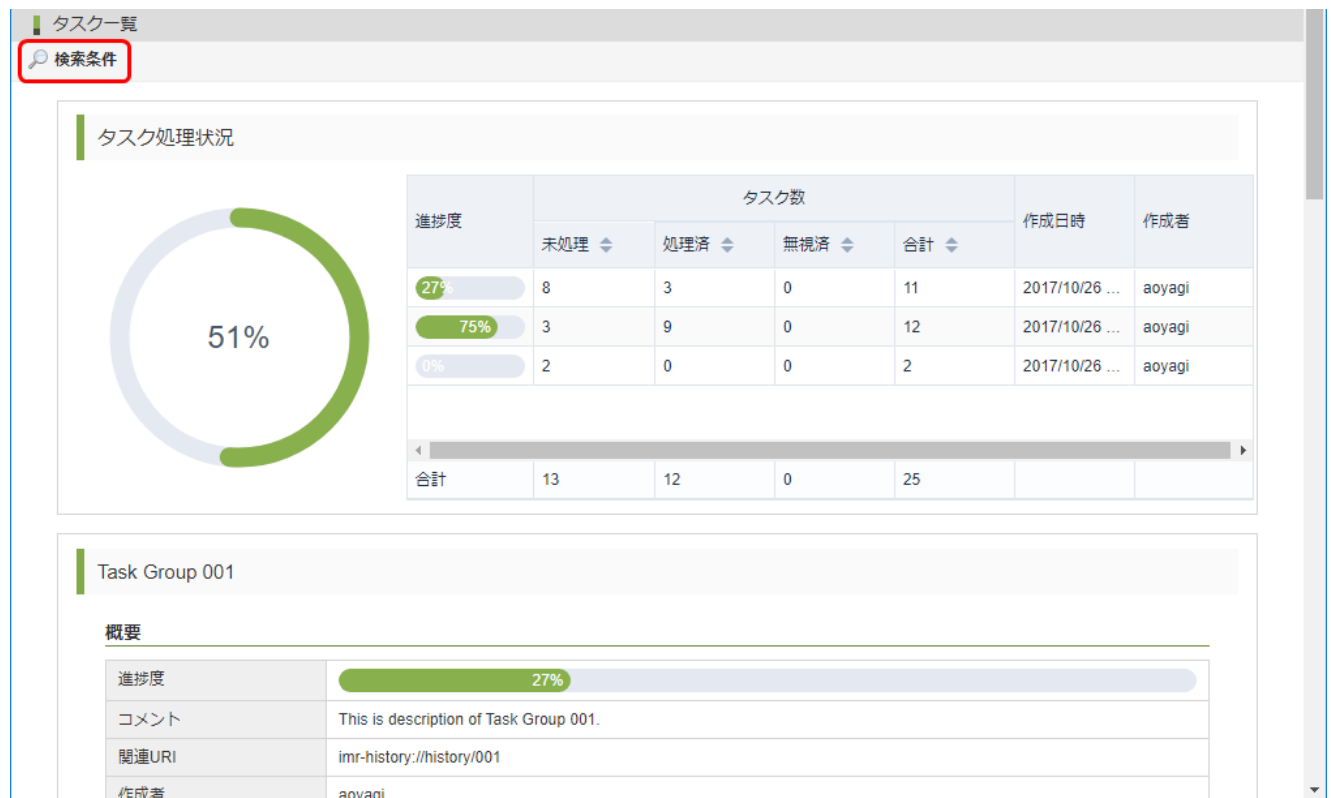
タスクの種類

タスクアプリケーション側が作成したサービスタスクとユーザが作成したユーザタスクがあります。

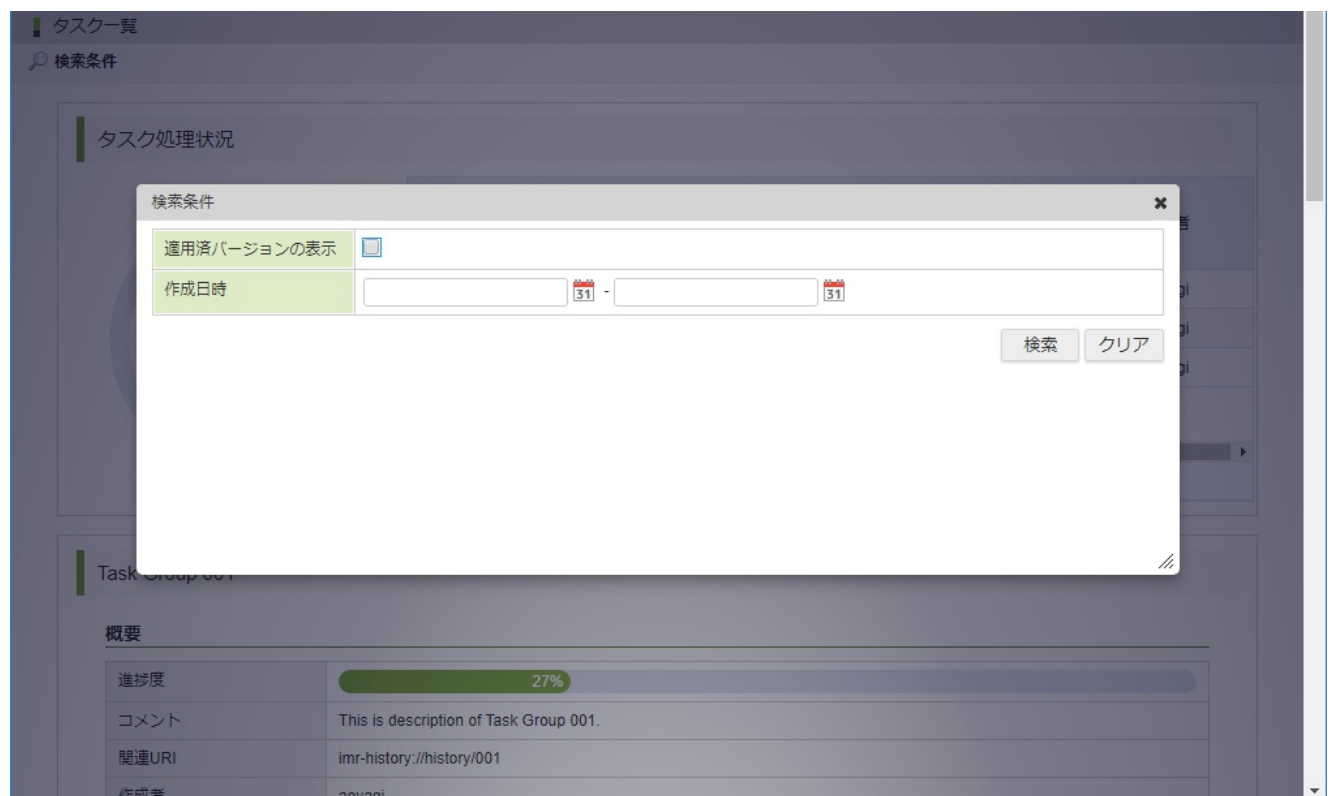
- サービスタスク
アプリケーション側で変更内容に対する設定変更等の反映が可能なタスクです。
- ユーザタスク
スクラッチ開発により作成されたアプリケーション等、アプリケーション側が動的に変更内容を反映することが出来ない場合に利用するタスクです。

タスクを検索する

1. ツールバーの「検索条件」をクリックします。



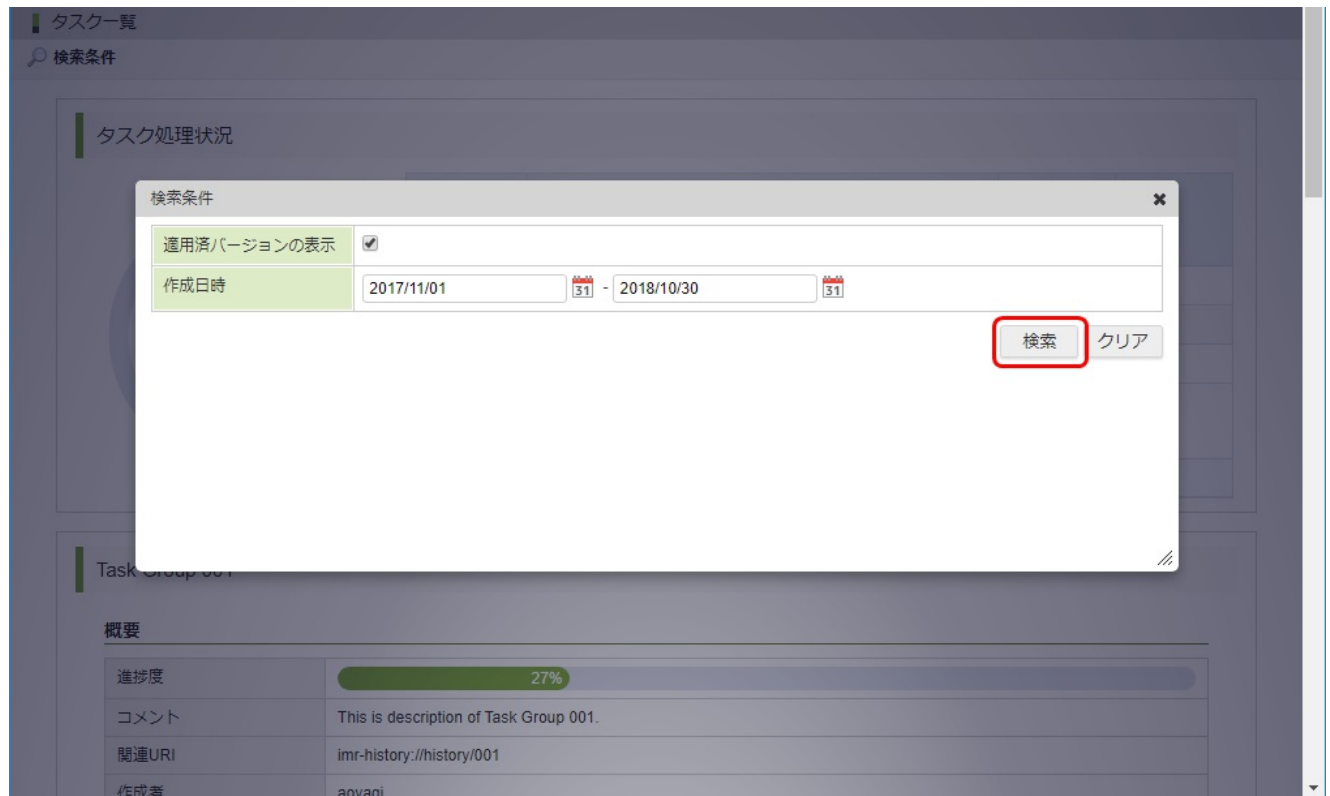
2. 検索条件ダイアログが表示されます。



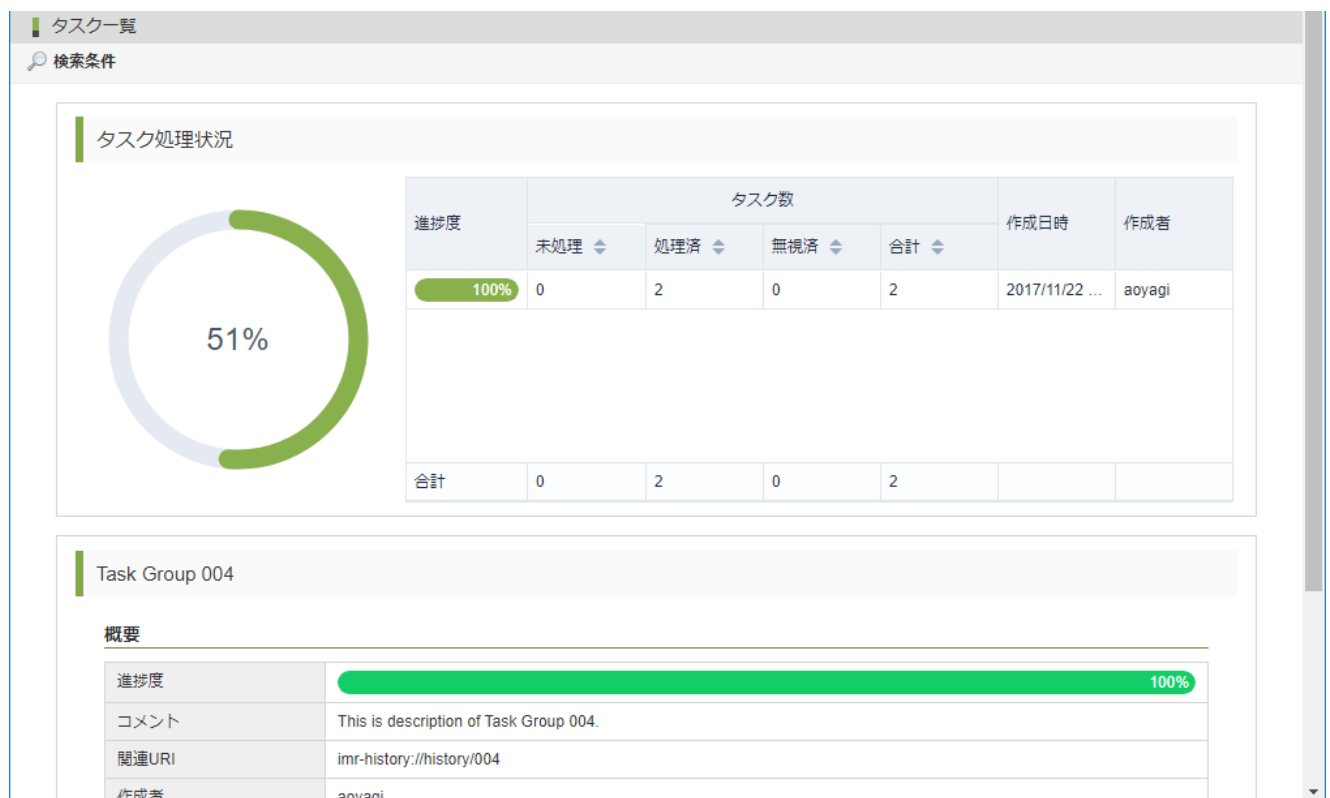
<画面項目>

項目	説明
適用済バージョンの表示	適用済みのタスクを表示するかを設定します。
作成日時	検索するタスクの作成日時の期間を入力します。
「検索」ボタン	タスクを検索します。
「クリア」ボタン	入力された検索条件をクリアします。

3. 検索条件を入力し、「検索」ボタンをクリックします。

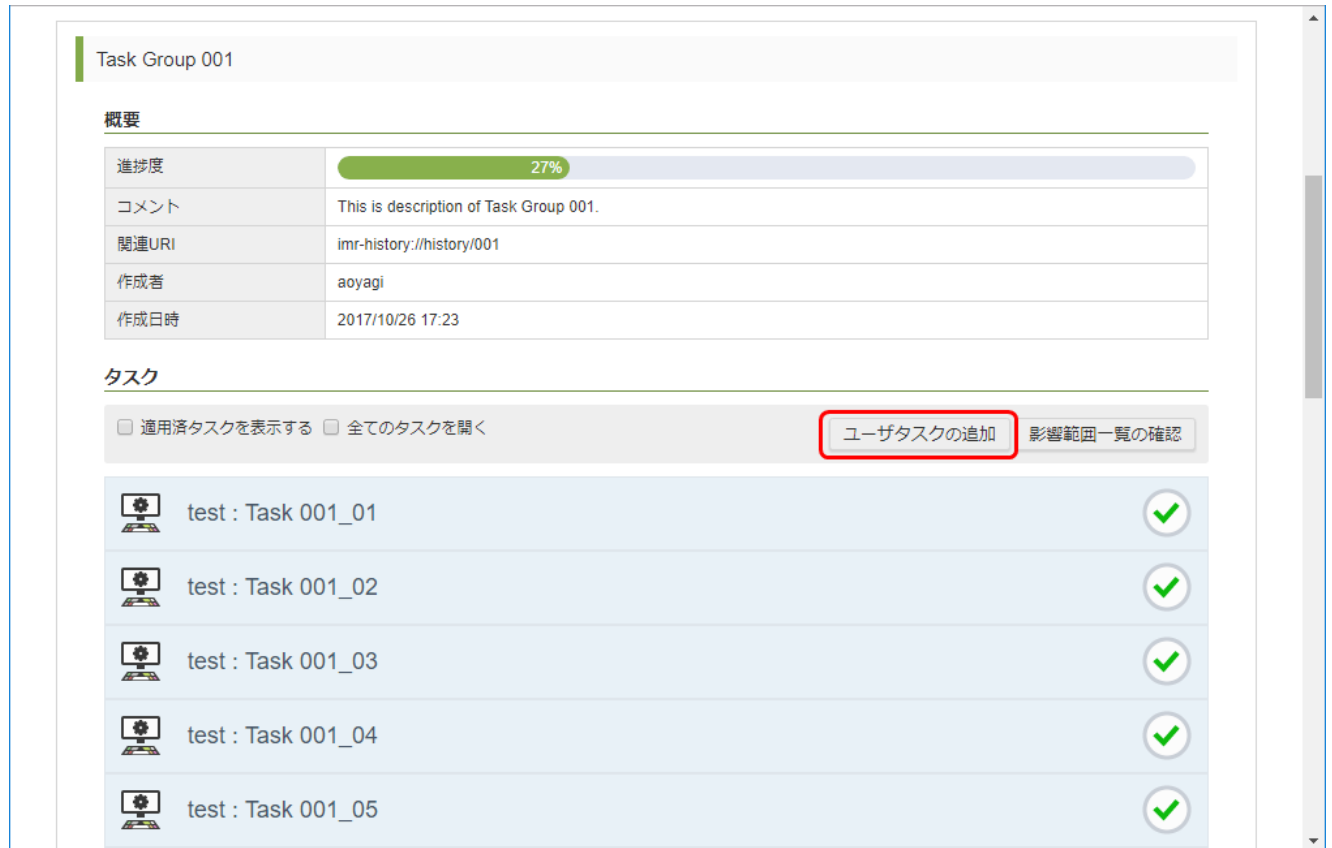


4. 検索結果が表示されます。



タスクを新規追加する

1. 「[タスクを確認する](#)」の手順をもとに、「タスク一覧」画面を表示します。
2. 登録されているタスクグループの「ユーザタスクの追加」ボタンをクリックします。



Task Group 001

概要

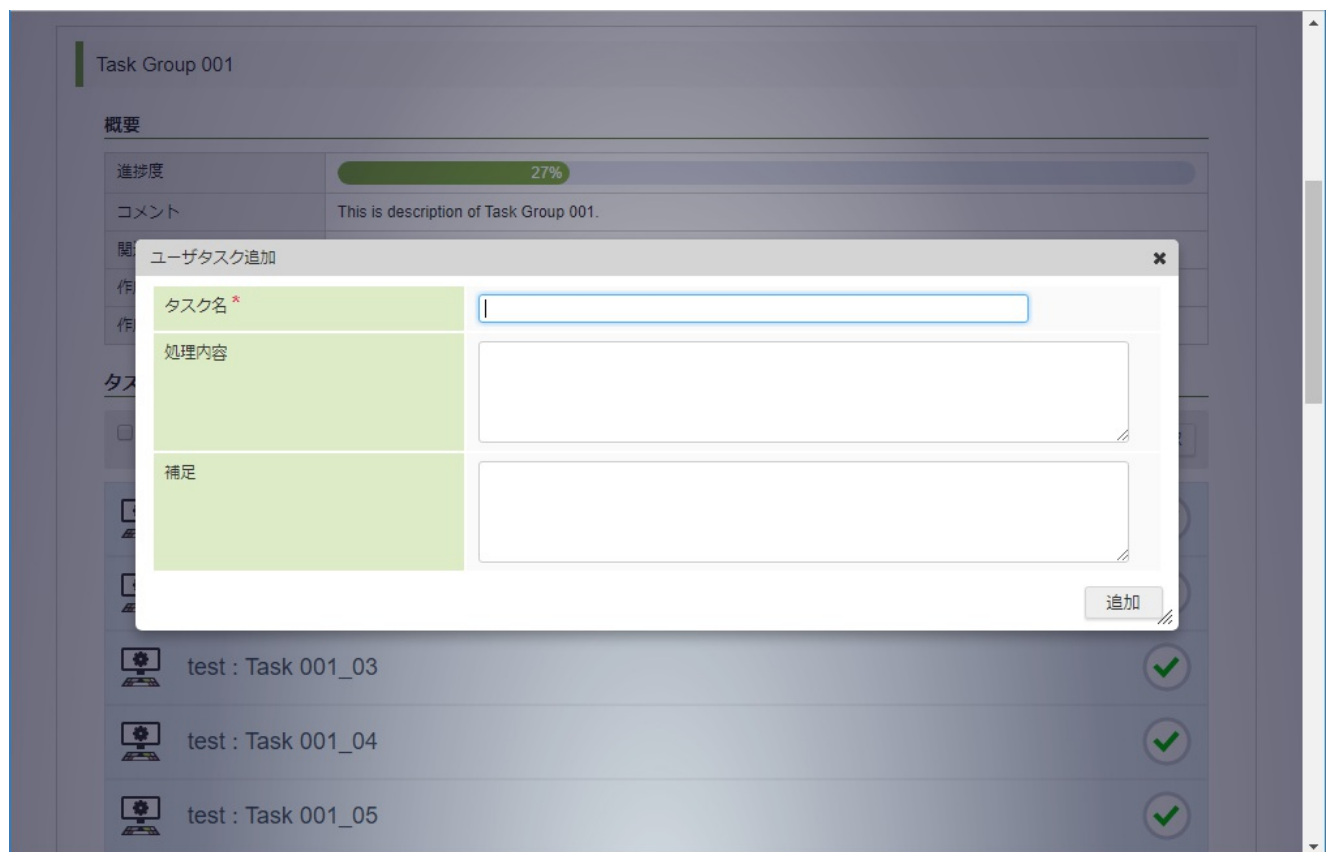
進捗度	27%
コメント	This is description of Task Group 001.
関連URI	imr-history://history/001
作成者	aoyagi
作成日時	2017/10/26 17:23

タスク

☐ 適用済タスクを表示する ☐ 全てのタスクを開く ユーザタスクの追加 影響範囲一覧の確認

test : Task 001_01	✓
test : Task 001_02	✓
test : Task 001_03	✓
test : Task 001_04	✓
test : Task 001_05	✓

3. ユーザタスク追加ダイアログが表示されます。



Task Group 001

概要

進捗度	27%
コメント	This is description of Task Group 001.

ユーザタスク追加

タスク名 *	
処理内容	
補足	

追加

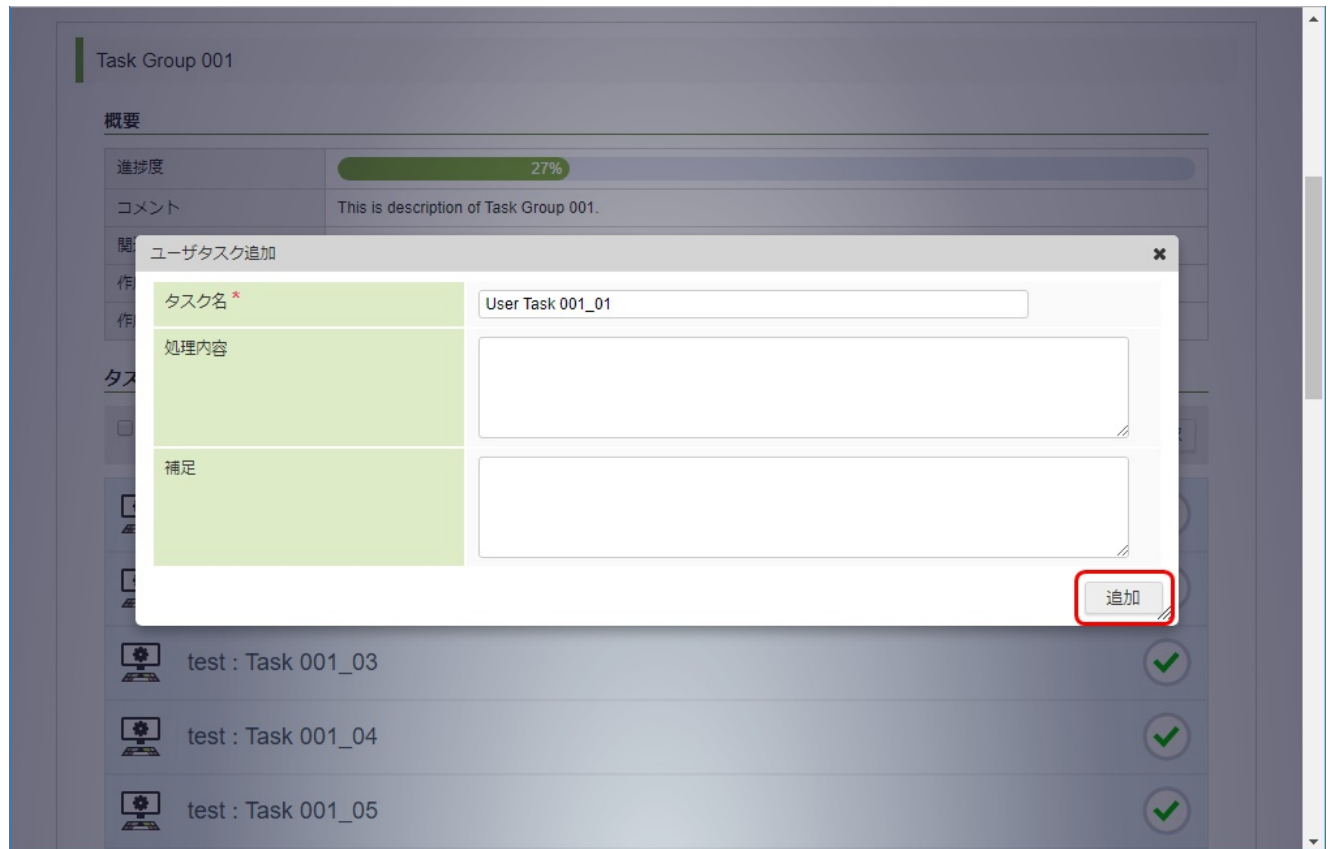
test : Task 001_03	✓
test : Task 001_04	✓
test : Task 001_05	✓

<画面項目>

項目	説明
タスク名	タスクを表す名称を入力します。 この項目は必須項目です。

項目	説明
処理内容	タスクの処理内容を入力します。
補足	タスクの補足を入力します。
「追加」ボタン	タスクを追加します。

4. 必要項目を入力し、「追加」ボタンをクリックします。



5. 確認ダイアログの「決定」をクリックします。

タスクを処理する

- [タスクを適用する](#)
- [タスクを無視する](#)
- [タスクを削除する](#)

タスクを適用する

1. 「[タスクを確認する](#)」の手順をもとに、「タスク一覧」画面を表示します。
2. タスク一覧から適用を行うタスクの「適用」アイコンをクリックします。

Task Group 001

概要

進捗度	27%
コメント	This is description of Task Group 001.
関連URI	imr-history://history/001
作成者	aoyagi
作成日時	2017/10/26 17:23

タスク

☐ 適用済タスクを表示する ☐ 全てのタスクを開く

[ユーザタスクの追加](#) [影響範囲一覧の確認](#)

 test : Task 001_01	
 test : Task 001_02	
 test : Task 001_03	
 test : Task 001_04	
 test : Task 001_05	

3. 確認ダイアログの「決定」をクリックします。

タスクを無視する

1. 「[タスクを確認する](#)」の手順をもとに、「タスク一覧」画面を表示します。
2. タスク一覧から無視を行うタスクをクリックします。

Task Group 002

概要

進捗度	75%
コメント	This is description of Task Group 002.
関連URI	imr-history://history/001
作成者	aoyagi
作成日時	2017/10/26 17:23

タスク

☐ 適用済タスクを表示する ☐ 全てのタスクを開く

[ユーザタスクの追加](#) [影響範囲一覧の確認](#)

 test : Task 002_01	
 test : Task 002_02	
 User Task 002_10	

Task Group 003

概要

3. タスク情報が表示されます。

関連URI	imr-history://history/001
作成者	aoyagi
作成日時	2017/10/26 17:23

タスク

☐ 適用済タスクを表示する ☐ 全てのタスクを開く

[ユーザタスクの追加](#) [影響範囲一覧の確認](#)

 test : Task 002_01 ✓

処理内容	This is content of Task 002_01.
補足	Item001
作成者	aoyagi
作成日時	2017/10/26 17:23
更新者	aoyagi
更新日時	2017/10/26 17:23

[無視](#)

 test : Task 002_02 ✓

 User Task 002_10 ✓

4. 「無視」ボタンをクリックします。

関連URI	imr-history://history/001
作成者	aoyagi
作成日時	2017/10/26 17:23

タスク

☐ 適用済タスクを表示する ☐ 全てのタスクを開く

[ユーザタスクの追加](#) [影響範囲一覧の確認](#)

 test : Task 002_01 ✓

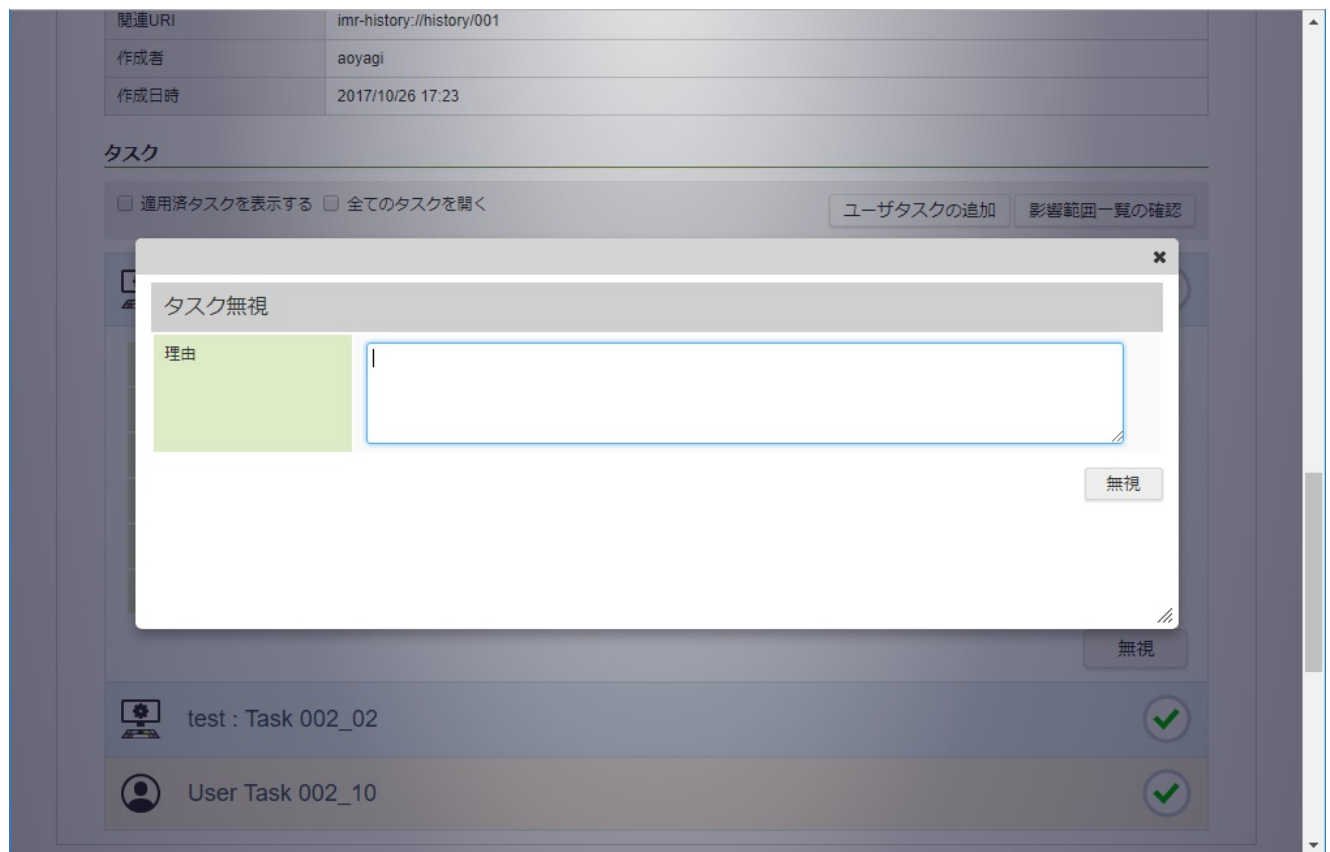
処理内容	This is content of Task 002_01.
補足	Item001
作成者	aoyagi
作成日時	2017/10/26 17:23
更新者	aoyagi
更新日時	2017/10/26 17:23

[無視](#)

 test : Task 002_02 ✓

 User Task 002_10 ✓

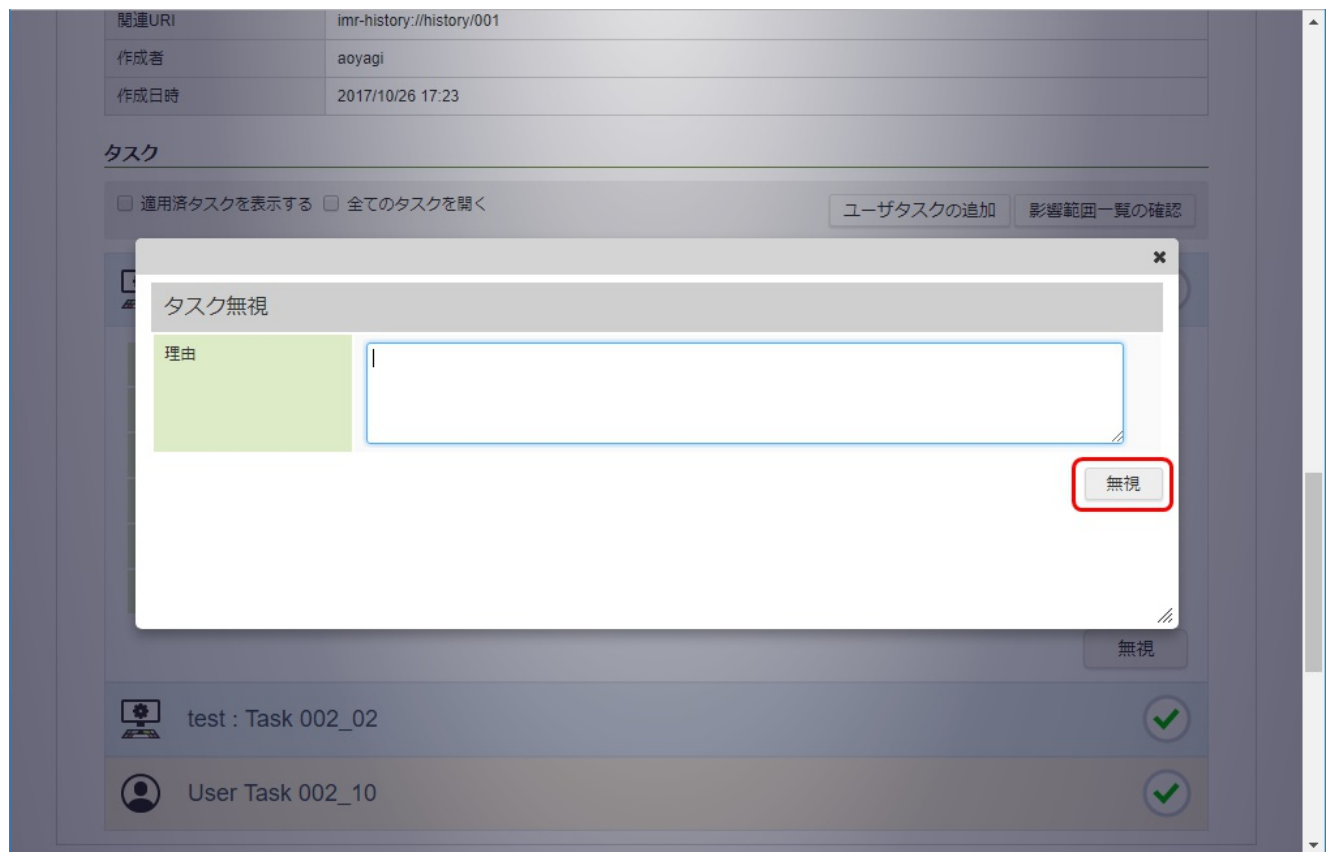
5. タスク無視ダイアログが表示されます。



<画面項目>

項目	説明
理由	タスクを無視する理由を入力します。
「無視」ボタン	タスクを無視で処理します。

6. 必要項目を入力し、「無視」をクリックします。



タスクを削除する



コラム

ユーザが登録したタスクのみ削除することができます。

1. 「[タスクを確認する](#)」の手順をもとに、「タスク一覧」画面を表示します。
2. タスク一覧から削除を行うタスクをクリックします。



3. タスク情報が表示されます。

作成者	aoyagi
作成日時	2017/10/26 17:23

タスク

☐ 適用済タスクを表示する ☐ 全てのタスクを開く

[ユーザタスクの追加](#) [影響範囲一覧の確認](#)

 test : Task 003_01	
 test : Task 003_02	
 User Task 003_01	

処理内容	
補足	
作成者	tenant
作成日時	2017/11/27 11:39
更新者	tenant
更新日時	2017/11/27 11:39

[削除](#) [無視](#)

4. 「削除」ボタンをクリックします。

作成者	aoyagi
作成日時	2017/10/26 17:23

タスク

☐ 適用済タスクを表示する ☐ 全てのタスクを開く

[ユーザタスクの追加](#) [影響範囲一覧の確認](#)

 test : Task 003_01	
 test : Task 003_02	
 User Task 003_01	

処理内容	
補足	
作成者	tenant
作成日時	2017/11/27 11:39
更新者	tenant
更新日時	2017/11/27 11:39

[削除](#) [無視](#)

5. 確認ダイアログの「決定」をクリックします。

履歴

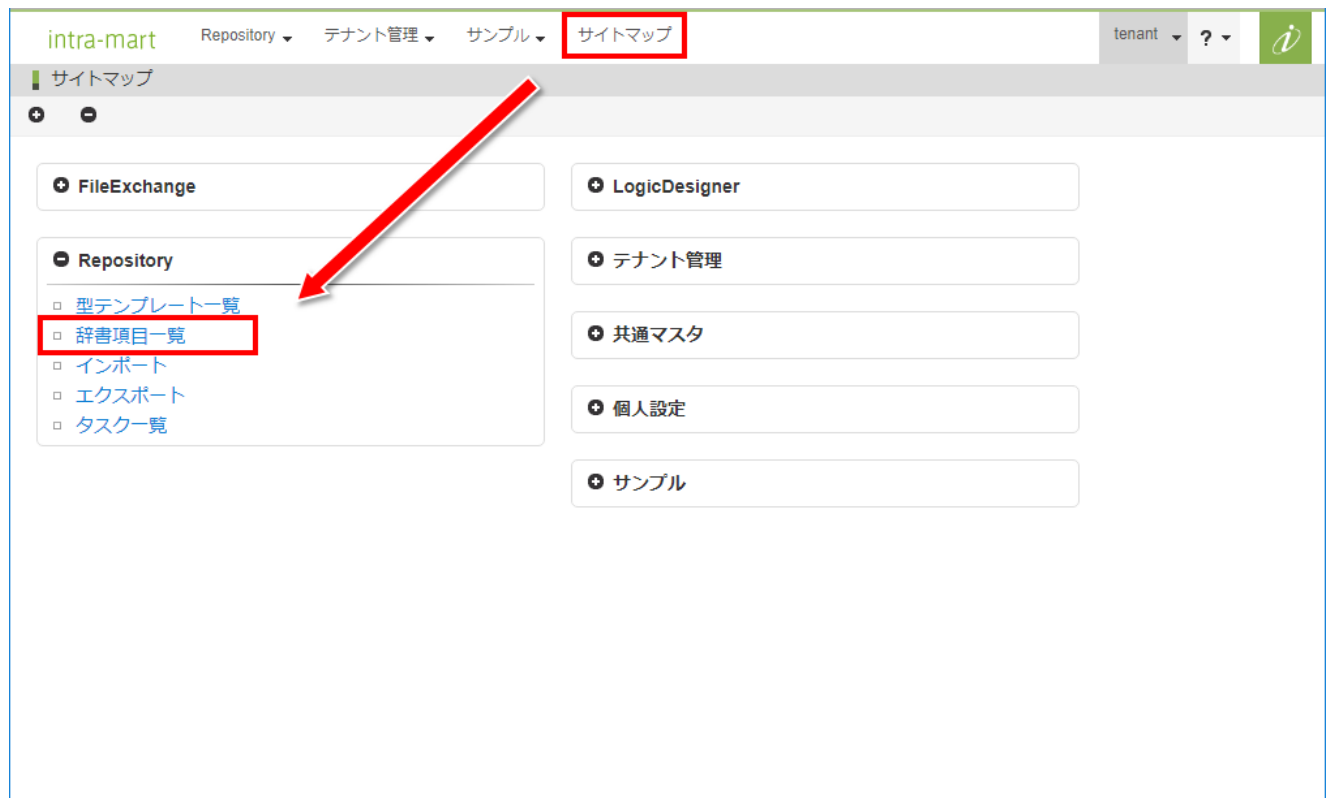
ここではIM-Repositoryで履歴を扱う画面の機能について説明します。

履歴一覧

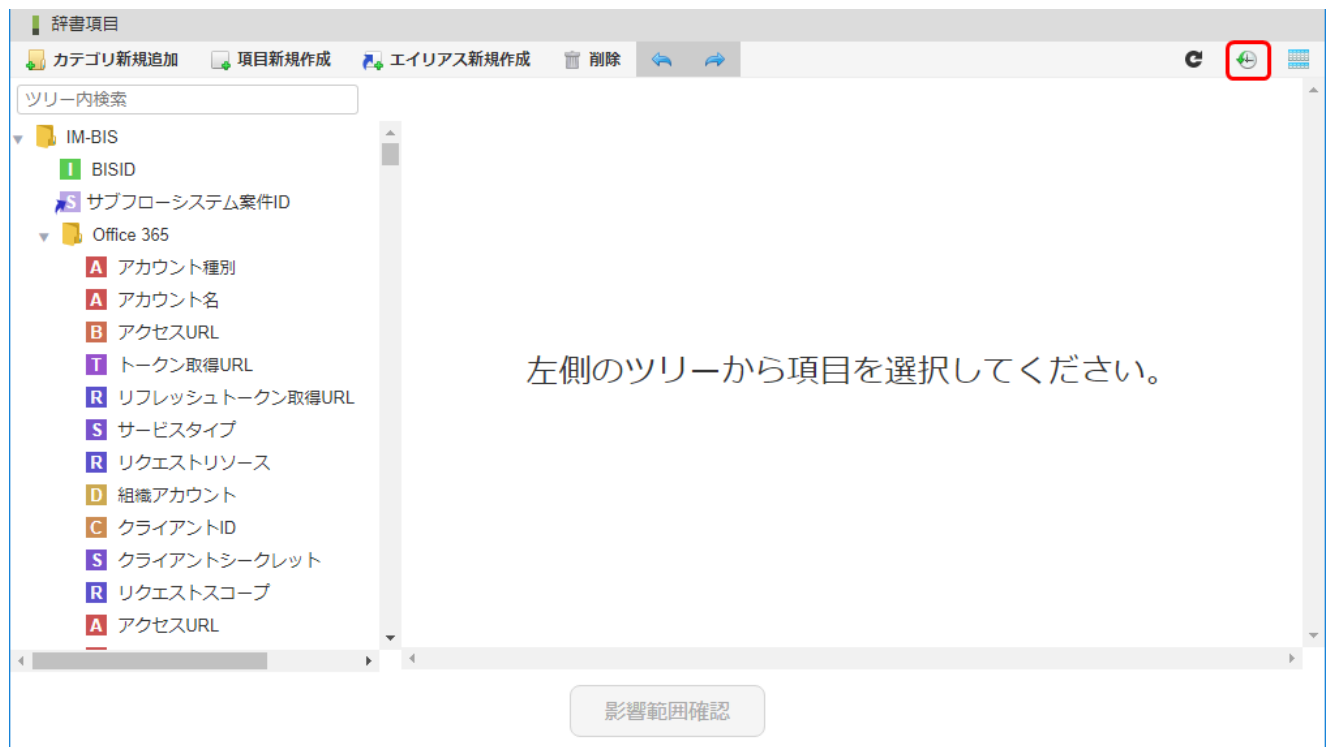
- 履歴詳細をツリー形式で表示する
- 履歴詳細をリスト形式で表示する

履歴詳細をツリー形式で表示する

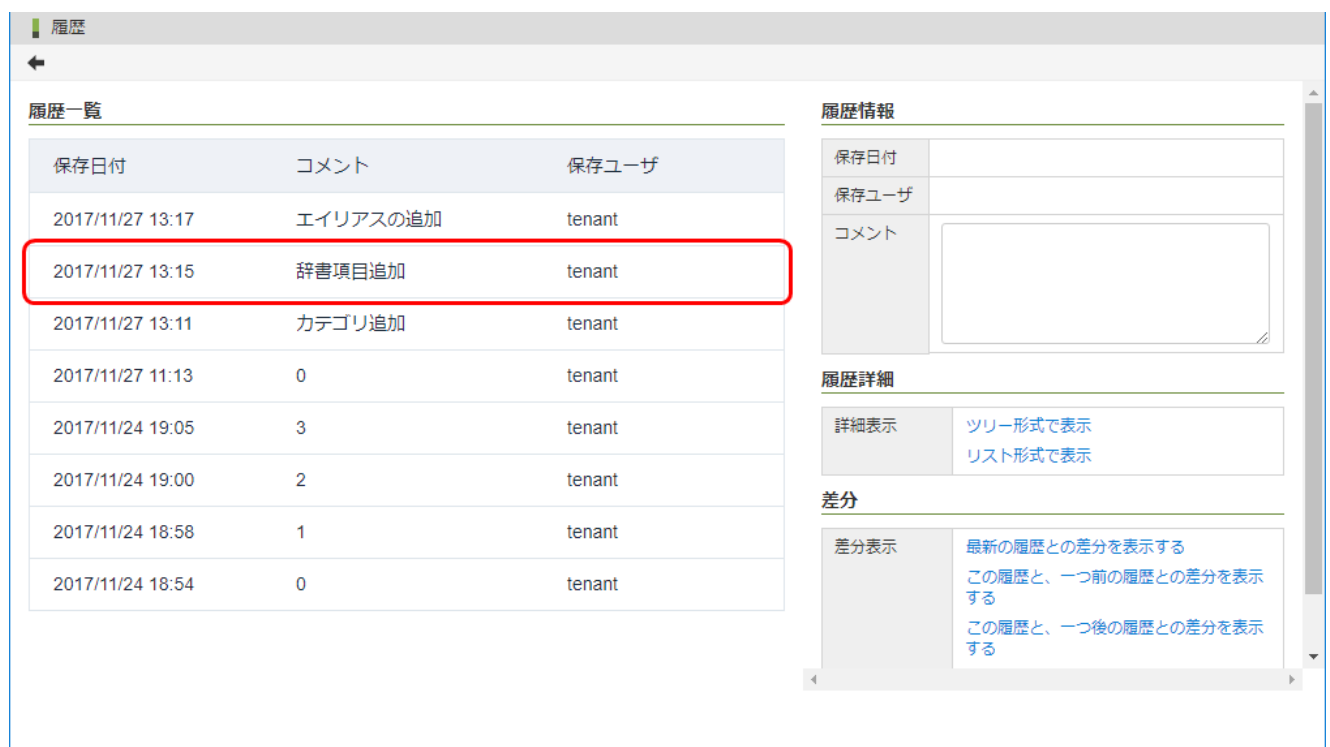
1. 「サイトマップ」 - 「Repository」 - 「辞書項目一覧」をクリックし、「辞書項目一覧」画面を表示します。



2. ツールバーの「履歴」アイコンをクリックし、「履歴一覧」画面を表示します。



3. 履歴一覧の中の詳細を確認したい履歴をクリックします。



4. 履歴詳細の「ツリー形式で表示」リンクをクリックします。

履歴一覧

保存日付	コメント	保存ユーザ
2017/11/27 13:17	エイリアスの追加	tenant
2017/11/27 13:15	辞書項目追加	tenant
2017/11/27 13:11	カテゴリ追加	tenant
2017/11/27 11:13	0	tenant
2017/11/24 19:05	3	tenant
2017/11/24 19:00	2	tenant
2017/11/24 18:58	1	tenant
2017/11/24 18:54	0	tenant

履歴情報

保存日付: 2017/11/27 13:15
 保存ユーザ: tenant
 コメント: 辞書項目追加

履歴詳細

詳細表示: **ツリー形式で表示**
 リスト形式で表示

差分

差分表示: 最新の履歴との差分を表示する
 この履歴と、一つ前の履歴との差分を表示する
 この履歴と、一つ後の履歴との差分を表示する

5. ツリー形式の履歴詳細が表示されます。

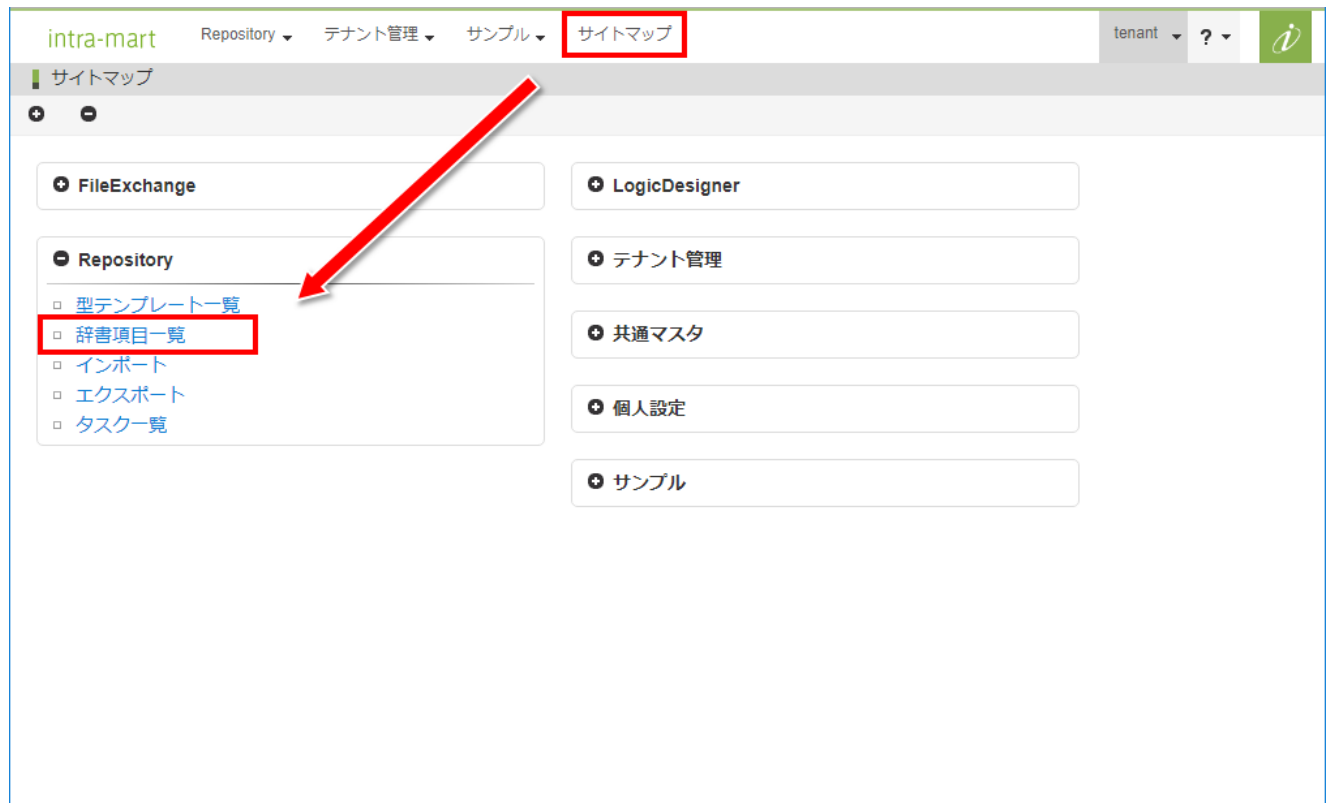
IM-BIS

- BISID
- サブフローシステム案件ID
- Office 365
 - アカウント種別
 - アカウント名
 - アクセスURL
 - トークン取得URL
 - リフレッシュトークン取得URL
 - サービスタイプ
 - リクエストリソース
 - 組織アカウント
 - クライアントID
 - クライアントシークレット
 - リクエストスコープ
 - アクセスURL
 - アクセストークン
 - リフレッシュトークン
 - 期限
 - メールアドレス
- BIS名
- メインフローシステム案件ID
- Forma Connect
 - ターゲットID

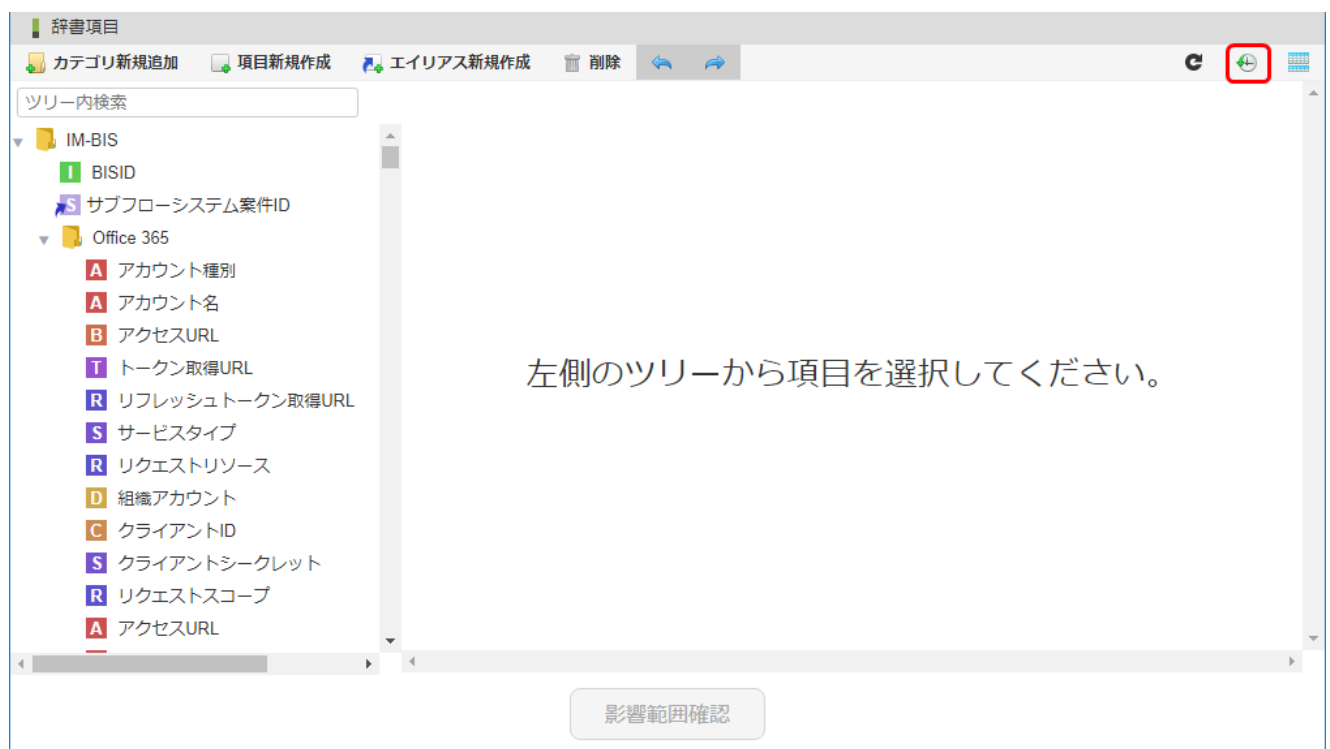
左側のツリーから項目を選択してください。

履歴詳細をリスト形式で表示する

1. 「サイトマップ」 - 「Repository」 - 「辞書項目一覧」をクリックし、「辞書項目一覧」画面を表示します。



2. ツールバーの「履歴」アイコンをクリックし、「履歴一覧」画面を表示します。



3. 履歴一覧の中の詳細を確認したい履歴をクリックします。

The screenshot shows the '履歴' (History) page. On the left, there is a table titled '履歴一覧' (History List) with columns '保存日付' (Save Date), 'コメント' (Comment), and '保存ユーザ' (Save User). The table contains several rows, with the row for '2017/11/27 13:15' and '辞書項目追加' (Dictionary Item Addition) highlighted with a red rectangle. On the right, there is a sidebar with sections: '履歴情報' (History Information) containing fields for '保存日付', '保存ユーザ', and 'コメント'; '履歴詳細' (History Details) with buttons for 'ツリー形式で表示' (Display in Tree Format) and 'リスト形式で表示' (Display in List Format); and '差分' (Difference) with a '差分表示' (Display Difference) button and a description of the difference view.

保存日付	コメント	保存ユーザ
2017/11/27 13:17	エイリアスの追加	tenant
2017/11/27 13:15	辞書項目追加	tenant
2017/11/27 13:11	カテゴリ追加	tenant
2017/11/27 11:13	0	tenant
2017/11/24 19:05	3	tenant
2017/11/24 19:00	2	tenant
2017/11/24 18:58	1	tenant
2017/11/24 18:54	0	tenant

4. 履歴詳細の「リスト形式で表示」リンクをクリックします。

The screenshot shows the '履歴' (History) page after clicking the 'リスト形式で表示' (Display in List Format) link. The '履歴一覧' (History List) table is still visible on the left. The '履歴情報' (History Information) section on the right now displays the details for the selected item: '保存日付' (2017/11/27 13:15), '保存ユーザ' (tenant), and 'コメント' (辞書項目追加). The '履歴詳細' (History Details) section shows the 'ツリー形式で表示' (Display in Tree Format) and 'リスト形式で表示' (Display in List Format) buttons, with the 'リスト形式で表示' button highlighted with a red rectangle. The '差分' (Difference) section remains the same.

保存日付	コメント	保存ユーザ
2017/11/27 13:17	エイリアスの追加	tenant
2017/11/27 13:15	辞書項目追加	tenant
2017/11/27 13:11	カテゴリ追加	tenant
2017/11/27 11:13	0	tenant
2017/11/24 19:05	3	tenant
2017/11/24 19:00	2	tenant
2017/11/24 18:58	1	tenant
2017/11/24 18:54	0	tenant

5. リスト形式の履歴詳細が表示されます。

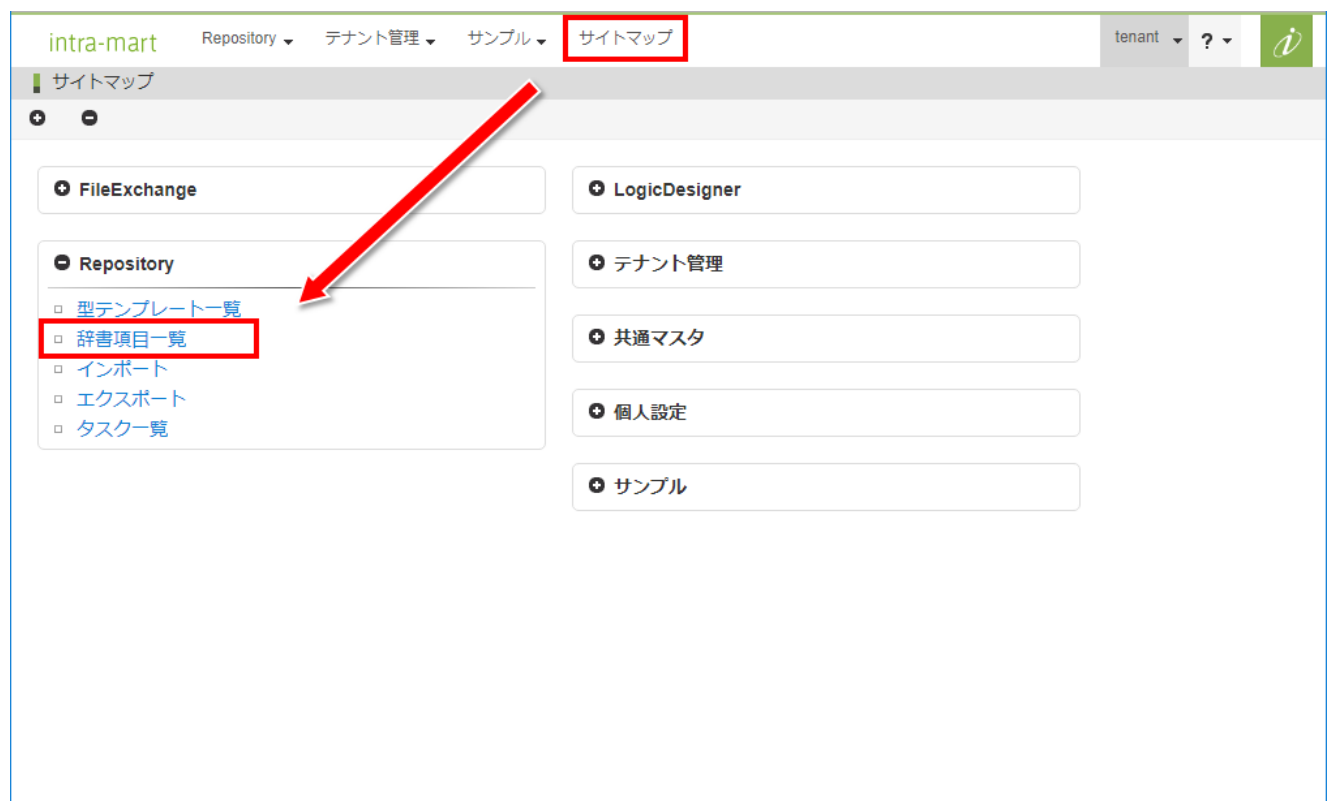
表示リスト		カテゴリ一覧	
☒ 辞書項目カテゴリ一覧を表示する		カテゴリID	カテゴリ名
☒ 辞書項目一覧を表示する			説明
☒ エイリアス一覧を表示する			
検索条件			
		im_bis	IM-BIS
		im_bis_o365	Office 365
		im_bis_forma	Forma Connect
		iac	Accel Collaboration
		iac_core	基本機能
		iac_filelibrary	ファイルライブラリ
		iac_message	メッセージ
		iac_addressbook	アドレス帳
		iac_todo	ToDo
		iac_workspace	ワークスペース
		iac_announce	アナウンス
		iac_iframe	IFrame
		iac_group	グループ

差分

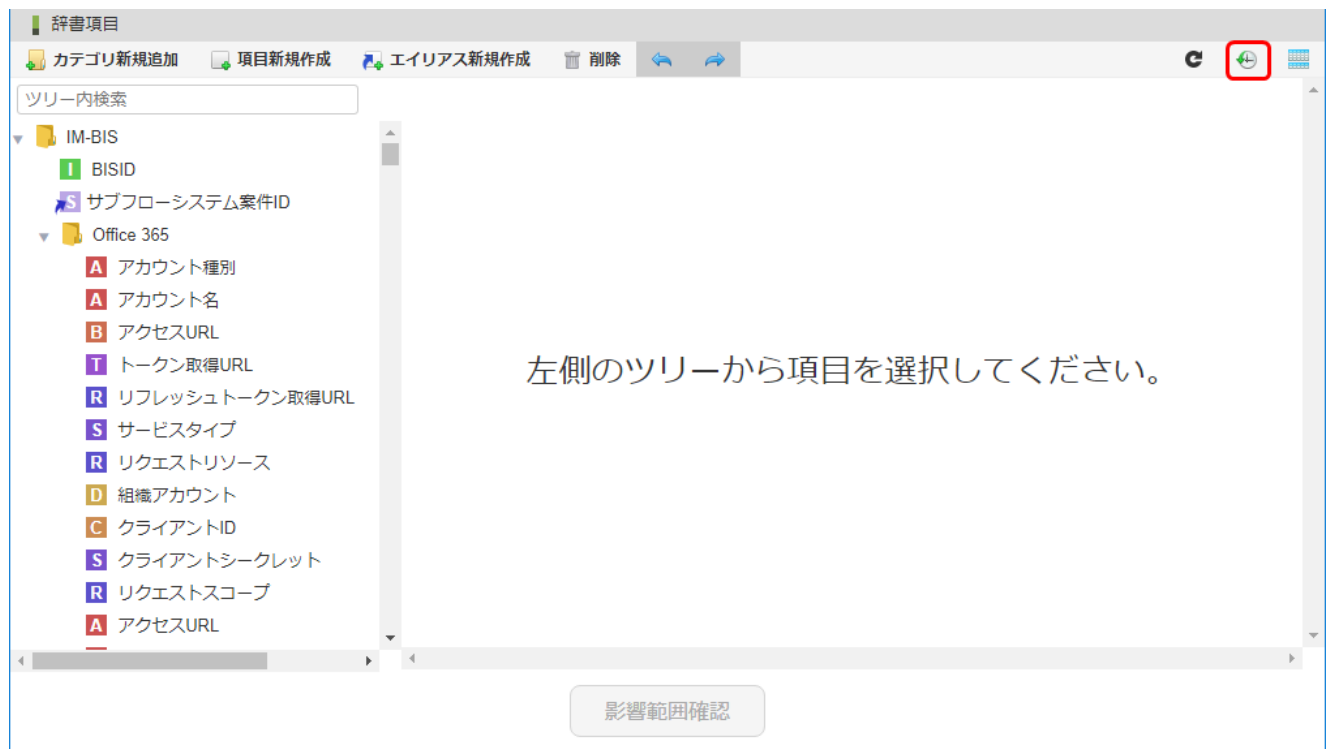
差分を扱う画面の機能について説明します。

最新の履歴との差分を表示する

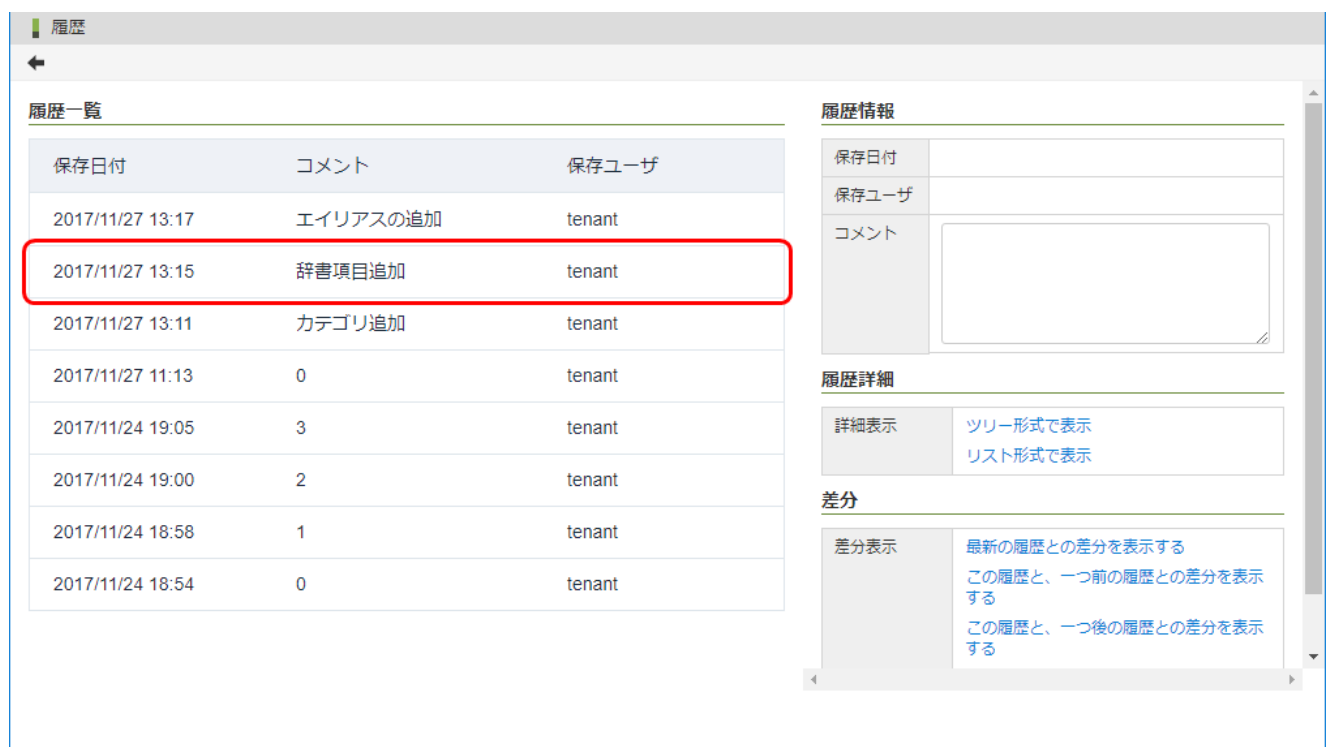
1. 「サイトマップ」 - 「Repository」 - 「辞書項目一覧」をクリックし、「辞書項目一覧」画面を表示します。



2. ツールバーの「履歴」アイコンをクリックし、「履歴一覧」画面を表示します。



3. 履歴一覧の中の差分を表示したい履歴をクリックします。



4. 差分の「最新の履歴との差分を表示する」リンクをクリックします。

履歴

←

履歴一覧

保存日付	コメント	保存ユーザ
2017/11/27 13:17	エイリアスの追加	tenant
2017/11/27 13:15	辞書項目追加	tenant
2017/11/27 13:11	カテゴリ追加	tenant
2017/11/27 11:13	0	tenant
2017/11/24 19:05	3	tenant
2017/11/24 19:00	2	tenant
2017/11/24 18:58	1	tenant
2017/11/24 18:54	0	tenant

履歴情報

保存日付	2017/11/27 13:15
保存ユーザ	tenant
コメント	辞書項目追加

履歴詳細

詳細表示

ツリー形式で表示
リスト形式で表示

差分

差分表示

最新の履歴との差分を表示する
この履歴と、一つ前の履歴との差分を表示する
この履歴と、一つ後の履歴との差分を表示する

5. 選択した履歴と最新の履歴の差分が表示されます。

差分表示

←

変更点一覧

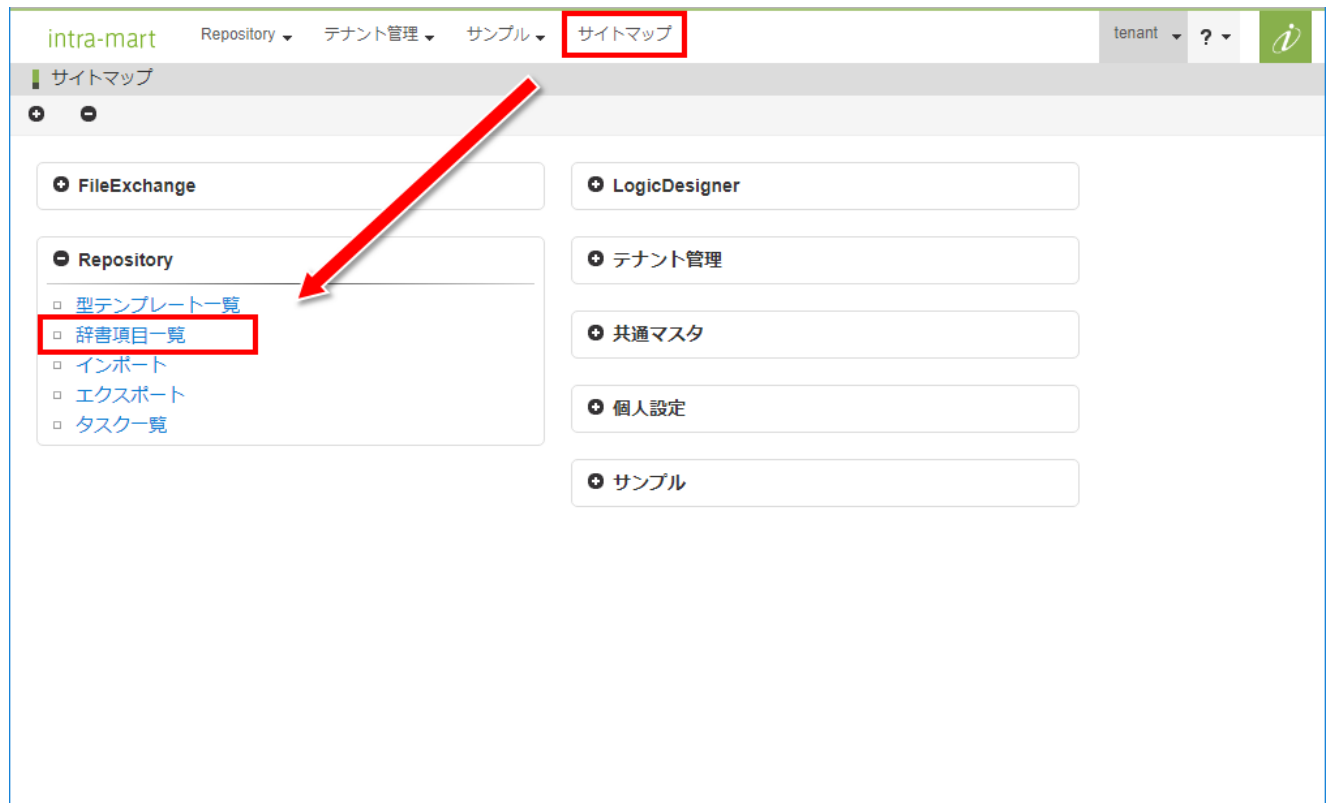
項目名	型	ステータス
新しいカテゴリ	カテゴリ	UPDATE
IM-FormaDe signer	カテゴリ	UPDATE
IM-Contents Search	カテゴリ	UPDATE
Alias of	エイリアス	ADD

変更前 2017/11/27 13:15

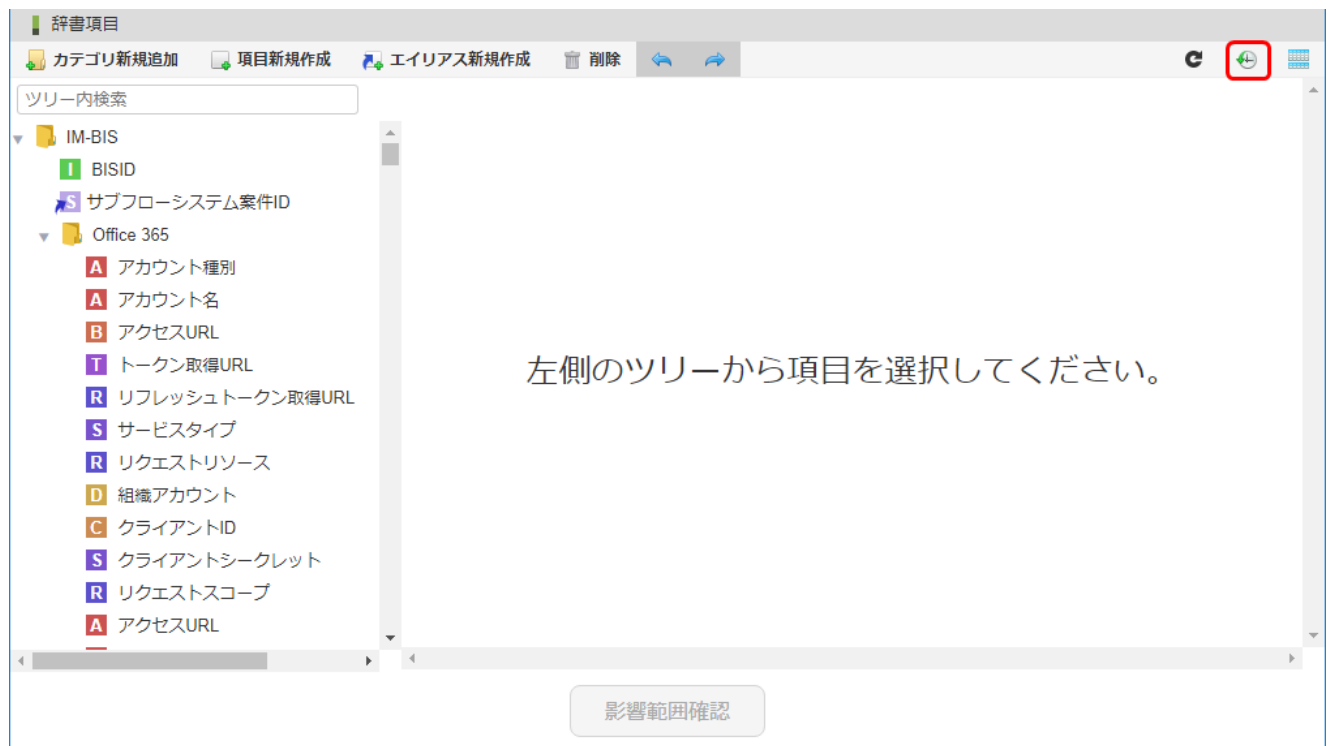
変更後 2017/11/27 13:17

選択した履歴と一つ前の履歴との差分を表示する

1. 「サイトマップ」 - 「Repository」 - 「辞書項目一覧」をクリックし、「辞書項目一覧」画面を表示します。



2. ツールバーの「履歴」アイコンをクリックし、「履歴一覧」画面を表示します。



3. 履歴一覧の中の差分を表示したい履歴をクリックします。

履歴一覧

保存日付	コメント	保存ユーザ
2017/11/27 13:17	エイリアスの追加	tenant
2017/11/27 13:15	辞書項目追加	tenant
2017/11/27 13:11	カテゴリ追加	tenant
2017/11/27 11:13	0	tenant
2017/11/24 19:05	3	tenant
2017/11/24 19:00	2	tenant
2017/11/24 18:58	1	tenant
2017/11/24 18:54	0	tenant

履歴情報

保存日付:
保存ユーザ:
コメント:

履歴詳細

詳細表示: [ツリー形式で表示](#) [リスト形式で表示](#)

差分

差分表示: [最新の履歴との差分を表示する](#)
[この履歴と、一つ前の履歴との差分を表示する](#)
[この履歴と、一つ後の履歴との差分を表示する](#)

4. 差分の「この履歴と、一つ前の履歴との差分を表示する」リンクをクリックします。

履歴一覧

保存日付	コメント	保存ユーザ
2017/11/27 13:17	エイリアスの追加	tenant
2017/11/27 13:15	辞書項目追加	tenant
2017/11/27 13:11	カテゴリ追加	tenant
2017/11/27 11:13	0	tenant
2017/11/24 19:05	3	tenant
2017/11/24 19:00	2	tenant
2017/11/24 18:58	1	tenant
2017/11/24 18:54	0	tenant

履歴情報

保存日付: 2017/11/27 13:15
保存ユーザ: tenant
コメント: 辞書項目追加

履歴詳細

詳細表示: [ツリー形式で表示](#) [リスト形式で表示](#)

差分

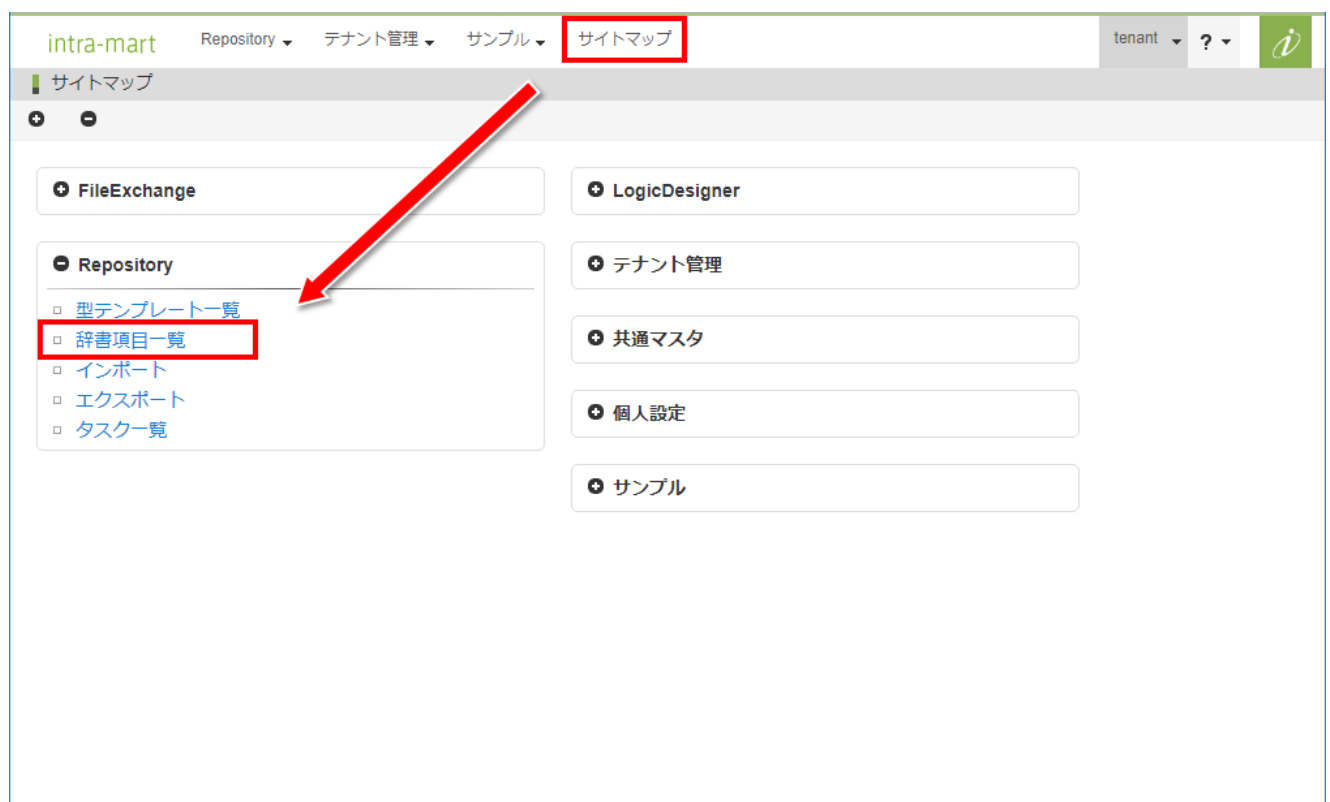
差分表示: [最新の履歴との差分を表示する](#)
[この履歴と、一つ前の履歴との差分を表示する](#)
[この履歴と、一つ後の履歴との差分を表示する](#)

5. 選択した履歴と一つ前の履歴の差分が表示されます。

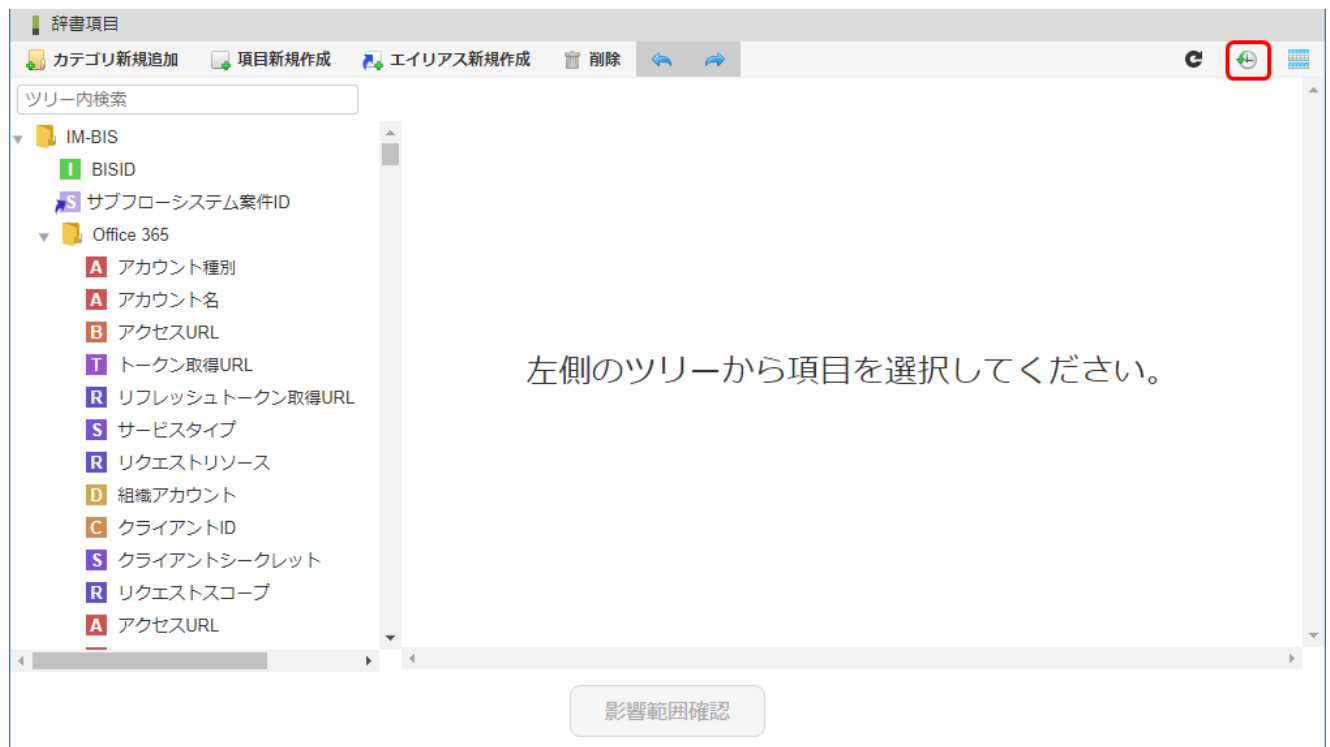
差分表示														
←														
変更点一覧	変更前 2017/11/27 13:15	変更後 2017/11/27 13:11												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目名</th><th>型</th><th>ステータス</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新しいカテゴリ</td><td>カテゴリ</td><td>UPDATE</td></tr> <tr> <td>IM-FormaDe signer</td><td>カテゴリ</td><td>UPDATE</td></tr> <tr> <td>IM-Contents Search</td><td>カテゴリ</td><td>UPDATE</td></tr> </tbody> </table>	項目名	型	ステータス	新しいカテゴリ	カテゴリ	UPDATE	IM-FormaDe signer	カテゴリ	UPDATE	IM-Contents Search	カテゴリ	UPDATE		
項目名	型	ステータス												
新しいカテゴリ	カテゴリ	UPDATE												
IM-FormaDe signer	カテゴリ	UPDATE												
IM-Contents Search	カテゴリ	UPDATE												

選択した履歴と一つ後の履歴との差分を表示する

1. 「サイトマップ」 - 「Repository」 - 「辞書項目一覧」をクリックし、「辞書項目一覧」画面を表示します。



2. ツールバーの「履歴」アイコンをクリックし、「履歴一覧」画面を表示します。



3. 履歴一覧の中の差分を表示したい履歴をクリックします。



4. 差分の「この履歴と、一つ後の履歴との差分を表示する」リンクをクリックします。

履歴一覧

保存日付	コメント	保存ユーザ
2017/11/27 13:17	エイリアスの追加	tenant
2017/11/27 13:15	辞書項目追加	tenant
2017/11/27 13:11	カテゴリ追加	tenant
2017/11/27 11:13	0	tenant
2017/11/24 19:05	3	tenant
2017/11/24 19:00	2	tenant
2017/11/24 18:58	1	tenant
2017/11/24 18:54	0	tenant

履歴情報

保存日付: 2017/11/27 13:11
 保存ユーザ: tenant
 コメント: カテゴリ追加

履歴詳細

詳細表示: ツリー形式で表示
 リスト形式で表示

差分

差分表示: 最新の履歴との差分を表示する
 この履歴と、一つ前の履歴との差分を表示する
 この履歴と、一つ後の履歴との差分を表示する

5. 選択した履歴と一つ後の履歴の差分が表示されます。

差分表示

変更点一覧

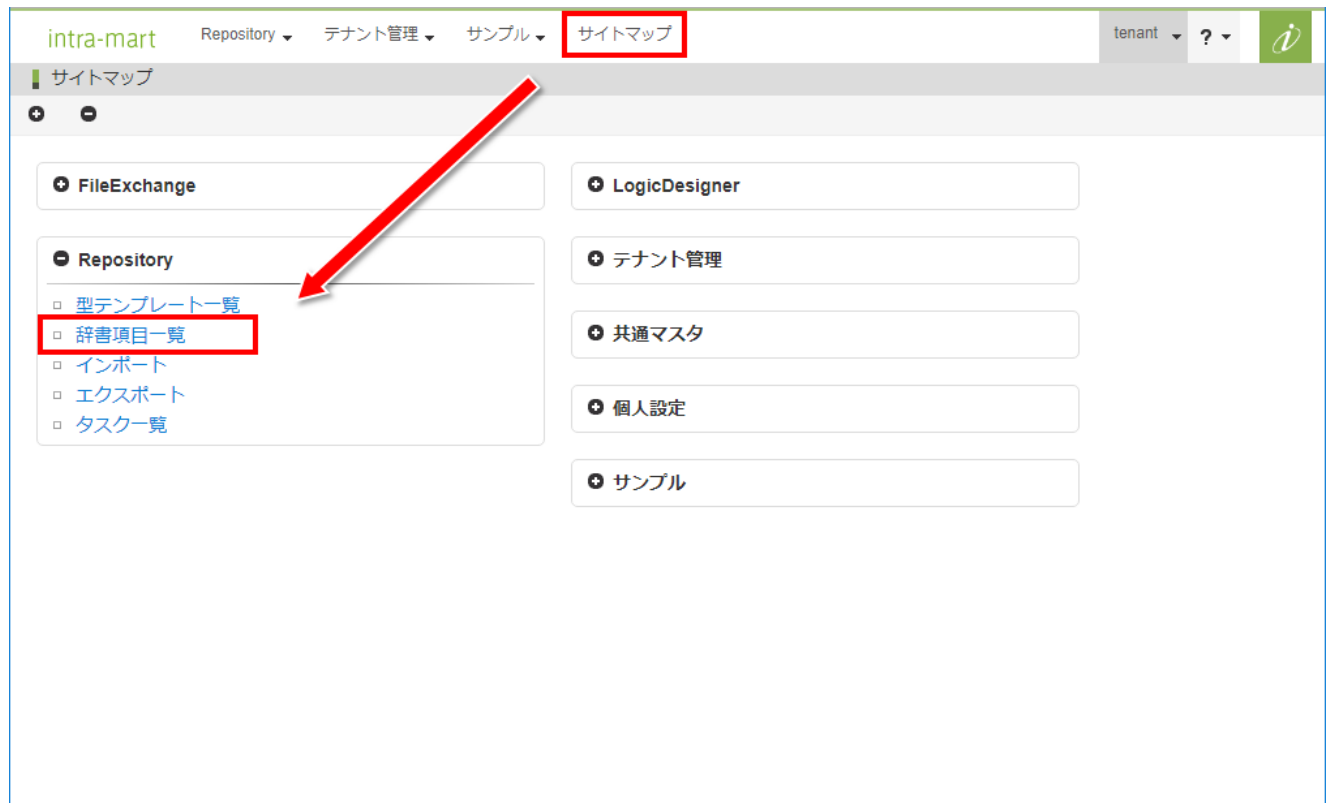
項目名	型	ステータス
新しいカテゴリ	カテゴリ	UPDATE
IM-FormaDe signer	カテゴリ	UPDATE
IM-Contents Search	カテゴリ	UPDATE
新しい辞書項目	辞書項目	ADD
Alias of	エイリアス	ADD

変更前 2017/11/27 13:11

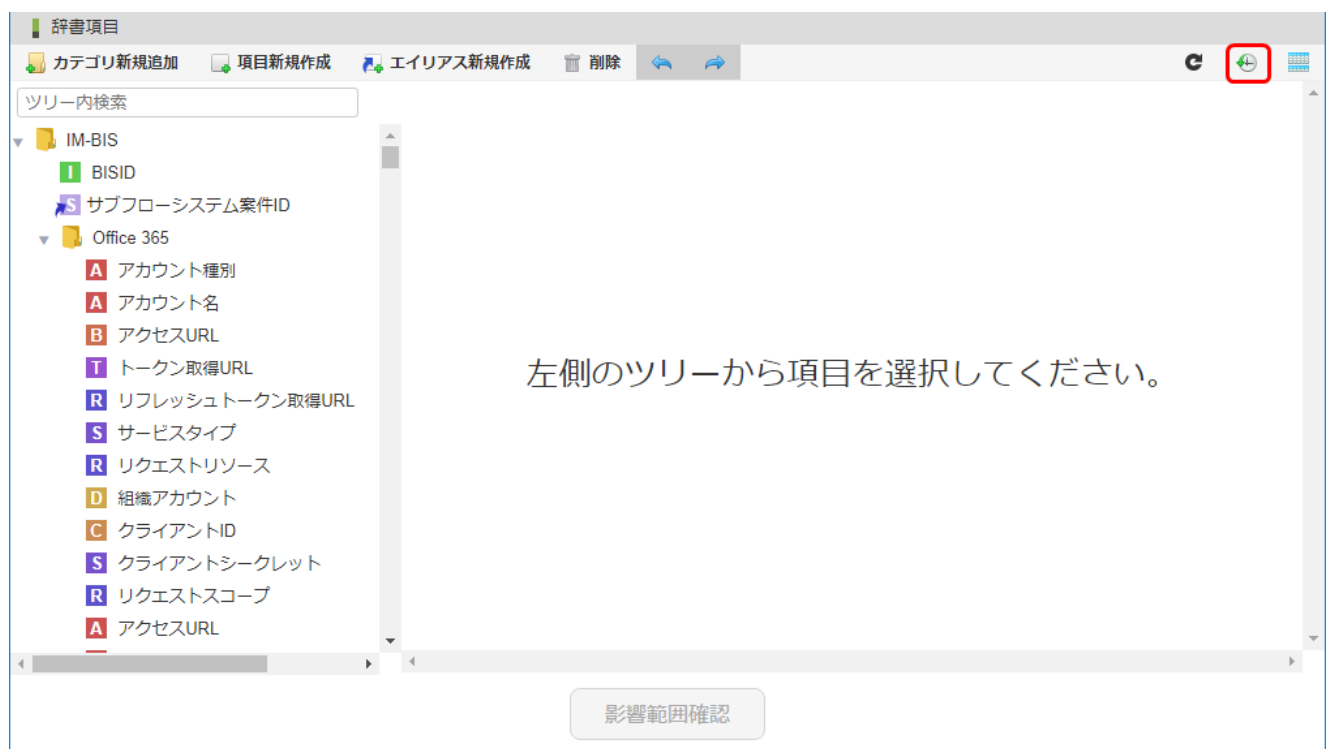
変更後 2017/11/27 13:17

特定の履歴の差分を表示する

1. 「サイトマップ」 - 「Repository」 - 「辞書項目一覧」をクリックし、「辞書項目一覧」画面を表示します。



2. ツールバーの「履歴」アイコンをクリックし、「履歴一覧」画面を表示します。



3. 「特定の履歴の差分を表示する」リンクをクリックします。



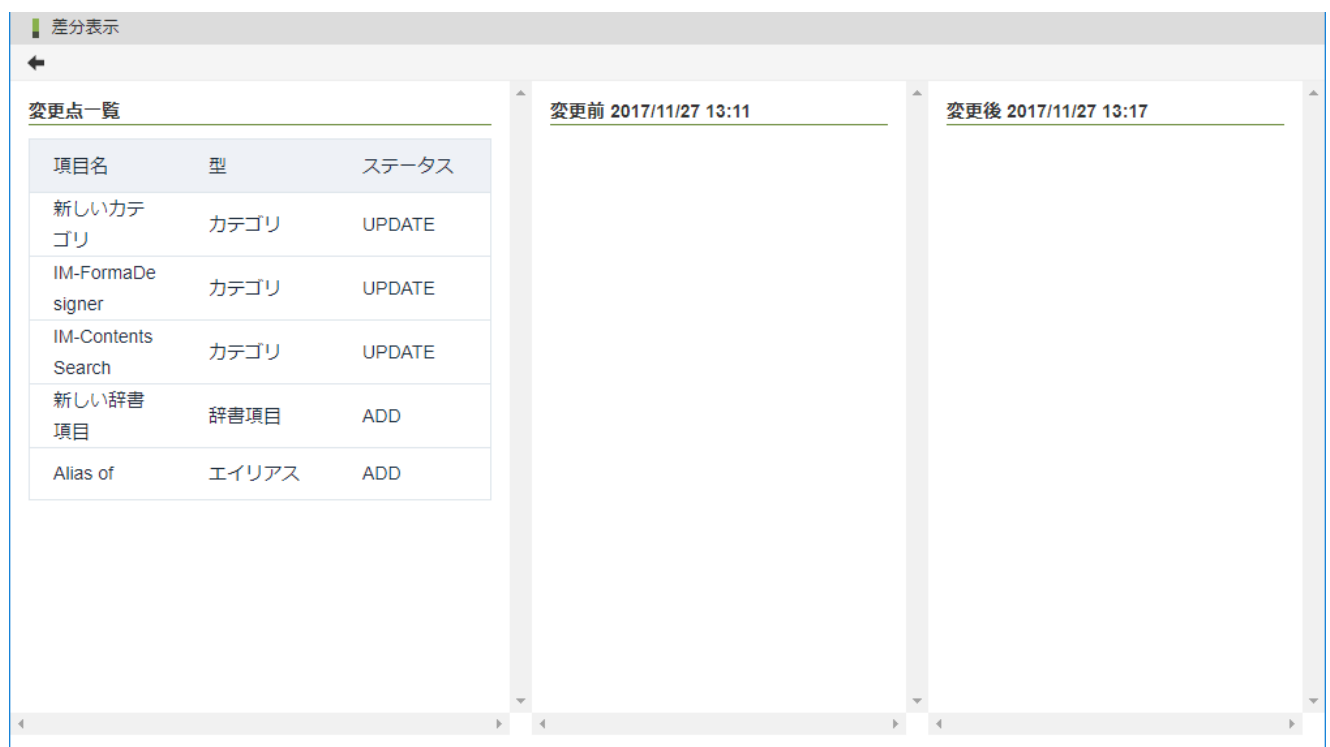
4. 履歴選択ダイアログが表示されます。



5. 差分を表示する二つの履歴を選択し、「決定」ボタンをクリックします。



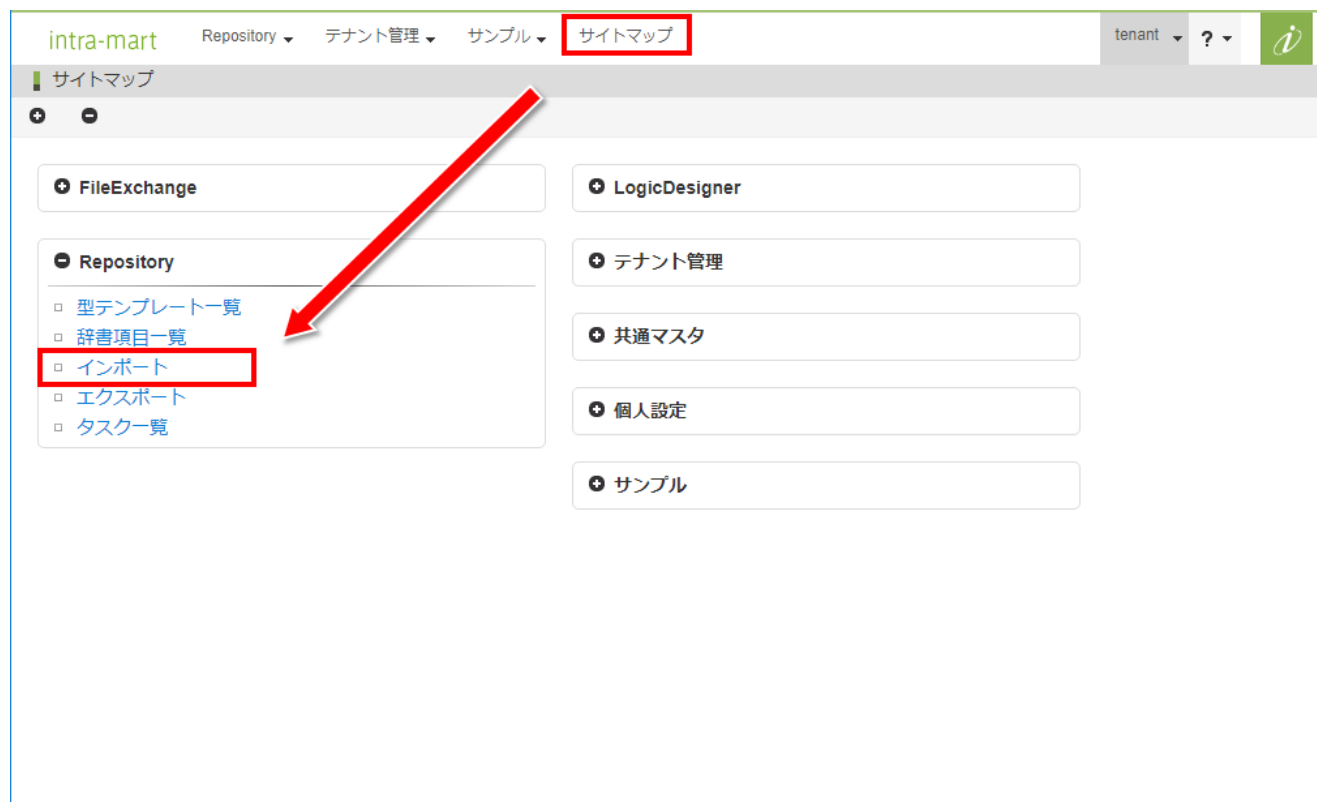
6. 選択した二つの履歴の差分が表示されます。



ここではIM-Repositoryでインポート/エクスポートを扱う画面の機能について説明します。

インポートを行う

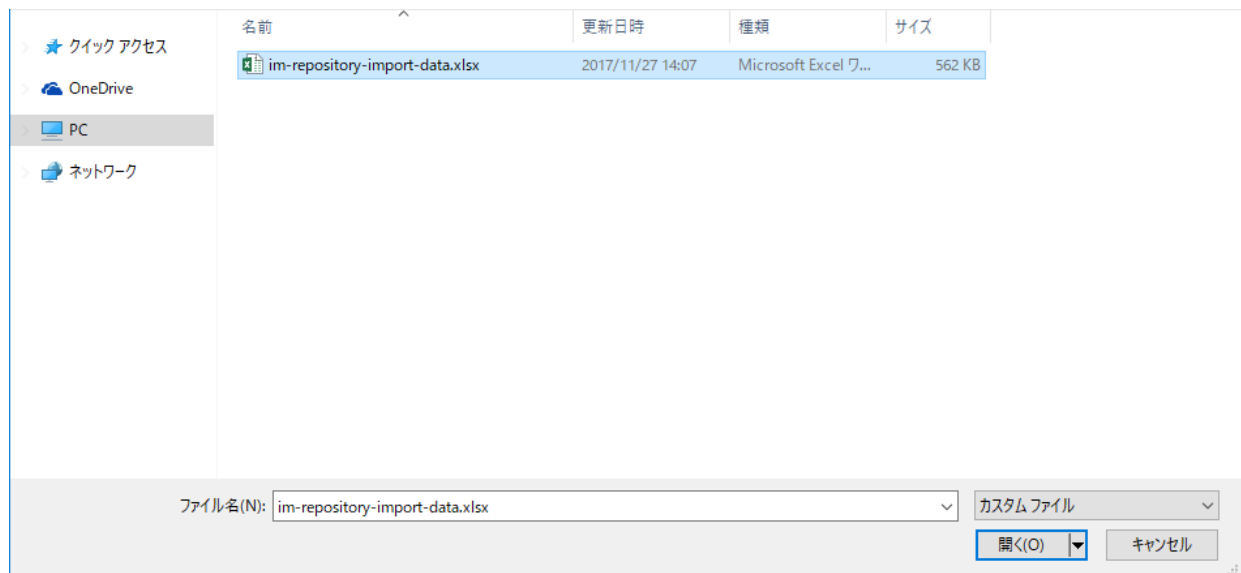
1. 「サイトマップ」 - 「Repository」 - 「インポート」をクリックし、「インポート」画面を表示します。



2. 「ファイルを選択」ボタンをクリックし、ファイル選択ダイアログを開きます。



3. ダイアログからインポートするファイルを選択し、「開く」ボタンをクリックします。



4. 「確認」 ボタンをクリックし、「インポート確認」画面を開きます。



5. 「実行」 ボタンをクリックし、インポート内容が反映された「辞書項目一覧」画面が表示されます。

インポート

インポート確認

インポートファイル形式	履歴番号
Errorメッセージ	Errorメッセージはありません。
Warningメッセージ	Warningメッセージはありません。

戻る

実行



コラム

intra-mart Accel Platformが利用している様々な用語（辞書データ）は、プロダクトファイルダウンロードサイトから入手し、取り込むことが可能です。

<https://www.intra-mart.jp/download/library/>



コラム

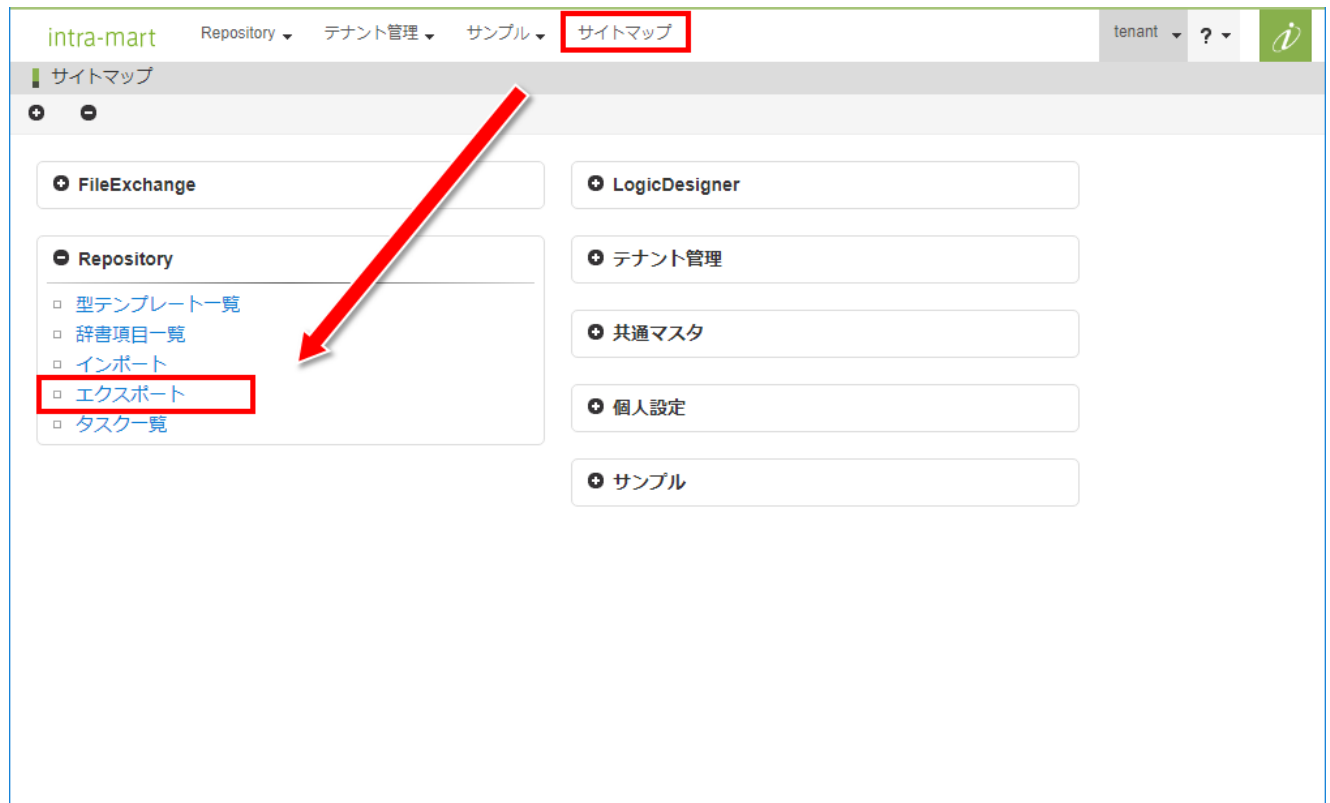
インポート内容は **影響範囲一覧の確認** 後に、 **影響範囲の適用** を行うことにより保存されます。

エクスポートを行う

- 現バージョンの全項目をエクスポートする
- 履歴番号を指定してエクスポートする

現バージョンの全項目をエクスポートする

1. 「サイトマップ」 - 「Repository」 - 「エクスポート」をクリックし、「エクスポート」画面を表示します。



2. エクスポートタイプのラジオボタン「現バージョンの全項目」にチェックが入っていることを確認します。



3. 「実行」ボタンをクリックし、エクスポートを実行します。



エクスポート

エクスポートタイプ *

☒ 現バージョンの全項目

☐ 履歴番号を指定

実行

4. 「im-repository-export-data.xlsx」ファイルがダウンロードされます。

履歴番号を指定してエクスポートする

1. エクスポートタイプのラジオボタン「履歴番号を指定」をクリックし、履歴番号の入力欄を表示します。



エクスポート

エクスポートタイプ *

☐ 現バージョンの全項目

☒ 履歴番号を指定

実行

2. エクスポートしたい履歴の区間の履歴番号を入力します。

■ エクスポート

エクスポート

エクスポートタイプ *

☐ 現バージョンの全項目

☒ 履歴番号を指定 履歴番号 : 6 ~ 8

実行

3. 「実行」ボタンをクリックし、エクスポートを実行します。

■ エクスポート

エクスポート

エクスポートタイプ *

☐ 現バージョンの全項目

☒ 履歴番号を指定 履歴番号 : 6 ~ 8

実行

4. 「im-repository-export-data.xlsx」ファイルがダウンロードされます。